

セントジョン

ハリファックス

キンニペグ

バンクーバー

軒はセントローレンスの河口にあり、三千方軒は耕種地に供し得べきも住民の数は甚少なし、然れども漁期には數千の漁夫の來るありて頗る賑を極るが漁獲高には見るべきものあり、セントジョン(St. John) (四、〇七一)はフアンデー湾に瀕し不凍港を有し市街殷賑にして、ニューブランズウィック最要の都なり、ハリファックス(Halifax) (四、〇八三)はノバスコシア半島の東岸にあり、一州の首府にして不凍の良港を有し、交通の要地、冬期に於けるトランスマンチのみにならず、軍事上重きを置かるる處とす、シドニー(Sydney)は漁業盛なるフレドニ岬島にあり、チアロータタウンはエドワード公島の首府なり。

キンニペグ(Winnipeg) (四、二三四)はマニトバ州の首府なり、キンニペグ湖の南北の赤河とアッシュニボイア河との合流の地にありて、バンフィックカナデアン鐵道に沿へり、實に交通上の要區たり、ドーンソンシティ(Dawson City)は黄金に豊富なるユーコン領土のクロンダイク(Klondyke)地方にあり。

バンクーバー(二、六一三)はブランド湾の南岸に位す、我が横濱を距ること四千五百六十哩、カナダ太平洋鐵道の竣工以來此の新開の地は盛況を呈



シロクマ「極熊」(Ursus maritimus)



セイウチ 海象 (Trichechus rasmatus) アザラシ 海豹 (Phoca barbata)

ミノクマ「白熊」「極熊」(Ursus maritimus)には

身長二米突六十種に達するものありて重量は四百乃至七

百疋なり、極地に産する猛獣にして頗る游泳に巧なり、

好みて魚類、海豹、海鳥の類を啖ふ、毛皮を敷物、其の他各

種の用に供し肉を食料に充て筋を綱具に製することあり。

セイウチ「海象」(Trichechus rosomunus)は北極

洋に産する海獣にして身長は七米突に達し重量は一千五

百疋に達することあり、牙は海象牙と稱して彫刻の料に

供し肉及び脂肪を食用と爲し皮は強靱なる紐に製し得べ

し。

アザラシ「海豹」(Phoca)は北極洋の原産なるも

アジア、アメリカ、ヨーロッパに於ける北地の沿海に棲

住す、數種あり、其の普通種(Ph. vitulina)は俗に海

獺、又は海犬と唱へられ稀には身長二米突に達するも

のあり、其のグリーンランド種(Ph. greenlandica)は盛

に獵獲せられ其の有鬃種(Ph. barbata)には身長三

米突に達するものありて殊にカムチアツカ地方に多しと

云ふ。

メソクーム

せり、ニューエストミンスター(New Westminster)は鮭に富めるフラザー河を溯ること約十三軒の地にありて錨地を有す、エール(Val)はフラザーに沿へる要津なり、ロスランド(Rossland)はクレーネー産金地にあり。

ピクトリア

バンクーバー(Vancouver)島は一名をストカ島と云ひフラザーの河口と相對せり、長四百三十軒にして幅は六十乃至八十軒あるが四萬一千四百四十方軒の地積を有せり、本島の状態は概して大陸部のブリチシコロンビアに類似せるが、直立二千五百米突以上に達する山岳は沿海の地に屹立して數多の狹灣、半島は大陸の海岸と互に犬牙錯綜せり、而して石炭は豊富にして樅、柏等に富めるが森林は佳良の木材を供給す、加ふるに沿岸の海井に内部の湖には魚類多し、氣候は夏季にありては極めて爽快を覺え冬季にありても温和にして降雪少なしとす然れども沃土に乏しき山岳の地も少なからざれば耕耘の業は著しき發達を見ること能はざるべし、ピクトリア(二、〇八一六)は本島の首府にして又コロンビア全州の首府たり、港は大船巨舶の出入に便ならず、本港を距ること六軒の地にあるエスキマート(Esquimalt)

世界地理提要 あめりか洲 カナダ

は極めて良好なる港にて防備上樞要の地たりナナイモ (Nanimo) エルリン
トンは孰かも石炭の採掘に従事す。

◎ ニューファウンドランド

ニューファウンドランド (Newfoundland) 島は十一萬六千七百七十方呎の地積を有するが島形は三角形を呈し、ノルマン、レー、レーズの三岬を極點とす、海岸は屈曲に富みて三千二百呎に達し、南東部のアバロン半島は島の本部と將に連絡を失はんとするが如き形を呈す。

土地は河湖に富み湖の大なるものを大湖(四七九方呎)とし、河の最長なるものをエクスプロイツ(二四一呎)とす、地味は佳良なるに非ざるも亦耕作に適するもの少なからず、氣候はカナダに比すれば溫和なり、濃霧展、起り快晴の天氣少なきも氣温は概、氷點以上にありて稀には二十五度に達することなきにしもあらず。

人口は二十一萬七千に近く、エスキモト人は全く消滅せり、漁業に従事するものは凡、六萬三千なりとす、知事は行政會議、立法會議、代議院と共に全島

境域

土地

住民

生業

の施政を司りラブラドルの東部を管理す。

本島富源の最大なるものは漁業なるが其の旺盛なるは島の東并に南東に當りて一大海底臺地の存するあるに因れり、此の臺地の現出せしは北極洋より流れ来る氷塊が高温の海流に逢ひて溶解する際、齎したる岩石砂礫を捨てて海底を填充せしに基づけるが如し、貿易(一九〇四—〇五年)は輸入に二百五萬餘ポンド、輸出に二百十三萬餘ポンドあるが主要輸出品は乾鱈、鱈油、海豹皮、海豹油、海老、鮮并に鐵銅なり、又鐵道は一千七十二呎、電信線は四千四百四十七呎あり。

セントジョン (St. John) (二、九五九四) はアバロン半島の東方に位し、コンセプ

ション灣の西部に於けるハーボルグレース (Harbour Grace) と鐵路相通ず。

◎ ベルムダ

ベルムダ (Bermuda) 諸島は三百の珊瑚礁の島より成りて五千方呎の地積、一萬八千足らずの住民を有す、氣候溫和にして蔬菜の栽培、又は冬季の住處に適するのみならず、ニューファウンドランド、西印度の中間、合衆國の東方(二〇〇呎)にありて兵事上の要地たり、知事ありて之を管理するが海底電線はハリファックス、シヤマイカ等に

世界地理提要 あめりか洲

ニューファウンドランド

七百十五

ベルムダ

通より首邑をハミルトン(Hamilton)とす。

○ フランス領

十八世期に於てはアメリカ北部の要處の多くはフランスの所有なりしが、目下は僅にニューフランスランドの南に近きセントピエール(St. Pierre)ミントン(Mignon)の數嶼に過ぎざれば地積は二百四十二方料にして人口は六千五百に達せず、然れども本領の位置たるや世界第一の鯉魚地と稱せらるる彼の海底産地の附近にあればフランス本國より來り漁するもの少なからず、從ひて本領土は廣袤の微々たるに拘らず、比較的重要なりと知るべし。

● アメリカ合衆國

境域 アメリカ合衆國(United States of America)は北アメリカ大陸の中部を占め大西洋と太平洋との間に介在するが、北緯の二十六度より起りて四十九度に達し、西經七十二度と百二十九度との間にありて、北はカナダ領國に接し、東は大西洋に臨み、南はメキシコ灣に瀕し、又メキシコ共和國と境を交え、西には太平洋を控えたり而してアラスカ領土はブリチシコロンビアを隔て

て大陸の北西端を形成せり、地積は九百四十萬餘方料ありて北アメリカの殆ど半に當れるが我が日本帝國の約二十一倍に相當し世界屈指の大國たり、平均の長は四千二十三料にして平均の幅は二千九十二料なるが、最長はコッド岬より太平洋に達して四千五六百料を示し、最大幅はテキサスの南端よりカナダに至る二千五百七十五料なりとす。

海岸 合衆國の沿海の地はヨーロッパの海岸に及ばざれども亦其の屈曲は多からざるに非ず、東岸に於ては廣大なる灣港の存するありて船舶の碇繋に利便を供するが其の主なるものはマサチューセツ灣、ニューヨーク灣、デラエア灣、チーサビーク灣、等なり、西岸は屈折に乏しきもサンフランシスコ灣、其の他に多少の狹灣あり、要するに海岸線の延長は二萬二千料に達し別に五千料の湖岸を有せり。

- 東岸 マサチューセツ
- ニューヨーク
- デラエア
- チーサビーク
- 南岸 タムパ
- モビル
- ガルベストン
- 西岸 サンフランシスコ
- キラバ

海峡

ロングアイランド フロリダ サンタバルバラ
エールドングート ジョアンデフカ

島嶼

ロングアイランド島 フロリダ列島 サンタモニカ諸島

半島

メトリッドランド フロリダ ニューオルリアンス

地角

コッド メー チャールズ ハッタラス ルークート サブル
南西バス フラッターリー ブランコ メンドシノ コンセブション

山岳

山脈の主要なるものを記さんに西部にはカスケード、シエラネバダ、ロッキーマウンテンありて東部には海拔著しからざるアレガニー山脈ありて、アデロンダック、カストキル、グシャーン、ホワイト等の支脈に依りて大湖地方に達せり。

西部

カスケード山脈
ペーカト(三三〇〇) ライニア(四四二三) アダムス(三八〇〇) フード(三五八四) ジェファソン(三二二二)
シエラネバダ山脈
シスタ(四三七四) ラッセン(三一八一) ライエル(四〇二八) ホワイトネー(四四一〇)

山脈

北部

ハンブレイス(三三五〇) ワシントン(一九一七)
五) フレモント(四二〇三)

南部

ハトグ(四二一六) ジェームス(四〇四九) ボーエル(四〇八四) ハルワルド(四三八一) バイクス(四三一二)
ウンコンパーグル(四三三九) キルソン(四三五二)
ブランカ(四四〇九) スペイン(四一五〇) クレブ
ラ(四二八八) タオス(四〇〇七)

東部

アレガニー山脈 ミッチェル(二〇三八)
ホワイト山脈 ワシントン(一九一七)
アデロンダック山脈 マーサー(一六三九)
グリーン山脈 マンスヒエルド(一三五〇) キンチングトン(二二八七)
カストキル山脈 ハイベーク(一一五八)

合衆國の領土内に於けるロッキーマウンテンは二部に分かれて北半は北西より南東に走り南半は北より南に延けり、而して中間には窪地ありて鐵道太平洋中線

北岩山脈

は海拔二千四百米突の地に於て之を通過せり。北岩山脈は単純なる形状を呈せるが太平洋北線はモリソン(Mullian)峰を海拔一六九二米突の隘道に於て越過し山岳は離合して数ヶ處に於て「パーク」(Parks)と稱する地域の形成せらるるを觀る中に就きてイエローストーン・ナショナルパーク(Yellowstone National Park)五千有餘の温泉、壯大なる噴泉、熱湯を湛ゆる澤池ありて山

南岩山脈

南北の兩部はサウス・フロント・リッジ(South Front Range)山脈、最高峯ブレイク・マウンテン(Break Mountain) (Snake-River)山脈、ララミー(Laramie)高原、ブリッジ・ランド(Bridge Land)等に依りて連絡せらる。南岩山脈は東西の二派より成りて中間にはパーク(Park)と稱せらるる蓋地的高谷を挿みて海拔一八〇〇乃至三〇〇〇米突の北パーク、中パーク、南パーク、サント・イメーグ等を出現せしめてプラト(Plate)・ブーカンサン(Arkansas)・コロラド(Colorado)・ロッキン(Long)(四三三三)・ピク(Pike)(四三三四)・グレイ(Gray)(四三三四)等山脈中の最高峯たるブランカ(Blanca)(四四〇九)等を包括し、西派山脈即チコロラド・レンジ(Colorado Range)はサウス・ワッチ(Sawatch)諸山最高峯スノー・マウンテン(Snow Mountain) (Harvard)(四三八四) 火山質のアンコン・メーヌ(Uncompagne)(四三三三)山脈、サン・ジュン(San Juan)山脈等を含む「カニオン・ディ・メサ」(Canyon de Mesa)の現出を認む、而して東西に走るウイン・メーヌ(Winona)山脈、最高峯ギルバート(Gilbert)(四一七五)はコロラド・レンジとして大鹹湖畔に登えて、大盆地の東境を爲せるロー・サッチ(Wasatch)山脈に連絡せしむ。

コロラド蓋地

大盆地

内部はブリュー・マウンテンズ、其の他の山岳ありて土地は主として熔岩、玄武岩より成れるが、河流には溢流を爲すもの少なからず。大盆地(Great Basin)は一三〇〇乃至一五〇〇米突の海拔を有せる三角形の閉塞地を爲せるが、東はロー・サッチ(Wasatch)山脈、コロラド河、西はシエラ・ネヴァダにて境せられ内部には北より南に走れる約二十派の小山脈ありて六乃至三十料の幅を有する殆ど無樹的なる各地を挾めり、而して本域中の水は一、千三百五十米突内外の海拔を有する大鹹湖并にフンボルト湖の二ヶ處に滯留す、又南西隅には二ヶ處の窪地、甲海面下三九三米あり、乙海面下〇米あり。

コロラド蓋地

シエラ・ネヴァダ

コロラド蓋地はロッキン・マウンテンズとロー・サッチ諸山との間にあり、コロラド河は支流と共に蓋地の表面を削割して無數の「メサ」及「深淵的カニオン」を現出せしめたるが、最、壯大なるものは「イーブル・カニオン」大カニオン等とす。シエラ・ネヴァダ(Sierra Nevada) 雪山は南の方タロチ(Tahiti)の西處に起り、北の方ラッセン(Lassen)山(三一九四)に終る、花崗岩又は第三紀層より成りて産金地に富めるが、最高峯はホイットニー(Whitney)(四五四一)と云ふ、而してライオン(Lyon)山の麓には奇勝の地として有名なる「セシエナ(Yosemite)谷」あり。

カスケード山脈

カスケード(Cascade)山脈は火山質にして硫氣を散するシラス(Slaska)(四三九一)圓錐形を有するライオン・ライナー(Rainier)山(四四二〇)時々爆發するの患あり。

世界地理提要 あめりか洲 アメリカ合衆國 七百二十一

るメーカー(Baker)(三二九一)等を抱括せるが、山頂には積雪、氷河の存するありて
腹には緑樹の蒼鬱として茂生するを觀る。

地勢 ロッキーマウンテンは西部に偏在して此の國の山地を形成し太平
洋の海岸に於けるカスケード山脈、シエラネバダは一の高臺地の西界を爲
せり、此の臺地は岩石若しくは砂礫より成り中央に大鹹湖を抱けるが、ワ
チ山脈に依りて二部に分たる、ロッキーの東にありては土地平坦にして起伏
に乏しき一大平野を爲し地味極めて肥沃なり、平地の東端にはアレガニ
山脈ありて大西洋沿岸平野の西界を爲せり、該平野は南方に進むに従ひて
廣く遂に中部の平野と相連続するに至る。

水陸 河流は廣大なる大西洋斜面、狹長なる太平洋斜面并に閉塞地の三
部に屬せしむることを得、而して大西洋斜面よりメキシコ灣斜面を分離し
て四地域と爲し各地域に就きて主要なる水脈を記さんとす。

大西洋斜面

赤河 セントジョン(六四四) コンネチカット(六四四) ハドソン(五二二)

河流

デラエーア(四八〇) サスケハンナ(七二四) ポトマック(六四〇)

ジエームス(七二四) ロアノーク(五六三) ベデー(五六三) サンチー(五六

三) サバンナー(六四〇) アルタマハ(六四〇)

メキシコ灣斜面

チャッタホーチェー アラバマ(八八五) ミズーリ(七二〇)

ブラゾス コロラド リオグランデ(二八〇〇)

太平洋斜面

コロラド(二〇〇〇) コロンビア(二〇〇〇)

閉塞地

熊河 エバー(Water) ヨルダマン(八〇〇)

リオグラン

山地に發してニッソーンキシコを経て南東に流れ、メキシコ人のリオアラホはコロラドの
シコ湖の西部に入る、源委通じて二千八百料に達し、流域は五十七萬方料と計上せ
らる、而して本流は河口より七百二十四料まで溯航するを得、支流中の最大なるベ
コン(Pecos)はモロ山脈に發す。

世界地理提要 あめりか洲 アメリカ合衆國

コロラド(Colorado)河はグランド河及グリーン河の合流より成れり、南西に流れてメキシコ領の地を經過しカリフォルニア灣に入る長は二千料ありて、淺吃水の汽船は九百六十料以上湖るを得、而して流域は五十九萬方料に達してサンジヤン、コロラドチキト、ビルネリア、アムス、リオツラを左岸より、リホバーソンを右岸より受く、而してコロラドチキト(Colorado Chiquito)即、フランクス(Fix)の河口の下流約六百四十料に至りて大高壘を通過して有名なる大カニオン(Canyon)を生じしむ、其の急壁の高は上流に於て一千二百乃至二千一百米突に達せり。

コロラド(Columbia)河はオレゴン(Oregon)河とも云ふ、ロッキーマウンテンに發し不規則なる流向を呈するも漸く南西に趣きて西折し長五十六料、幅四千八百米突乃至十一料の河灣を成して太平洋に終る、長は二千料、流域は六十五萬五千方料ありて支流にはクラークスフォーク、著しき「カニオン」をなす蛇河等あり、本流は航行の便少なるも鮭に富めり。

湖沼に就きては先、五大湖を北東部に得るも其の中、全く當國內にあるは、ミシガンなり、此の他に名高きは無口の大鹹湖(面積六〇〇方料)なり。

氣候 合衆國は其の幅員廣大なるを以て氣候が各地一様ならざるは論を俟たず、氣温の年平均はワイオミング州の五度よりアリゾナ、フロリダ、ルイジアナの二十一度までの間にあり、而して北部并に中部に於ける特性は夏

季の酷暑と冬季の嚴寒に加ふるに寒暑の激變を見るにあり、北西地方の氣候は乾燥にして健康に適するも十一月より四月までは結氷降雪多くして寒氣極めて凜烈なり、新イギリス地方は稍温和なるも濕潤に過ぎ、南部殊にルイジアナ、フロリダは健康に適せずして地方病又は惡疫の流行するあり、要するに合衆國は春季なく冬季より夏季に移る際には短き降雨期あり、而して最、爽快の氣節は九月より十一月までの秋季にしてアメリカ人の所謂インディアンンマーナリとす、而して氣候上最多の幸福を有せるはカリフォルニアにして沿岸山脈并にロッキーマウンテンは北と東との寒風に對して障塀と成るも、太平洋より來る濕風を遮らざれば常に春季にふるが如し風に就きて旋風、逆旋風の屢、起ることあるは最、注意すべきなり。

沿革 一六〇七年イギリス人はバーミンガムのシエスタタウンに始めて殖民せしが一六四三年マッサチウセツ、ニューブライマウス、コンネチカット、ニューヘブレン等は新イギリスの合衆殖民地を形成したり、又メリーランド、カロライナ、ニューヨーク、ニューシエラ、シールマンシルバニアの建設ありたる後、一七三二年にはジョージアを建ち大西洋岸は多くイギリス人之を占めしが、一七七六年に至りてイギリス人の殖民に係れ

人口

種族

る十三州、ニッパハン、プシ、アイア、マッサチウセツ、ロードアイランド、コンネチカット、ニッパ、南カロライナ、北カロは獨立を宣言し、一七八三年の條約に依りて四方、ミシシッピ、ライナ、ジョール、シアは獨立を宣言し、一七八三年の條約に依りて四方、ミシシッピに至る地を得たり、而して一八〇三年にはフランスよりルイジアナ (Louisiana) を一八一九年にはエスマニアよりフロリダを購求せしのみならず、テキサス (一八四五) ニッパ、メキシコ、アリゾナの一部、カリフォルニア (一八四九)の合併あり、其の後内亂 (一八六一—六五)に依りて一時南北の二部に分離せしことありしも、オレゴンの占取 (一八〇四—一) アラスカの買収 (一八六七) 或は ハワイ、フィリピン、ポルトリコの獲得と共に合衆國の領土は大なる膨脹を爲せり。

住民 人口は一九〇五年の推算に依れば八千三百十四萬三千人なるが、一九〇〇年の調査に従へば凡七千六百三十萬人、男三七九二四六にして一方、八人に當り一八九〇年に比すれば約二割一分の増加なり、種族上は一九〇〇年に於て白人に六千六百九十九萬餘人ありて、有色人は九百三十一萬餘人に過ぎざるが、黑人及ムラト人 (八八四〇)、インヂアン (二六六)、支那人 (一一九) 日本人 (八六)より成れり、而して同年に於ける外國人の數は一千四十六萬餘人にして、ドイツ人 (二八二)、アイルランド人 (一六二)、大ブリテン人 (一一七)、カナ

宗教

教育

及ニッパ、フアウ、ランド、ランド人 (一一八)の外に、スエリゲ、ノルゲ人 (九二)、ロシア人 (六四)、エステル、ライヒ、ウンガ、ルン人 (六四)、イタリア人 (四八)等ありたり、又一八二一—一九〇五年の來住者二千三百十萬餘人中、最多數を占むるは、イギリス人 (七三六)にして、ドイツ人 (五二二)、イタリア人 (二〇〇)、エステル、ライヒ、ウンガ、ルン人 (一九七)、ヨーロッパ、ロシア人 (一五七)、スエリゲ、ノルゲ人 (一四九)等も亦主要部を爲し、種族の多きこと驚くに堪えたり、言語は、イギリス人最。勢力あるが、ドイツ語も侮るべからざるものあり。

宗教に就きては一八九〇年に於て新教に一千三百四十萬人の信徒ありしが、ローマ、公教徒は六百三十萬に止まり、エダ、ヤ、教徒は十三萬人なりき。

教育に就きて初等教育には約一千七百萬人の生徒あるも、未だ普及の度に於て缺くる所ありて、一九〇〇年の調査は十歳以上のもの百人中、十一人近くは讀書を爲し得ざることを示せり、又中等教育の學校は八十二萬以上の男女を教養し、大學、高等學校は四百五十五校ありて、十三萬近くの學生を有せり、此の外に公私各種の學校の備はるありて、生徒の總數は凡、一千八百六

十萬人と算せられ一九〇二—〇三年の圖書館數は一萬卷以上を有するものみにも一千を超え新聞雜誌類の出版多し。

政治 國體は合衆共和制にして四十六州(States)一區(Federal district)四領土(Territory)より成れり、一七八七年の發布に係りて一八七〇年の改正を経たる憲法は合衆國の大政を行政、立法、司法の三權に分つ、複撰法に依りて四年毎に改撰せらるる大統領は國務、財務、陸軍、内務、遞信、司法、農務、商工の各大官より成る内閣を率ひて行政を司り、立法權は元老院と代議院の二院より成る合衆議會に屬するが、其の元老院議員は九十二人ありて各州二人の割合に各州の議會之を推舉し、其の代議院議員は三百九十人にして普通撰舉法に依りて各州之を撰出す、司法權は高等法院以下の裁判所に屬せり、各州は自治の共和國にして二院より成る立法議會を備へ、公撰知事を戴きて之に行政を委ぬるが知事の任期は一年乃至四年なり、領土に就きて其の三は議會、知事を有するも、アラスカは自治的ならず、又地積小にして人口多きコロンビア區は大統領の任命せる三委員の管理する所たり。

| 州名 | 地積 | 人口 | 方針 | 首府 |
|--------------------------------|--------|-----------|----|---------|
| メイン(Maine.) (Me) | 八五、五六六 | 一、六九四、四一六 | 八 | オーグスタ |
| ニューハンプシャー(New Hampshire)(N.H.) | 九、四八五 | 四、一五八、八 | 一七 | コンコルド |
| バーモント(Vermont)(Vt.) | 九、四八五 | 三、四二四、二 | 一四 | モンペリエー |
| マサチューセッツ(Mass.) | 二二、二三三 | 二、〇五三、四六六 | 一七 | ボストン |
| ロードアイランド(Rhode Island)(R.I.) | 三、三三〇 | 四、八五五、六 | 一三 | プロビデンス |
| コネチカット(Connecticut)(Conn.) | 五、四三三 | 九、〇八三、〇 | 一三 | ハルトフォード |
| ニューヨーク(New York)(N.Y.) | 三三、四九四 | 七、五八六、八六四 | 五五 | アルブニー |
| ニュージャージー(New Jersey)(N.J.) | 二二、二六三 | 一、八八三、三六六 | 六六 | トレントン |
| ペンシルバニア(Pennsylvania)(Pa.) | 二二、二六三 | 三、〇〇二、二二五 | 五五 | ハルリスブルグ |
| デラウェア(Delaware)(Del.) | 二、四八五 | 一、八八三、三六六 | 三〇 | ドーバー |
| メリーランド(Maryland)(Md.) | 三、三三〇 | 一、八八三、三六六 | 三三 | アンナポリス |
| コロロンビア(D. of Columbia) (D.C.) | 一、五九 | 二、七六七、八 | 五五 | ワシントン |
| バージニア(Virginia)(Va.) | 六〇、九三三 | 一、五五三、八六四 | 一七 | リチモンド |

世界地理提要 あめりか洲 アメリカ合衆國 七百二十九

| | | | | |
|-------------------------------|------------|---------------|----|------------|
| 西バージニア(West Virginia)(W. Va.) | 六〇三、三〇三 | 九五、八〇〇 | 一五 | チャールスタウン |
| 北カロライナ(North Carolina)(N. C.) | 一三、七四〇 | 一八、九、三、八、一〇 | 一四 | ラレー |
| 南カロライナ(South Carolina)(S. C.) | 七、〇八一 | 一四、〇、〇、一、三、 | 一七 | ロロンビア |
| ジョージア(Georgia)(Ga.) | 一五、三、八、三〇 | 二二、一、三、三、〇、一、 | 一四 | アトランタ |
| フロリダ(Florida)(Fla.) | 一五、一、三、八、一 | 五、二、八、三、〇、二、 | 三 | タラハッセー |
| アラバマ(Alabama)(Ala.) | 一三、四、〇、四、一 | 一八、二、八、六、七、 | 一四 | モントゴメリー |
| ミシシッピ(Mississippi)(Miss.) | 一三、一、四、一、五 | 一五、一、三、三、〇 | 三 | ジャクソン |
| ルイジアナ(Louisiana)(La.) | 二二、八、三、八、 | 一三、六、一、三、八、 | 二 | バトンルーシ |
| テキサス(Texas)(Tex.) | 六八、八、六、五、〇 | 三〇、四、八、七、一〇 | 四 | オースチン |
| テネシシー(Tennessee)(Tenn.) | 一〇、八、六、二、二 | 二〇、一、〇、八、一、 | 一八 | ナシビル |
| ケンタッキー(Kentucky)(Ky.) | 一〇、四、五、八、 | 二二、四、二、一、 | 二〇 | フランクリン |
| オハイオ(Ohio)(O.) | 一〇、八、一、〇、 | 四、四、五、五、四、 | 三九 | コロンブス |
| インディアナ(Indiana)(Ind.) | 六、四、一、六、 | 二、四、一、二、四、 | 二七 | インディアナポリス |
| イリノイシス(Illinois)(Ill.) | 一四、八、三、三、 | 四、八、一、一、五、 | 三三 | スプリングフィールド |

| | | | | |
|-----------------------------|-----------|------------|----|---------|
| アーカンソナ(Arkansas)(Ark.) | 一三、七、八、五、 | 一三、一、一、五、 | 九 | リトルロック |
| オクラホマ(Oklahoma)(Ok.) | 一八、一、五、三、 | 七、九、〇、三、 | 四 | グートリー |
| ミズーリ(Missouri)(Mo.) | 一三、八、〇、八、 | 三〇、〇、三、六、 | 一七 | ジュノーソン市 |
| カンザス(Kansas)(Kans.) | 二一、一、八、二、 | 一四、〇、四、五、 | 七 | トピカ |
| ネブラスカ(Nebraska)(Nebr.) | 一〇、〇、三、二、 | 一〇、八、三、〇、〇 | 五 | リンカーン |
| アイオワ(Iowa)(I. T.) | 一四、四、三、一、 | 二二、四、一、二、 | 一五 | デーモイン |
| ミシガン(Michigan)(Mich.) | 一四、一、八、一、 | 二四、一、〇、三、 | 一六 | ランシング |
| ウィスコンシン(Wisconsin)(Wis.) | 一四、四、八、四、 | 二〇、八、九、〇、 | 一四 | マヂソン |
| ミネソタ(Minnesota)(Minn.) | 二一、四、〇、八、 | 一、三、四、一、三、 | 八 | セントポール |
| 南ダコタ(South Dakota)(S. Dak.) | 二二、〇、八、四、 | 四〇、一、五、三、 | 二 | ピール |
| 北ダコタ(North Dakota)(N. Dak.) | 一八、三、三、六、 | 三、九、一、四、 | 一七 | ビスマルク |
| モンタナ(Montana)(Mont.) | 三二、〇、八、二、 | 二四、三、三、 | 〇六 | ハレナ |
| ワイオミング(Wyoming)(W. Y.) | 二四、三、四、四、 | 九、二、五、三、 | 〇四 | チェンヌ |
| コロラド(Colorado)(Colo.) | 二六、八、三、 | 五、三、九、三、 | 二 | デンバー |

世界地理提要 あめりか洲 アメリカ合衆國 七百三十一

| 州名 | 人口 | 面積 | 主要都市 |
|-----------------------|---------|-----------|-----------|
| ユタ(Utah) | 二,七五五 | 二七,七四七 | サルトレイキシチー |
| アイダホ(Idaho) | 二,七〇六 | 一七,一七三 | ボイス市 |
| ワシントン(Washington) | 一八,二七九 | 五八,一〇三 | オリンピア |
| オレゴン(Oregon) | 二五,〇二〇 | 四一,三三三 | サレム |
| ネバダ(Nevada) | 二八,六三三 | 四一,三三三 | カルソン市 |
| カリフォルニア(California) | 四〇,九八七 | 一四八,五〇三 | サクラメント |
| アリゾナ(Arizona) | 二九,四九二 | 一三三,九三三 | フェニックス |
| ニューメキシコ(New Mexico) | 三二,四四六 | 一五五,二一〇 | サンタフェ |
| アラスカ(Alaska) | 五五,二五〇 | 六三三,九三〇 | ジャノー |
| ハワイ(Hawaii) | 一五,三〇〇 | 一五,四〇一 | ホノルル |
| 在外軍人 | — | 九,三三九 | — |
| 合衆國 | 九四二,〇七〇 | 三,六〇〇,〇〇〇 | ワシントン |

兵備(一九〇六年)に就ては陸兵に士官三千八百五十六人、下士卒六萬三百

八十五人ありしが兵備上の目的を以て合衆國は大西洋、北、南西、太平洋、フィリッピン^の五區に分たれゴブアイランド(ニッヨーク)、セントルイス、オクラホマ、サンフランシスコ、マニラを以て本據とす。海軍は強大にして百十五隻、四十一萬九千二百餘噸、七十六萬六千餘馬力、七百二十八の砲門、二百十四の水雷發射管、二萬八千人足らずの乗組并に少なからざる補助艦を有するが、建造中のものは一等戰艦九隻、甲裝巡洋艦六隻、其の他合はせて二十八萬餘噸なり、又艦隊には北大西洋、太平洋、アジア、特務等の別あり。

財政上は一九〇五年六月に終れる會計年度に於て歳入に海關稅(二、六一七九)、内國稅(二、三四〇九)、郵便(一、五二八二)、雜等の六億九千七百十萬餘ドルありて歳出凡七億二千十一萬ドルは内務(一、七一七七)、郵便(一、七〇一一)、陸軍(一、二四五五)、海軍(一、一八二四)、財務(九〇六八)等に充てられたり而して一九〇五年に於ける國債は二十二億七千五百萬ドルに近く一八九五年に於ける各州の債務は二億二百八十萬ドルを超えたり。

生業 一九〇〇年の調査に依れば五千八百二十二萬餘人の中、農業に従
世界地理提要 あめりか洲 アメリカ合衆國 七百三十三

農業

事するものは凡そ一千四十四萬人にして工、鑛、漁の三業に従事するもの凡そ七百一十一萬人、商業に従事するもの四百七十八萬足らずありたり。

農業に就きて記さんに小麥は約十九萬四千方秆の地に栽培せられて二百四十四億リートル以上、の産額ありカンサス、ミネソタ、北ダコタ、南ダコタ、ネブラスカ等を主産地とす、又「オート」麥は十一萬三千餘方秆の地より凡そ三百三十六億リートルを産し、玉蜀黍は三十七萬三千餘方秆の地より約九百五十四億リートルを得、此の他に「ライ」麥、大麥、米、蕎麥、馬鈴薯あり、甘蔗、甜菜あり、綿は凡そ十一萬方秆の地に栽培せられ、四億二千萬ドル足らずの生産力を有するが、テキサス、ジョージア、ミシシッピ、アラバマ等を主産地とす、而して五千五百五十一萬ドルに達する煙草はケンタッキー、北カロライナ、バージニア等より産出するが果物の産も亦多し。

養畜業

養畜業に就きては馬(一八二七萬頭)、騾(三二六萬九千)、牛(六七七二萬)、羊(六一五〇萬)、豚(六二八七萬)、山羊(一八七萬)等あり。

森林業

森林は全面積の凡そ三分の一あるが、林地の三分の二以上は東部及び南東部

漁業

にありて殘餘はロッキー并に太平洋斜面にあり、而してカリフォルニア、オレゴン、ワシントン、の三州に於ける林地は二十三萬八千餘方秆あり、森林業は當國の生業中の重要なものに數へられ、三萬三千餘の製材場は六億一千六百六十萬ドルの資本に依りて三億一千八百萬ドル以上の生産力を有す。

漁業に従事する船舶は七千十四隻、二十一萬噸近くあるが八千二百四十萬ドル餘の資本に依りて凡そ五千五百三十三萬ドルの産物を興ふ、而して鱈、鯡等の乾製はマサチューセツツに盛にしてノイン州の鰻、アラスカ、オレゴン、ワシントンの鮭亦名あり。

鑛業

鑛業は甚盛にして人口の増加を促し、商工の發達に資すること大なるが、金屬に鐵(三、四四三五萬ドル)、銅(九一五二萬)、金(七三五九萬)、銀(七〇二一萬)、鉛(二三三三萬)、亞鉛(一六七二萬)、アルミニウム(二二八萬)、水銀(一五四萬)等の六億二千四百三十五萬「ドル」ありて非金屬の七億九千四百三十七萬「ドル」は石炭(五、〇三七二萬)、石油(九四六九萬)、石材(六七九六萬)、天然瓦斯(二五八三萬)、セメント(三、一〇三萬)等より成る。

工業

工業は世界の第一流國に列し、五十一萬三千近くの工場は九十八億二千

世界地理提要

あめりか洲

アメリカ合衆國

七百三十五

七百四十三萬ドルの資本に依りて百三十億三千九百二十八萬ドルの製品を與ふるが資本の過半はニューヨーク、ペンシルバニア、オハイオ、マサチューセツツ、イリノイスの諸州にあり、工業の中最、主要なるは鋼鐵業にして七百廿六の工場は八億三千五百八十三萬ドルの製品を與へ十年前(一八九〇)の四億八千萬足らずに比すれば非常なる進歩なり、加ふるに鉛、銅、亞鉛の精製品が三億五千九百萬ドルの價格を有するあり、冶金は甚、有力なりとす、次に記すべきは紡織業にして四千三百十二の工場は十億四千三百萬ドルの資本を以て九億三千五百五十萬ドルの製品を供呈す、第三に重視すべきは屠獸業の七億八千六百萬ドルなり、此の他に製粉(五、六〇七、七二)製靴(二、六一〇、三)醸造(二、三三七、二七)熟皮(二、〇四〇、四)化學品(二、〇二五、八)製乳(一、三一一、八)蒸溜(九、六八〇)等あり。

貿易は一九〇四—〇五年に於て凡、十四億九千七百七十五萬ドルの貨物を輸出し十一億一千七百五十一萬ドルを輸入せり、此の他に貴金屬等あり。

| 年次 | 輸 入 | 内國産輸出 | 外國産輸出 | 貨物 貴金屬 | 通過貿易 |
|----|-----|-------|-------|--------|------|
|----|-----|-------|-------|--------|------|

| | | | | | |
|------|---------|---------|------|------|--------|
| 一九〇二 | 九、八三六〇 | 一四、四八二〇 | 二六二〇 | 五六〇 | 一、一八五〇 |
| 一九〇三 | 一〇、九四八〇 | 一四、七六九〇 | 二七九〇 | 六六〇 | 一、二二〇〇 |
| 一九〇四 | 一一、一七九〇 | 一五、五二四〇 | 二五六〇 | 一三八〇 | 一、一四〇〇 |
| 一九〇五 | 一一、九八六〇 | 一六、一四六〇 | 二六八〇 | 一八五〇 | 一、〇三七〇 |
| 一九〇六 | | 二五九〇 | | | |

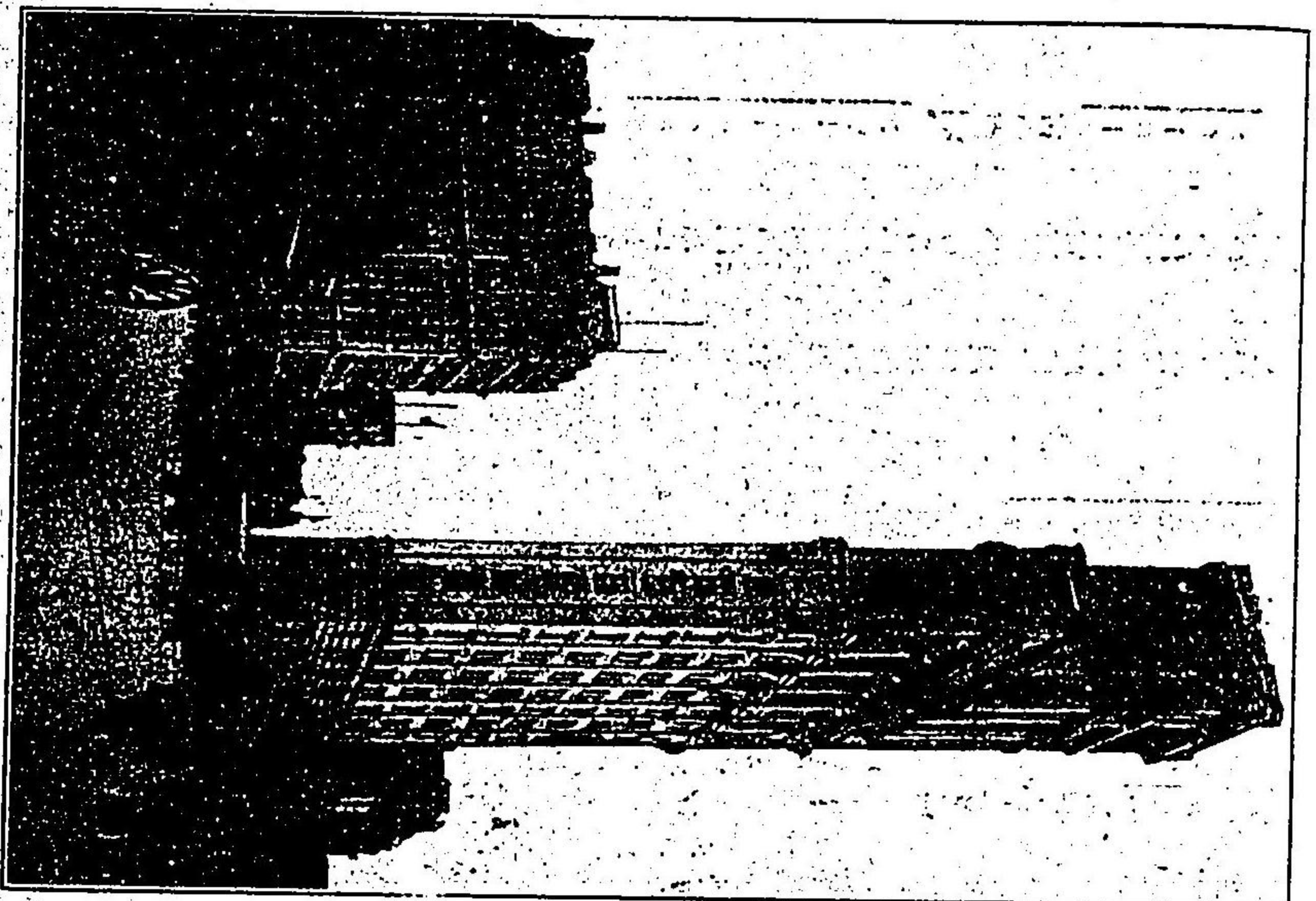
次に一九〇四—〇五年の貨物貿易に就きて取引先を示さん(左表の單は其の大部を占め、殘部はアメリカ、其の他の占むる所なり。(左表の單は位萬ドル))

| 取引先 | 輸 入 | 輸 出 | 取 引 先 | 輸 入 | 輸 出 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| イギリス | 一、七五八二 | 五、一八一〇 | 中央アメリカ | 一三九三 | 一三六〇 |
| ドイツ | 一、一八二六 | 一、九一二七 | キツバ | 八六三〇 | 三六四〇 |
| シウワイツ | 二〇四一 | 二四 | ブラジル | 九九八四 | 一〇九〇 |
| フランス | 八九八三 | 七四四一 | アルヘンチナ | 一五三六 | 二三五〇 |
| ベルジック | 二五八八 | 三七四四 | 其他 | ... | ... |
| オランダ | 二二七二 | 七二七二 | アメリカ | 三、七八〇二 | 三、〇四〇二 |

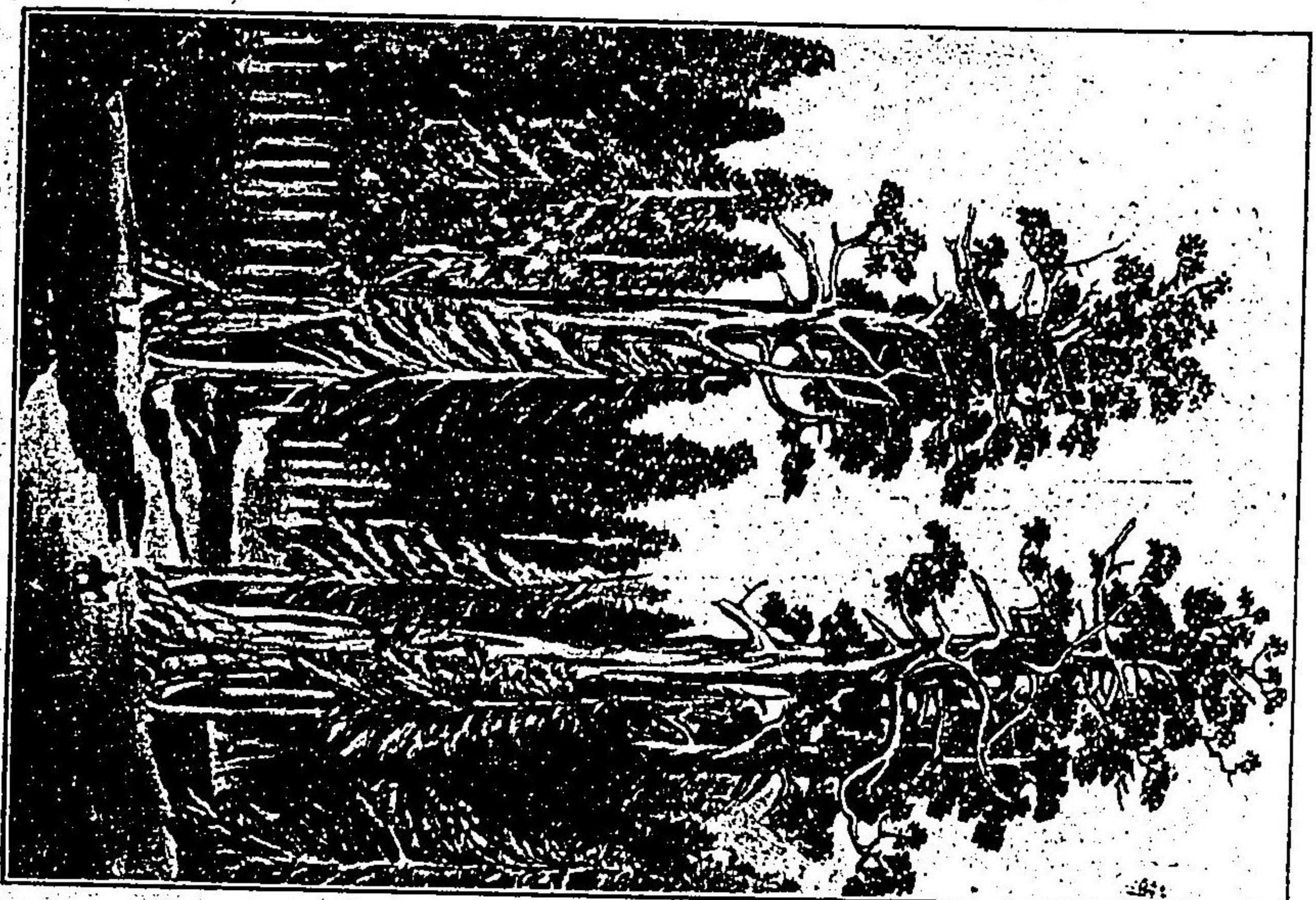
世界地理提要 あめりか洲 アメリカ合衆國 七百三十七

| | | | | | |
|-------|--------|---------|--------------------|---------|--------|
| ロシア | 九二〇 | 二三七二 | イギリス領 東印度 | 五三九六 | 七五四 |
| エストニア | 一〇五五 | 二一四六 | オランダ領 東印度 | 一八四六 | 一六六 |
| イタリア | 三八六二 | 三八四三 | 清國、香港 | 二九四三 | 六四〇五 |
| エスバニア | 八七八 | 一七〇二 | 日本 | 五一八二 | 五二二一 |
| 其他 | ... | ... | フィリピン | 二二六五 | 六一九 |
| ヨーロッパ | 五、四〇七七 | 一〇、〇八四六 | イギリス領、 オーストラリア、 | 一一八九 | 二六二六 |
| カナダ | 六二四七 | 一、二二二三 | 其他 | ... | ... |
| メキシコ | 四六四七 | 四四八二 | 合計 | 一一、一七五二 | 四、九一七四 |

主要貿易品は輸入に砂糖(九七百萬ドル)、珈琲(八四)化學品類(七五)皮(六四)生絲(六一)カウチラック(四九)綿布(四八)生毛(四六)麻布類(四〇)麻類(三八)寶石(三三)絹布(三三)等ありて、輸出に實綿(三八〇)肉類(一六五)穀類(一〇七)銅(八三)石油(七九)器械(六三)綿布(四九)獸類(四六)鐵(四六)木材(四五)煙草(三五)石炭(三〇)等あり、又外國貿易に關する入船は三萬二千九十二隻、外、國、船、二、九、二、一、三、千、九、十



ニューヨーク市に於ける高層



大セコイア (Sequoia gigantea) [カリフォルニア]

交通

八萬餘噸二、三〇八にして出船は三萬一千八百二十二隻一、九二〇一、九三〇三、千八百八十二萬餘噸二、三九二〇なり。

交通は頗る進歩し商船(一九〇五年)の隻数は約二萬五千隻(汽船一、五八八、四七にして噸数は約六百四十六萬二、七四一、四九四あるが、大西洋岸(三三九)に於けるもの最、多く北方の諸湖(二〇六)、太平洋岸(八二)、河流に於けるもの之に次ぎ、沿岸貿易に従事するものは五百四十四萬噸に餘るが、外國貿易に従事するものは九十五萬噸に達せず、又鐵道の延長(一九〇四)は世界無比にして三十四萬一千七百斤に達し、北はカナダ線、南はメキシコ線に連なり、太平洋、大西洋の岸を連ぬる者數條あり、北太平洋(五二〇三)中央太平洋(五二六〇)、兩洋(五五六〇)、南太平洋(六二五〇)等の諸線即之なり、又郵便局(一九〇三、一〇四)は七萬二千五百八十二處、電信線(一九〇四)は線路三十二萬八千二百七十七斤延長百八十六萬斤に近く、電話線は五百七十一萬餘斤あり。

處陸 當國を分ちて東南、中北、西の五部とし、各部の都會に就きて畧記する所あらんとす。

世界地理提要 あめりか洲 アメリカ合衆國 七百三十九

シティー・ホール・パークの南端、シティー・ホール・パーク (City Hall Park) バッテリー (Battery)

この小地域は當市に於ける各種業務の集點にして、地價の非常なる騰貴(方呎三圓四角)を始め、種々なる理由は高層の建造を促したり。

| | | |
|-----------------------------|----|----|
| アメリカン・トラクト (American Tract) | 三三 | 三〇 |
| セント・ポール (Saint-Paul) | 三五 | 三〇 |
| シウレティ (Surety) | 三三 | 三〇 |
| パーク・ロウ (Park-Row) | 三七 | 三六 |

セコイア (Sequoia) [紅杉科] 二種あり、何れもアメリカのカリフォルニアに産す、其の一は大セコイア (S. gigantea) にして、名をワウナ (Wawona) とす、樹高百十餘米、幹徑十米に達するものあり、其の二は小セコイア (S. sempervirens) にして、アメリカ人の俗にレッド・ウッド (赤木) と稱ふるものなり、樹の高さ及び太さは前者に劣るも、樹高九十米、幹徑四米を有するものあり、木林は佳良にして種々の用に供すべし。

東部 東部即、大西洋諸州を更に北、中南の三區に分たんに北區即、新イギリス諸州はメーン(Maine)、ニューハンプシャー(New Hampshire)、バーモント(Vermont)、マサチューセッツ(Massachusetts)、ロードアイランド(Rhode Island)、コネチカット(Connecticut)の六州を含むが、地勢山岳丘陵多く土地甚だ肥沃なるに非ざるも、工業盛に行はれて沿海の漁業も亦重きを置くべし、中區はニューヨーク(New York)、ペンシルバニア(Pennsylvania)、ニュージャージー(New Jersey)、デラウェア(Delaware)、メリーランド(Maryland)、ウィシニア(Virginia)、西ウィシニアの七州と、コロラド(Colorado)區とより成り、海岸よりオハイオ河、エリエ湖、オンタリオ湖、セントローレンスの上流に達す、土地、氣候共に新イギリスに優り、工業、商業甚だ盛なるが、鑛業も亦注意すべきものなり、南區とは南北のカロライナ(Carolina)、ジョージア(Georgia)、フロリダ(Florida)の四州を云ふものなるが、大西洋岸の平原の最、廣き部分にして海岸には潟沼多く綿其の他の栽培行はる。

ワシントン(Washington) (一九三二一一七) 北緯三八度五五分一四秒 西經七七度三分五七秒 は初代大統領の名に因める都會にして合衆國全土の首府なり、ポトマック河の左岸に位し市

ワシントン

街廣潤道路整然たり、商工業は甚盛なるに非ざるも、カピトル(Capitol)、ホワイトハウス(White House)等あり。

ホワイト

ボーチモア(Baltimore) (五三一一三三) はチサピーク灣に注ぐパタスコ河の畔にありて海を距ること二十軒の處にあり、合衆國第六の都會にして商工業の中心とす、キルミントン(Wilmington) (八一一三〇〇) はデラウェア河岸の小丘に建ち冶金造船製粉製紙等に従事す、附近に當國最大の火藥製造所あり、トレントン(Trenton) (七六七六六六) はデラウェア河畔の工業地にして、獨立史上に顯る、カムデン(Camden) (七九八一) はトレントンの下流フィラデルフィアの對岸にありて工業に従事す、ニューアーク(Newark) (二六五三九四) は同名の灣に瀕し商工業共に見るべき者あり、ジャージーシティ(Jersey City) (一一九四六二) は優良なる錨處を有し、貯肉製糖に従事す、ホボケン(Hoboken) (六四〇八〇) はハドソン河を挟みてニューヨークと相對す、別墅の地なり、パターソン(Paterson) (一一三二二七) はパサイック河に瀕し絲類の製造に従事するが殊に絹布を以て名なり、アトランティックシティ(Atlantic City) は大西洋岸にあり水浴場として名を知らる。

ニューアーク
ジャージー
シティ

パターソン

世界地理提要 あめりか洲 アメリカ合衆國 七百四十一

ニューヨーク

アルバニー(Albany)(九三九二〇)はハドソン河畔にあり、木材、大麥を集散す。大ニュー
 ヨーク(Greater New York)(三七一六一三九)北緯四〇度四五分二秒は合衆國第
 一、世界第二の大都會にして、ハドソンの河口に位し、ロングアイランド島に
 跨り、ニューヨーク、ブルークリン、ロングアイランド市、其の他を含めり、ステー
 テン(Saten)ロングアイランドの二島の横たはるあるを以て港は廣濶安全
 にして船舶の碇繋に便なり、従て百貨輻輳し商業極めて盛大にして交通上の
 要區なり、加ふるに工業も亦活潑に行はれ文學の中心としてもボストンと
 拮抗せり、トロイ(Troy)(七五五六七)はアルバニーの上流にありて鐵工業に従
 事す、シラキース(Syracuse)(一一四四四三)はエリエ、オスエゴ兩運河の會する
 處にありて食鹽業に就きては合衆國無比なり、ロチェスター(Rochester)(一七、〇
 七九八)はオンタリオの岸を距ること約十一軒にあり、ゲネゼー河の水を利
 用して製粉に従事す、バッファロー(Buffalo)(三八、一四〇三)はエリエ湖の北東端に
 ありて大湖地方に於ける屈指の穀類港なるが石炭、鐵の取引も盛に行はる、
 フィラデルフィア(Philadelphia)(一三六、七七、一六)北緯三九度五七分七秒は舊、合衆

シラキース
ロチェスター

バッファロー

フィラデル
フィア

スクラント

ピットス

アレガニー

ニューハ

プロビデ

國の首府たりし處たり、本市は海岸を距ること百九十軒の地にあるに拘ら
 ず、デラウェア河に瀕せるが故に大船巨舶の出入に便ありて工場多き實
 に合衆國第一たり、人口に於ては第三位に立ち、貿易港としても有数の地な
 り、市内の建築物中最、名あるは獨立館なり、リーディング(Reading)(八、五〇五二)は
 フィラデルフィアの北西にありて製鐵に従事す、スクラントン(Scranton)(一、〇七
 〇二六)はサスケハナ川の支流に沿ひ石炭の産地にあり、ピットズバーン(Pittsburg)
 (三四、五〇四三)はオハイオ、アレガニーの會流地に位し石炭、鐵、石油の取引盛なり、
 又鋼鐵、硝子の製造行はる、アレガニー(Allegheny)(一三、八〇一八)は工業に従事せ
 り、リッチモンド(Richmond)(八、六一四八)はジームス河の岸に建ちて煙草の製造
 に従事す、内亂の際には南部同盟の首府たりし處なり、

ハートフォード(Hartford)(八、七八三六)はコンネチカット河に瀕し金融の中心た
 り、ニューハヴン(New Haven)(一一、四六〇〇)はロングアイランド海峡に臨み金
 物を産す、市の附近は牡蠣の飼養盛なり、ブリヂポート(Bridgport)(七、七三三五)
 は海岸にありて器械を製す、プロビデンス(Providence)(一八、九七四二)はデラガ

世界地理提要 あめりか洲 アメリカ合衆國 七百四十三

ボストン

ンセント湾に瀕す、綿布、毛織物器械等を製出す、ボストン(Boston)(五九四六一八)北緯四二度二一分三二秒 西経七一度三分四五秒 はアメリカのアテネにして文藝の中心なるが建築物には觀るべきものあり、器械、船舶等を製作し盛に外國と貿易す、ケンブリヂ(Cambridge)(九、八四四四)はボストンに隣接す、其のハーバード(Harvard)大學は合衆國最奮のものなり、ワーセスター(Worcester)(一一、八五五二)は器械、鐵器を以て名あり、ローエル(Lowell)(一〇、〇一五〇)ローレンス(Lawrence)(六、二五五九)フォールリバー(Fall River)(一一、四〇〇四)は綿布の製造に従事す、リン(Yonk)(七、二三五〇)は草具を製す、ニューベッドフォード(New Bedford)(四、一四四二)は南部の海港なり、レキシントン(Lexington)はボストンの北西凡十八軒に當るが獨立戦争の第一役のありし處とす、スプリングフィールド(Springfield)(六、七四二二)はコンネチカット河に瀕する工業市なり、ポートスマス(Portsmouth)はボストンの北北東ピスカタヌ(Piscataqua)河の口に近し日露談判地として名あり、チャールストン(Charleston)(五、六二六二)は綿花の輸出港なり、一千六百七十二年の建設に係る米國屈指の舊市、戦史上著名の地にして數回の包圍を蒙

チャーゼン

ローエル

フォールリバー

マ

ニューオー

リンズ

りたり、アトランタ(Atlanta)(九、六五五〇)は綿花の市場にして煙草の製造に従事す、サバンナ(Savannah)(六、四五六二)は貿易港として盛に綿を輸出す、又戦史上に名を知らるる地とす。

南部 南部はメキシコ湾に瀕する四州にして、ミシシッピー河は之を東西の二部に分ち、東部にはアラバマ(Alabama)、ミシシッピー(Mississippi)ありて西部にはルイジアナ(Louisiana)、テキサス(Texas)あり、テキサスの西部、アラバマの北東部を除けば、土地平低にして、ミシシッピーの沿岸は地味極めて肥え、耕種に適す、而して農産には米、其の他の穀類、甘蔗、半熱帯の果物等あるが最、主要なるものは綿花なりとす。

ニューオーリンズ(New Orleans)(三〇、〇六二五)北緯二九度五六分五九秒 西経九十度三分四六秒 是ミシシッピーの河口を溯ること百五十軒に位す、世界最大の綿花輸出港にして、ミシシッピー下流地方に於ける物貨を集散し南部第一の都會なり。

中部 中部は北東地方を除けば、ミシシッピーの谷にありて、同河は之を東西の二部に分ち、東部には Tennessee、ケンタッキー(Kentucky)、オハイオ

(Ohio) インディアナ (Indiana) 及 アイリノイス (Illinois) の五州あるが西部はアーカンソウ (Arkansas) ミズーリ (Missouri) カンサス (Kansas) ネブラスカ (Nebraska) アイオワ (Iowa) オクラホマ (Oklahoma) の六州を含めり此の中央部は東域は西するに従つて土地隆起し南部にはオザルク山脈あるが地味一般に豊沃にして小麦、玉蜀黍其の他の農産に富み林業、鑛業、工業等大に見るべきものあり、大小幾多の水脈は鐵道と相俟ちて交通を便ならしめ商業の繁榮を助く。

ナッシュビル (Nashville) (八二七一) はオハイオの支流たるカンバーランド河に沿へり綿花、煙草を集散す、メンフィス (Memphis) (一一三六六九) はミシシッピーに沿へる河港なり綿布、煙草の製造に従事す、ルイスビル (Louisville) (一一五四〇二) はオハイオ河畔にありて世界最大の煙草市場なり、皮革、靴類等を製す、コロンブス (Columbus) (一一三三三七) はメシオト河に跨り鐵路の焦點に當り製鐵に従事す、シンシナチ (Cincinnati) (三三二九三四) 北緯五九度五四分四四秒 西經八四度二五分二〇秒 はオハイオ河に臨みてニューポート、コペンゴトンと相對す、商工業の中心にして西の女皇たるの實あるが盛に鹽豚の製造販賣を爲すを以てボルコポ

メンフィス
ルイスビル
コロンブス
シンシナチ

クリントン

トレド

インディアナポリス

シカゴ

リス (Percopolis) と稱せらる、デイトン (Dayton) (九二五六六) はシンシナチの北東に於ける工業地なり、クリントン (Cleveland) (四一四九五〇) はエリー湖に沿ふ商港なり、石油を精製し、鐵、銅、石炭、石油等を集散す、合衆國第七の大都會なり、トレド (Toledo) (一四五九〇一) も亦湖岸の商港にして、木材、小麦を集散す、殊にカナダとの取引盛なり、インディアナポリス (Indianapolis) (一九一〇三三) はオハイオ河の支流ホワイト河の澚に建ちて工業及商業の中心たり、エバンスビル (Evansville) (六二一四八二) はオハイオの河港にして玉蜀黍、鹽豚肉、煙草を輸出す、ペオリア (Peoria) (六二〇九四) は麥粉、木材、農具等を集散し冶金に従事す、シカゴ (Chicago) (一八七三三八八〇) 北緯四一度五〇分 西經八七度三六分 四二秒 はミシシッピー湖の南端にあり、盛に穀類、家畜、木材の貿易、鹽豚の製造に従事し、商業及人口の點に於てはニューヨークに次ぐ市街にして大湖の大女皇と稱せらる、住民の増殖甚速にして殊に有爲心に富めるを以て名を知らる、鐵路によりて兩大洋に通じ運河に依りてミシシッピーに連なるが故に交通上極めて樞要の地にあり。

セントルイス

セントジョセフ

カンサス

オマハ

セントルイス(St. Louis)(一一二二七九)北緯三八度三八分一七秒は合衆國第四の都會なり、市街はフランス人の建設(一七六〇年)に係り、ミシシッピの主流、海拔一二一米突の地にあり、通商貿易の一大中心として頗る好望なるが穀類を始めとし、煙草、鹽豚肉の製造盛なり、セントジョセフ(St. Joseph)(一一一〇四七九)はミズーリに沿ひ交通の要地たり、カンサスシティー(Kansas City)(一七二〇六四)はカンサス河とミズーリとの合流地にあり、交通上の要區にして盛に家畜を集散し畜産製造に従事す、オマハ(Omaha)(一一三三六一)はミズーリ河畔の商業地なり。

北部

北部即ち中央北部には五州あり、其のミシガン(Michigan)キスコンシン(Wisconsin)はミシシッピ上流の東にありてミネソタ(Minnesota)南北の兩ダコタ(Dakota)は西にあり、雨量は概して不足なく北東部には松柏科の密林あるが西部には河流に沿へる地の外樹木なし、而して肥沃なる「プレーリー」は多くの穀類を興へ、鑛産も豊富なるが大湖地方の主要なる生業は木材業及漁業なり。

デトロイト

ミルチーキ

セントポール

ミネアポリス

セントポール

デトロイト(Detroit)(三〇九六五三)は同名の河に臨み大湖地方屈指の要港なり、ミルチーキー(Milwaukee)(三二二七三六)はミシガン湖に瀕し小麦、木材の輸出港としては世界第一に位し「ビール」を名産とす、セントポール(St. Paul)(一七二〇三八)はミシシッピに沿ひ製粉業盛なり、ミネアポリス(Minneapolis)(三二二四一一三)はセントポールを距ること遠からず商工業の一中心なり。

西部

西部は太平洋高地ロッキーの東に於ける大平原の一部を含み、大鹹湖附近にはアメリカ大沙漠あり、鑛物殊に貴金屬は甚だ豊富にして鑛業は當地方第一の生業なるが、草原に於ける家畜の飼養も亦主要なるものなりとす、然れども住民少なく未だ充分の利用を見るに至らず、當部には九州二領土あり、之を三區に分かたば東區にモンタナ(Montana)ワイオミング(Wyoming)コロラド(Colorado)ニューメキシコ(New Mexico)あり、中區の大高臺にアイダホ(Idaho)ネバダ(Nevada)ユター(Utah)アリゾナ(Arizona)あり、而して西區即ち太平洋沿岸にカリフォルニア(California)オレゴン(Oregon)ワシントン(Washington)あり。

デンバー(Denver)(一四四五八八)は當國の最高州なるコロラドにあり、南

世界地理提要

あめりか洲

アメリカ合衆國

七百四十九

ランド河畔海拔一五八〇米突の地に位し鐵道交通の要地たり、サルトレーキ
シチー(Salt Lake City)(五七一三八)はモルモン宗の本部たるユター州の首府
なるがヨルダン河の谷にあり。

シアトル(Seattle)(九、二〇二〇)は横濱を距ること四千五百四十哩に位しタ
ロウ(Thomson)(三、六〇〇〇)と共に繁華の地なり、ポートランド(Portland)(九、八六
五五)はキラメット河の流域、太平洋岸を距ること二百軒の地にあり、交通上の
要區にして小麦粉、木材、銻等を輸出す。

オークランド(Oakland)(七、〇三八六)はサンフランシスコ灣に瀕し交通の
要地にして商工に従事するが近郊は風致に富む、サンフランシスコ(San Fran-
cisco)(三、五、五九一九)^{北緯 三十七度四七分二八秒}はメキシコに屬せし頃は、イニル
パブエナと云ひて人口五百に充たざる一寒村なりしが現時は合衆國第九
東太平洋第一の都會たるのみならず世界屈指の商港たり、我が横濱を距る
こと四千八百十哩なり、港口金門の幅は一千六百二十六米突に過ぎずして
港内は安全廣大、幾多の商船を碇泊せしむるに足れりとす、氣温高く近傍に

サンフランシスコ

ロスアンゼルス

アラスカ

鹹沼泥洲のあるに拘らず、頗る健康に適せり、ロスアンゼルス(Los Angeles)(一、
六四二〇)は葡萄酒及生毛の産地にありて氣候極めて温和なり。

あらずか領土。アラスカ領土は北アメリカの北西隅を占め、北極洋、ベ
リング海峡、太平洋に面す、クック(一七七四)、ラベールズ(一七八六)は沿海の地を
見しのみにて眞の探査はロシア人のコツブエ(Kotzebue) 并にウランゲル
(Vangel) に依れり、爾來ロシアに屬せしも一八六七年を以てアメリカ合衆
國の賣収する所と成りたり、山岳は數脈を爲して北アメリカ最高のマッキン
レー(Mackinley)山(六、二、三、七)を包括せり、ユーコン、クスクムムの流るるあり、沿
岸は島嶼多く火山少なからざるアレウト列島の外にエールス公島、バラノ
フ島等著はる、氣候烈寒、住人稀なるが黄金、水産物、毛皮を産す、首邑シトカ(シ
トカ)はバラノフ島にあり、カディアク島のカルルク(Karluks)は當領土最要の邑たり。
はむい領土。おせあに洲に詳なり。

殖民地 アメリカ人は移民的イギリス人の子孫にドイツ人、イタリア人、
等を交えたるものなるが、富源の饒多なる國土に據り増進の迅速なる住民

世界地理提要 あめりか洲 アメリカ合衆國 七百五十一

ハワイ

に基づきて一大強國を組成せしのみならず、エスパニアが遺失せし土地を
收得し一躍して殖民國に加はり約三十一萬方秆、八百六十萬人を有するに
至れり。

| 土 | 地 | 積 | 人 | 口 | 土 | 地 | 積 | 人 | 口 |
|--------|-------|--------|-------------|--------|-------|---|---|---|---|
| ポルトリコ | 九三四 | 九三、三三三 | サモア | 一九九 | 四〇〇〇 | | | | |
| フィリッピン | 二、三三〇 | 七三、五四六 | エルク・ウヤン・トラン | 四 | | | | | |
| グアム | 五四 | 六、七六 | 合計 | 三〇、六四一 | 八、〇三三 | | | | |

●メキシコ

境域 メキシコ合衆國 (Estados Unidos Mexicanos) は北緯十四度半乃至三十二
度半、西經八十六度半乃至十七度に達し、アメリカ合衆國の南に於ける稍、狹
長なる三角形の陸地なり、其の幅は二千秆乃至二百十秆にして地積は百九
十八萬七千二百一方秆あり。

海岸 海岸線の延長はカンピーチー灣を有するメキシコ灣及アンチ

ル海に於て二千五百八十秆を有し、カリフォルニア灣、太平洋に於て六千二百
五十秆を有せり、メキシコ灣に接する處は半圓周を爲してユカタン半島に
至る、概平低にして海灣に富める沙濱なれば稍、良好の港形を呈するは僅に
タムピコ、ベラクルス、カムパチアのみ、西海岸は高隆にして屈曲多く殊に
カリフォルニア半島は狹長にして海底淺き一灣を抱けるが港形の佳良なる
ものはグアイマス、マザトラン、アカプルコ等なり、又南部に於て東西兩洋は
相接近して幅二百十秆のテウアンテペク地峽を爲せり、島嶼はレピリアヘッド
(Revilla Gigedo) 諸島其の他を合はすも僅に四千四十二方秆の地積を有する
のみ。

地勢 メキシコ は一の高臺を形成す、其の直立は平均二千二百三米突に
して東西は海岸に向ひて傾斜し、北にリオジラ、リオグランデ、デルノルテの
低地を控え、南はテウアンテペク并にユカタンの低地に降下す、臺地の西縁
はシエラマドレにして最高三千米突に達し、東縁はヌエボレオレタマウリ
パネにして二千米突に達することなし、南部は高峯に富み北アメリカ屈指

世界地理提要 あめりか洲 メキシコ

の高点を有せり、而して五十乃至百軒の幅を有する一帯の低地は海洋と臺地の麓との間に於て海岸に沿へり、又カリフォルニア半島にありては山脈は顯著ならざるが東面は急斜せり。

火山

メキシコは火山に富みて當地の最高部を爲せり、其の第一に位するはオリザバ (Orizaba) (五五八二) 即ちシトラルベトルにして此の外にポポカテペトル (Popocatepetl) (五四五二)、イクスタスファトル (Ixtaccihuatl) (四七九〇)、ネバドデトルカ (四五八七)、ヤリントンチ (四二二二)、コンレデベロテ (四〇八九)、ネバドデヨリ (四三七八)、コリマ火山 (三八八四)、タンシタロ (三八六〇) 等あり。

河湖

メキシコは河流に乏しき國なり、北境のチオアアランテアルソルテに會するものにリオアロス、コンゴスリオサラド、等ありてグリシアルス (六五〇軒)、ウスマツシヤ (七〇〇) と共にメキシコ海に入る、太平洋に入るものにはリオコロワドの下流 (二〇) 等あり、湖の最大なるものはチアマラ (長九〇軒) 海抜なるが有名なるはメキシコ谷の六湖にして風色に富めるはクイツェオ、マツクアロなり。

氣候 緯度に依ればメキシコは熱帯に屬すれども、土地の高低并に海濱の遠近は氣候に著しき差異を呈せり、是チエラカリエンテ (Tierra caliente) (熱地)

熱地

溫地

寒地

降雨

主風

チエラテンプラダ (Tierra templada) (溫地)、チエラフリヤ (Tierra fria) (寒地) の別ある所以なり、平低にして濕潤に失する沿海の地より直立一千米突までは熱地に屬し、氣温は平均三十乃至三十一度なり、海拔一千方至二千米突の斜面は溫地に屬し、氣候溫和にして激變少く、平均氣温は二十三乃至二十五度なり、寒地に於ては氣候は乾燥にして寒冷を與え、平均氣温は十五度乃至十七度なり、一年は二季に分かれ、其の雨季は五六月より十月或は十一月までにして、其の乾季は殆ど降雨なく、二季の更替は急激なるも氣温に影響することなし、又二季の分界は北に進むに従ひて不明と成りて、降雨期は漸く遅し、雨量の最多なるはモンテロイ (Monterrey) 附近にして年平均三百三十種なるが、メキシコ市に至れば五十八種餘なり、主風は北風と南風とにして、申は東岸に吹きては西岸に多く、殊に五月より十月までは風力甚強し。

沿革 メキシコ最古の住民はトルテグ (Toltes) 人にして四紀八九世紀頃には比較的高度の文明に達したりしが、十一二世紀の頃アズテグ (Aztecs) 之に代りて國の王權を握れり、一五一九年コルテスがペラケルスに上陸せしよりメキシコはエヌマニア領となりし、一八二一年を以て獨立し、翌年帝國と稱じ、一八二三年共和國に

世界地理提要 あめりか洲 メキシコ

變じたり、其の後一八四五年テキサスは合衆國に合併し、一八四六―四八年の戦役の結果としてニューメキシコ、上カリフォルニアは亦同國の手に移れり、而してナゲルオン三世の遠征(一八六一―六七)を蒙りて一八六四年第二帝國の成立を見しが、一八六七年に至りて共和國に復し爾來安寧繁榮に趣きたり。

人口 種族 言語 宗教 教育

住民 人口は一九〇〇年に於て一千三百六十萬餘人、男六八二、九六ありて一方籽七人の平均なるが、其の百分の十九は白人、三十八は土人、四十三は雜種にして白人の中、アメリカ人は二萬四千餘人、エスパーニア人は一萬六千餘人なり、言語は種族に依りて差異あるも、エスパーニア語は法語として一般に使用せらる、國人の大多數はローマ公教(一三五三)を奉じプロテスタント教に屬するものは甚少し、教育は未だ普及進歩するに至らず。

政治 メキシコは合衆共和國にして二十七州、三領土、一區より成れり、立法權は元老、代議の二院より成る議會に屬し、行政は公撰に係る任期六年の大統領に委任せられ、外務、内務、司法及教育等の七大官ありて内閣を組織す、司法は高等法院并に各種裁判所之を實施し、兵備は陸軍に約二萬七千人の兵ありて海軍には數隻の艦船あるのみ、一九〇六―〇七年の豫算に依れば

農業

牧業

林業

鑛業

工業

貿易

歳入は九千七萬餘ペソにして歳出は八千九百九十萬ペソに近く外國債に三億一千六百三十四萬餘ペソあり、又一九〇六年に於ける各州の歳入は凡一千九百十三萬ドルにして歳出は一千八百四十萬ドルに餘れり。

生業 農業は未だ幼稚なり、熱地、温地に於ては甘蔗、實綿、ヘネケン、藍、ココア、珈琲、米、煙草、ワニラ等を産すれども、寒地にありては僅に麥を産するに過ぎず、牧業は北部に於て牛馬を飼ひ、南部に於て羊を飼ふが、家畜の總價格は一億二千五十二萬ドルを超え、林業は各種の木材を與ふ、鑛業はメキシコ第一の生業にして殊に貴金屬に富めり、一九〇三年に於ける鑛區は一千九十八ヶ處にして此等は殆ど銀を與へざるものなく、鑛産の總價格は銀六七二八、銅(二五二八)、金(一三三三)、鉛(三六九)等を合はせて一億一千五百六十萬ドルを超過するが、工業には製絲(一一五萬鍾)あり、織物あり、製紙あり、製糖(砂糖八二、三密四七二)あり、蒸溜、醸造業には酒精、アルコール的飲料あり、又製陶は土人得意の業務なりとす。

貿易は一九〇五―〇六年に於て輸入凡二億二千六十五萬銀ペソ、輸出二億

交通

メキシコ

七千百十三萬銀ペソ餘なるが、前年の輸入は約一億七千八百二十萬銀ペソ、輸出は三億八百五十二萬銀ペソにして、主に合衆國、イギリス、ドイツ、フランス等と取引し、銀(二、二五四〇)、金(三、一六九)、ヘネケン(三、九四三)、銅(二、八六五)、珈琲(九、二八)、皮類(七、八八)、鉛(四、九六)、ワニラ(四、一五)等を主要輸出品とす、入船は三百七萬餘噸なるが、商船は少なく、鐵道は一萬七千四百四十六軒、郵便局は二千四百六十五、電信線は七萬七千餘軒、電話線は四萬六百五十七軒あり。

總督 メキシコ(Mexico)(三、四、四七、二二) 北緯一九度二六分、西經九九度六分、四〇秒は當合衆國の首府にして、海拔二、二六六米突の地に位し、繁華の市街なり、外觀莊麗なるメソポタミア的アメリカ第一と稱せらる、本市は舊メソポタミア的にテヌク湖上に建ちしが、目下は市と湖と相距ること約四軒なり、メキシコ(Puebla)(九、三、五二)はポポカテペトルの麓に位し、綿布、綿絲を製す、グアナナト(Guanajuato)(四、一、四、八六)は鑛業の中心なり、レオン(Leon)(二、三、三、六三)は綿布、鞣皮を與へ穀類畜類を集散す、グアダラハラ(Guadalajara)(一、〇、二、一〇、八)は陶器、煙草、織物を製す、サントルイスポトシ(San Luis Potosi)(六、一、一〇、二、九)は農産地にあり、モンテレイ

(Monterey)(六、二、二、六、六)は交通上の要區なり、アカプルコ(Acapulco)は太平洋岸の要津なるが、港形最、佳なり、ベラクルス(Vera Cruz)(二、九、一、六、四)はメキシコ灣岸に於ける主港なり、タンピコ(Tampico)も亦同岸の一小商港なり、メリダ(Merida)(四、三、六、三〇)はユカタン半島にありて交通の便を有し、盛にヘネケン業に従事す、ラバース(La Paz)は下カリフォルニア半島の南東部にありて良港に瀕せり。

●中央アメリカ

中央アメリカと稱する地方即ち中央アメリカの地峽部は太平洋とアンチル海との間に介在せる、狹長の陸地にして、北と南との兩アメリカを連絡せり、北は海拔二百米突に過ぎざる、テウアンテペック地峽より起り、ユカタン半島に於て稍、廣濶と成り、アマト灣に於て幅を減じ、再、増大してホンデラス、ニカラグア等を爲し、南の方は海拔九十米突のバナマ地峽を含みて、南アメリカに接せり、而してアンチル海に注ぐアトラト河と太平洋に趣くサンジリア河との流域に當る低地を以て南北兩アメリカの境界と爲すを可とす、然

境界

海岸

地勢

氣候

れども政治上は北端に於ける一部はメキシコ國に屬するを以て現に中央
アメリカと稱する地方の面積は五十三萬餘方浬なり。

海岸は北部にありては平底にして潟港に富み、海底は概して若礁少なからず、太平洋に瀕する部分は断崖絶壁多くして風曲に富み、湖にフオンセカ、メメゴ、グレブ、ニコヤ、ソレン(Duce)、モンチホ(Monijo)、メナイありて島の最大なるものをコイバと云ふ、アンチル海に於てはホンサウラス海、チニツマル海、アマト海、ロスキト一海、ダリアン海、ツルネフ島等を見る。

起伏多くして交通に便ならず、廣濶なる部分に於ては臺地を爲すも概し山脈の貫通するありて到る處火山を存し、其の數は八十餘に及べり、殊に注意すべきは陸地の一樣ならずして断續定まらず若干の三角形の接合より成れるが如き形状を呈するにあり、假に海水をして數百米突高からしめば地峽は變じて列島を形成すべし、沿海の平地はアンチル海方面に廣く殊にモスキト一岸を以て然りとす。

内海の沿岸にありては濕潤にして炎暑を感じ、高臺、高谷の地に於ては涼風を受くるも亦氣温の變化激しく冬季には降雪を見ることあり而して北

天産

住民

沿革

東風は雪雨を齎し來るも山脈の爲に遮らるるを以て太平洋に瀕する地方は乾燥なり、要するに土地の幅の狭きに拘らず起伏多く高低激しくして海陸風向等の關係上、兩岸の氣候に著しき差異あるのみならず、メキシコに於けるが如く熱、温、寒三地帯の存するを觀る。

地味の肥沃なるは顯著なる事實にして玉蜀黍の如きは地方に依りては年四回の收穫を興ふるが、烟草、甘蔗、アニラは頗る優良なりと云ひ、森林は「マカガニー」、黒檀、鐵樹、其の他有用の樹種に富み、而して高地にありては柑類并に温帶的果樹の成育極めて良好なり而して礦物には金、銀、鐵等あるも、シエネガ(Orege)、黒赤、白等の粘土地層にして總面積の十分一内外を占むるが、光熱の下に龜裂を生じ降雨の際には泥濘と變ず、佳良の牧草を興へざるに非ざるも亦交通上の一大障害たるは争ふべからずの存在は採掘を困難ならしむ。

住民が少なきに失するは當地方の發展に關し一欠點たるは勿論なれども、土人とラヂノス(Ladinos)白人との反目は内政上、不良の結果を生じ、騷擾に繼ぐに騷擾を以てするが故に富源の利用に心ある者の來住を促すに足らず、進歩の遲々たるは亦止むを得ずと云ふべし。

第十六世紀以來、エスピニアの領土として、グアテマラ總督府たりし中央アメリカ

世界地理提要 あめりか洲 中央アメリカ

かは一八二一年を以て獨立してメキシコに合併せし後一八二三年に於て更に分離して中央アメリカ合衆國を組成せし一八四九年に至りグアテマラ、サルバドル、ホンデュラス、ニカラグア、コスタリカと云ふ名稱の下に五共和國の分立を見たり、而してパナマ共和國は一九〇三年に於てコロンビア共和國より分離して獨立の共和國と成りたり。

◎イギリス領

イギリス領ホンデュラス(Honduras)はホンデュラス灣に瀕してメキシコ及びグアテマラと境を接し、凡そ一萬九千六百方料の面積と三萬七千餘の人口を有す、住民は黒色人、雜種等多きを占め白人は少なし、主要輸出品は「マホガニー」、「ロケウード」、「バナナ」等なり、首邑「ベリゼ(Belize)」は同名の河口、岩礁多き海岸にあり、從來「マホガニー」の輸出を以て有名なりしがグアテマラ及びホンデュラスに對する倉庫地たるを失はず。

◎グアテマラ

グアテマラ共和國(Republica de Guatemala)はメキシコ、イギリス領ホンデュラス并にホンデュラス、サルバドルの二共和國と境を接し、太平洋及びアンチル海に瀕す、面積は十一萬三千餘方料あり。

帝國は中央アメリカ諸國の中にて最も廣く最も高き山地にあり、南東部のサルバドル

境域

地形

住民

生産

に隣接する處にありては海拔は五百米突に過ぎざるも、北部に於ては一千三百乃至一千九百五十米突に達し、キツサルチナンゴのアルトス地方には稀に降雪を見ることあるが海拔は二千五百米突なり、火山には三十一座ありて其の中著しきものは「カタナンゴ(四一五〇)」「フエゴ(三八一五)」等なりとす、地味は概して肥沃なり、人口は一九〇三年に於て百八十四萬餘人、男九二、四四〇六、ありて過半はキツチ(Q'eq'chi)其他、純粹のインディアンなるが、殘餘は主としてラヂノスに屬し、西人は少なし、宗教はローマ公教を主とす、
高臺の地は牧畜に適して牛、馬、羊、豚等の飼養あるが、鑛業は未だ盛なるに至らず、當國最要の農産物は珈琲にしてドイツ人主として其の栽培に従事す、而して煙草、甘蔗、「バナナ」、「ココア」、小麦等の産もあり、從來主要の生産たりし「コチニル」(Cocaine)樹に生ずる小は著しく減少せり、工業の中にて稍、見るべきは毛布、綿業、「セメント」、煉瓦、家具、煙草製造、製糖、醸造、蒸溜等の諸業なり、貿易は一九〇五年に於て輸入に六百八十四萬餘「ペソ」(金)輸出に八百二十四萬「ペソ」弱ありて珈琲、皮革、木材、「カウチック」、「バナナ」等を主要輸出品とするが、鐵道(六四〇軒)郵便(二八一局)電信線(五一九九軒)電話線(四七三三)等も多からず。

世界地理提要 あめりか洲 中央アメリカ

グアテマラ

七百六十四

新グアテマラ(Guatemala, la Nueva) (七一五二七)は太平洋を距ること八十軒
海拔一四八〇米突に位す、住民の六分の五はヨーロッパ人の子孫にして陶器
木具、織物を製す、鐵路に依りてサンジョセ(San Jose)に通せり、舊グアテマラ(Gui-
atemala-la-Vieja)は新街の北にあり、一七七四年の地震にて破壊せられしも尙ほ
一小都會を爲せり、グサルラナンゴ(Guzaltenango) (二八九四〇)は海拔二三四六
米突の地にあり、氣候冷涼にして稀には降雪を見るが附近に農産多し。

◎サルバドル

サルバドル共和国。(Republica del Salvador) は中央アメリカに於ける最小國

土地

境域

グサルラナ
ンゴ

にして二萬一千餘方軒に過ぎず、太平洋及フオンセカ灣に沿ひグアテマラ、ホ
ンデュラスと境を接す、長は約二百七十軒にして幅は約六十四軒なり。
此の地は土人のクヌカトラン(Cucatan)と云ふ地にして太平洋に瀕する平底の地
とホンデュラス産地の一部なる高平地とより成れり、高地は幅五十軒にして海拔は
六百米突なるが、グアテマラの山脈に連なりて三十座の火山を有せり而して其の
最高峯はサンピセンメントにしてサンミゲル、イザルは活動するを以て名を知ら
る、氣候は炎熱にして降雨少なきが爲に乾燥に失するも亦甚しく健康を害するこ

住民

生業

となし。

人口は百萬人を超ゆるが多數は土人及雜種に屬しラヂノス(Ladinos)は七
十七萬餘人、インヂアンは三十三萬餘人ありて白人は少なし。
農産は珈琲を第一とし、此の他にインヂゴ、甘蔗、煙草等あり、鑛業は主とし
て金を採掘す、一九〇四年の貿易は輸入に三百六十一萬餘ペソ、(金輸出に珈
琲、金、銀、インヂゴ、砂糖等の一千六百五十九萬ペソ)弱ありて、鐵道(一五六軒)、電
信線電話等も著しからず。

サルバドル

サンタアナ

首都サンサルバドル(San Salvador) (五、九五四〇)は太平洋のラリベルタッド
(Liberad) 港より五十軒にありて、海拔は六五七米突なり、數回の震災を蒙り
しも附近の地の肥沃なるが爲、捨らるるに至らず、アカビータラ(Acajutla)も亦
海港なり、サンタアナ(Santa Ana) (四、八一二〇)は温地にありて、甘蔗、珈琲等の
産地にあり、サンミゲル(San Miguel) (二、四七六八)はインヂゴの産地にありて
年市を以て名を知られラウニオン(La Union)港を附屬錨處とす。

◎ホンデュラス

世界地理提要 あめりか洲 中央アメリカ

七百六十五

境域

土地

住民

産業

ホンデュラス共和国 (Republica de Honduras) はホンジュラス灣を北にし、南東は
アタマラと境す。地積は十一萬四千餘方呎あり。

ワルア河はヨウア湖の水を受けて、マツカ河、レンス河と共に大西洋に入り、チオル
カ河は太平洋斜面に属す。兩洋の間に於けるリアニツア即ちコマヤグア平地は海拔八百五
十米突にしてホンザウラス産地の平均海拔は一千米突なるが、山岳中には三千米突
を越ゆるものありと云ふ。土地は肥沃にして地下には多量の礦物を含み、氣候は概
健康に適するが温度は海拔の高底に依りて十三乃至二十度の間を昇降す。

人口は五十四萬餘人、男女二七、六四三、七四〇あり。住民の多數はラデオスにして其
の他に純粹の土人、黒色人、白色人、雜種人あり。宗教の中、最、勢力あるはローマ
公教なるが大學の設あり。

住民の怠惰なると官吏の専横なるとに依りて生業は振ふ能はずと雖、農
業は次第に發達に向ひつつありて、バナナを主とし、煙草、甘蔗、玉蜀黍、ココヤ
シ、珈琲等の栽培あり。牛、其の他の家畜も飼養せられ、金、銀等の鑛産あり。一九
〇四―〇五年の輸出は四十九萬餘ポンドに過ぎずして、バナナ、鑛物、貴金屬

ナグシガル

境域

土地

◎ニカラグア

牛肉等を主要品とするが、交通不便にして鐵路の如きも百呎に達せず。
首都テグシガルパ (Tegucigalpa) (三、四六九二) はチオルカ河の上流、海拔九七
五米突の産銀地にあり。商業行はる。舊都カマヤグア (Comayagua) はテグシガル
パの北西に當り、ジツチカルパ (Juticalpa) (二、七八〇〇) は北東東に位し、砂金に富め
る。パツカ河の支流に瀕す。アマパラ (Amapala) は太平洋岸の主港にして、大西洋
岸にフェルトコルテス (Puerto Cortez) あり。

ニカラグア共和国 (Republica de Nicaragua) はホンジュラスとコスタリカとの間
にありて、太平、大西の兩洋に瀕し、地積は十二萬餘方呎を以て中央アメリカ
の諸國中、最大なり。

土地は概して高陸ならざれば、中央アメリカにて最、炎熱を感ずるの地なり。北部
には起伏の一樣ならざる産地ありて、ホンザウラスに連接せり。火山の數は二十以上
に達するが、其の中にて活氣あるものをテリカ (二、一八五)、モントンボ (一、八三〇)、コ
セグイナ (一、〇〇〇) 等なりとす。而してマナグア湖は一千五百六呎の面積を以て、海拔
四十八米突の地にあり、マナローヤ河に依りてニカラグア湖に通ず。此の湖は八千三百

方料の面積と十六乃至八十米突の水深を有して海拔三十三米突餘の地にあるが、流水口はサンジアン河と成りて北境を爲せるマングス、モスキートー岸を通過するリオグランデと共にアンチル海に趣けり。

人口は四十三萬餘に過ぎずしてインヂアン、ムラト、黑人、雜種等より成り白人は少なし。

耕地は少なきも珈琲、バナナの栽培は廣く行はれつつありて珈琲的富の凡三分の一はドイツ人の手にあり而して甘蔗、煙草、玉蜀黍、米、木材等の産もあり、鑛業は主として金を與ふ、工業は地方の需用に充つるに過ぎず、貿易の如きも一九〇四年に於て輸入三百二十萬金ドル、輸出三百九十二萬金ドルありしのみ、主要輸出品は珈琲、木材、金、バナナ等なり、鐵道、二七六杆、電信線等も發達せず。

マナグア(Managua)(三〇〇〇〇)は同名の湖の南岸に建ち當國の首都なり、レオン(Leon)(四五〇〇〇)は舊都の地にしてマラビオス山麓の附近農産に富める地であり、チナンチチ(Chinandego)(二一〇〇〇〇)と相距ること遠からず、グラ

住民

生業

バナナ

レオン

ナダ(Granada)(二五〇〇〇)はニカラグア湖の北西岸にありて中央アメリカの一舊市なり、ブリト(Brito)は太平洋に注ぐリオグランデに沿へり、グレイタウ(Graytown)はサンジアンデルノルラとも云ふ、サシジアン河の口頭に位せり、豫備地即、リゼルブ(Reserv)アンチル海の沿岸地方は平低にして沼澤に富めるが、蒼蒼たる天然林中に棲息する生蕃的モスキト(Mosquito)はブルーフィールド(Bluefield)の酋長を戴けり。

◎ コスタリカ

コスタリカ共和国(Republica de Costa Rica)はニカラグア、バナマの二國と連なりて太平、大西の二洋に面し、地積は四萬八千餘方杆あり。

西岸にはアラコンコ岬、ニコヤ岬、マタパロ岬、ブルス岬等の出入あり、此の地は海拔六百乃至一千米突のペラグア臺地の北部に當り、山地は樹林に富めるが火山多くして其の数は十一あり、殊にモンテブランコ(二九一四)、イラス(三四一四)、チツルリアルバ(三四二五)等は活火山なり。

人口は三十二萬餘人にして殆ど純粹の白人より成れり、而してコスタリカ人がピレネー半島中にて勤勉者たるの佳評あるガリシア人の子孫たるを

世界地理提要 あめりか洲 中央アメリカ

境域

土地

住民

知らば此の國の生業が多少の活氣を帶ぶる所以を了解すべきも不幸にして土地狹隘なれば多數の人口を有するの望なし、國教はローマ公教なるも信教の自由は憲法の公認する所なり。

農産の主要なるものは珈琲、バナナなるが玉蜀黍、米、馬鈴薯等も廣く栽培せられ牛、馬等の飼養あり、一九〇五年の貿易は輸入に約四百八十五萬ペソ（金）輸出に珈琲、バナナ、金、皮革等の八百十四萬ペソ餘あり、多少の鐵道（四七三軒）電信線（一五三二）電話線（三二七）等を有す。

首邑サンジョゼ(San Jose)（二三九〇）は海拔一二八八米突の地に位し氣温は最低十四度にして最高二十七度なれば常に春暖の佳季にありと云ふべし、プンタスアレナス(Puntas Arenas)は太平洋岸の港にして首邑を距ること九十六軒に位するが大西洋岸のリモン(Limon)港は首邑より二十二軒にあり。

◎ パナマ

パナマ共和国(Republica de Panama)はニスタリカとコロンビアとの間にある狹長の國にして北は大西洋、南は太平洋に面し地積は八萬七千餘方軒あり。

境域

サンジョゼ

生業

土地

住民

生業

りて長さは七百七十二軒に達し幅は六十乃至百七十七軒あり。

灣の大なる者はベルラス群島を有するパナマにして半島アズエロ、最大島コイバも亦太平洋にあり山脈はペラグラを以て著しきものとするが脈中にはサンチアゴ山（二八二六）聳ゆ氣候不良にして居住に適せざる處多し、人口は三十四萬乃至四十萬と概算せらるるが雜種にしてエスパニア、インヂアン、黒人、ヨーロッパ人等より成りインヂアンの分子は臺地及び西岸に多く黒人は約四萬人ありて大西洋岸及び内部殊に鐵道附近にあり。

土地肥沃氣候炎熱にして熱帶的植物の繁茂に適するも耕地少なし、最、主要なるものはバナナにしてカウチック、珈琲之に次ぎココヤシ、マホガニー等も産出し、牛、馬、豚等の飼養あり、眞珠はバナマ灣及びコイバ島にて採集せられ鐵産は未だ多からず、工業も亦微々として振はず、一九〇三年の貿易は輸入に四十七萬三千ポンドありて輸出に二十五萬三千ポンドありたるが一九〇五年コロロンに於ける輸入高は二百萬ドルを超えたり、而して通過貿易には稍見るべきものあり、地峽の兩岸は數條の航路に依りてアメリカ及びヨーロッパ

パナマ運河

ロンドンと航通の便を有し、地峽を横ぎる鐵道は凡七十五軒ありて海底電信は國外に通せり而して兩洋を連ぬべき運河は其の長七十三軒と算せらる。

パナマ運河 中央アメリカの地峽部を横ぎりて兩洋運河を設くるの説は既に十六世紀頃に起りしが、一千八百七十九年パリに於ける萬國會議に於て有名なルネセップスがパナマ地峽を開鑿するの議を建言せしまでは何等の進行を見ざりき一千八百八十一年二月二十八日を以て當事者のコロロンに到着せるを始とし、翌年には運河會社のパナマ鐵道を買收せるあり、一千八百八十年老練なる調査委員は運河開鑿費を八億四千三百萬フランクと概算せしが、其の後ルネセップスは水平無開式にて六億フランクを以て足れりとせり、既にして工事に着手するや幾多の情實纏繞して賃償は年々増加し遂に一千八百八十九年會社は破産するの悲運に遭ひ、所謂パナマ事件(一八九二―九三)起りて中止せざるべからざるに至りたり、其の後一千九百二年に及びて合衆國は既成の工事并に運河完成の權利を買收せんとせしが、翌年コロロンピアの之を拒めるあり、爲にパナマ縣はコロロンピアより分離し、新共和國は同年十一月十八日合衆國とハイブナワバリヤ(Hay-Bunau-Varilla)條約を結び、此の條約に依りてパナマは幅十六軒の地帯の永世使用を許し警察、司法、其の他の特權を與へ、尙土地、海岸線の讓與を行ひ、同運河の中立的にして世界の商業の爲に開放せらるべきものなりとせり、此の許諾に關して合衆國は一千萬弗を支持

パナマ

ひ尙九年後よりして毎年二十五萬弗を拂ふべきを規定せり、先之合衆國は運河會社の工事權利に對して八百萬弗を與ふべきを約し、一千九百六年には運河公債發行せられ、運河は有開式と確定せられ、二萬七千の工夫の之が開鑿に従事するあり工事は益々歩を進めて世界の航通に關して大なる影響を及ぼさんとす。

首都、パナマ(二八〇〇)は太平洋岸にあり、港形不良にして錨地はタボガ(Taboga)島にあるも船舶の停繫に便ならず、鐵路に依りて大西洋岸のコロン(Colon)即、アスピニョル(Aspinwall)港に通じ交通上の要區たるを失はず。

●アンタル諸島

位置

アンタル(Antilles)諸島は一名を西印度諸島と云ふ、北緯十度に起り同二十三度に達する一帯の島嶼を合はせ稱するものにして、其の北部は殆ど東西に走りて南部は概南北の方向を有せり、北部はキュバ、ジマイカ、ハイチ、プエルトリコ等の大島より成るを以て大アンタルと稱し、南部は風諸島(Bario Vento)風下諸島(Solo Vento)等の小嶼より成れるを以て小アンタルと稱す、而してバハマ諸島を加ふれば極北は北緯三十七度に達すべし。

世界地理提要

あめりか洲

アンタル諸島

七百七十三

境域

地積

山岳

河流

氣候

天産

北東及び東は大西洋に臨み、南及び南西はアンチル海即ちカリブ海に瀕し、西はユカタン海峡を挟みて地峡部と相對し、北西はメキシコ灣、フロリダ海峡を隔てて大陸を望めり。

大小のアンチルを合はすれば二十四萬二千方料の地積を有するが、其中二萬一萬八千方料は大アンチルに屬し、一萬一千八百餘千方料はバハマ諸島に屬し、一萬二千餘千方料は小アンチルに屬せり。

本諸島は地質上、火山、白堊、第三期の三帯に分つことを得るが、大島は主として白堊帯に屬せり、而して山脈はシエラデキッパに於ては二千八百米突に過ぎざるが、ハイチ島に於ては三千米突以上に達する處あり。

本諸島は海洋の爲に圍繞せらるるを以て降雨多く、従て水脈に乏しからざるも、各島は土地狭長にして平原少なきを以て大河巨流の存するあるを見ず。

氣候は熱帶的なり、沿海の平地は三月より十月に至る間は二十六度以上に達し、寒冷の月と雖、二十四度を下ること稀なり、貿易風は十月より三月まで北東の方向を取り、雨季は夏の終に始まりて十月は一般に最濕潤なるが、十一月より四月に至る間を以て乾季とす、又八月乃至十月には暴風の害を蒙ること少なしとせず、此の如くなれども高地に於ては氣温稍低く濕氣も強からずして概して健康に適せり。

本諸島は世界有数の豐饒地なれば、頗る植物に富めり、殊に甘蔗、咖啡、ココア、煙草、實糖等を産す、動物は野獸乏しけれども鳥類昆虫類は少なしとせず、礦物は多からざるもの如し。

住

住民の總數は六百五十萬に近きが、土民は全く消滅して其の餘類を見ること能はず、白人は僅にして過半は黒奴の子孫たる黑人なり、其の他有色の雜種少なからず、而して多少の黄人あるが孰も支那人なり、又言語に依りて區別すれば、エスパニア語を用ふるものは總人口の凡半を占め、殘部はフランス語、イギリス語等を用ふ。

本諸島にはキッパ、ハイチ、ドミニカの三共和國の外にイギリス、フランス、アメリカ、オランダ、ダンマルク等の領土あり。

○キッパ

キッパ(Cuba)はアンチル諸島の最大島なり、島形は狹長にして頗る港灣に富み、周回は三千八百八十四軒ありて、一千二百二十二軒の長と三十九乃至二百十七軒の幅とを有し、地積は凡十一萬九千方料ありて、ピノス島(Pinos)島、カマグエイ(Camaguey)諸島等一千三百の小嶼を含めり。

島の南東部に於ける山脈シエラマエストラ(Sierra Maestra)はツルキノ山の

世界地理提要

あめりか洲

アンチル諸島

地勢

境域

二五六〇米突に達するあるも、其の他の部には丘陵を見るに過ぎずして最高處と雖、七百米突を超ゆること殆どなし、河流は少なからざるも顯著なるものなく、土地は最、豊沃にして實にアンチルの女王たるに耻ぢず。
氣温は概して炎暑を感じ、ハバナに於ける年平均は二十五度にして七八月の平均は二十八度に近く十二月、一月に於ては二十二度餘なり而して炎熱にして降雨多き季節は五月より十月にしてハバナの年雨量は百三十四糎に達す此の他の季節は氣温暖和にして甚、爽快を覺ゆ又暴風の害を蒙ること少なからず。

人口は一九〇四年に於て凡、百七十三萬人ありしが、一八九九年の調査に従へば百五十七萬餘人にして其の六割七分弱は白人、殘餘は雜種、黑人等より成れり來住者の數は一九〇四年に二萬九千餘人ありたりしが其の二萬四千人弱はエスパニア人なりき。

キッパは米西戦争の結果に基づきて一九〇二年以來獨立の共和國と成りしも特殊の條約は合衆國の勢域内に屬せしめたり。

森林は「マホガニー」「セダー」「Oak」其の他の良材等を興へ、牧業は牛(一三二萬頭)馬等を養ひ、鐵産には銅「マンガ」鐵等あり而して熱帶地方の特産たる珈琲「ユニア」實綿等を産するのみならず、甘蔗を産すること夥しくして世界第一の稱あり、煙草は良質を以て鳴り殊に西部のプエルタデアバゾ地方に産する「ハバナ」は世界に冠たり而して製糖場はハバナのみにも二百七、處あり、大小の製煙場は二百二十七、處を下らずして一萬八千人以上の職工を使役す、貿易に就きて一九〇四—〇五年の輸入は凡、九千三百萬ドルにして輸出に砂糖及、糖蜜、煙草、果物、鐵物等の九千九百十二萬ドル足らずあり而して入船は八百三十六萬餘噸の遠洋航船と二百八十二萬餘噸の沿岸航船とあるが、鐵道は二千三百八十六軒ありて四百六十足らずの郵便局を備ふ。

ハバナ(Havana)(二六、二三九五)はキッパの首府にして島の北岸に位し西印度第一の都會なり盛に煙草を製造し農産を集數す、股販の地なり、マタンザス(Matanzas)(四、五二八二)は首府の東に於ける主要の港なり、シエンフェゴス(Santiago de los Caballeros)(五、九一二八)サンチアゴ(Santiago)(四、五四七八)は南岸の要港なり、プエル

世界地理提要 あめりか洲 アンチル諸島 七百七十七

トリンシヤ(Puerto Principe)(1°五〇一二)は内部にあり。

◎ハイチ

ハイチ(Haiti)山岳多き島にて。島はアンチル諸島中第二の大島にして山岳多きも亦平野に乏しからず殊にベガレアル(Vegas Reas)の王國は肥沃の地として知らる富源多く頗有望の土地なれども目下の國情は之が利用を許すべくもあらず。

ハイチ共和國(Republique d'Haiti)はハイチ島の西部を占め二萬八千餘方呎の地積を有するが、二半島は一大灣を抱き其の中にゴナープ島あり、土地は山岳多くアルチボニット河は航行の便を與ふ、人口は百二十九萬餘人に達し、黑人、雜種等より成れるが白人は極めて少なく、概してフランス語を用ひキリスト舊教を奉せり。

當國の主業は農にして珈琲を第一とす、此の外に「ココア」綿、甘蔗、ログウー「ド」あり、家畜の飼養あり、鐵物は豊富なれども採掘盛ならず、工業は砂糖、ラム、石鹼等を與ふ、一九〇三—〇四年の貿易は輸入に三百九十八萬ドル餘、輸出

に凡八百五十九萬ドル弱あり、交通の便は備はらずして鐵道の如きも四十三呎に過ぎず、首府ポルトプリンズ(Port au Prince)(7°〇〇〇)は良港を有するも市街は不整頓を極むと云ふ。

ドミニカ共和國(Republica Dominicana)はサントドミンゴ(Santo Domingo)とも呼ばる、ハイチ島の大部を占めて其の東に位し地積は四萬八千餘方呎あり、住民は四十二萬に近きが主としてエスパニア人と土人との雜種より成り、黑人は少なく、ヨーロッパ人の子孫は比較的に多し、言語はエスパニア語流行しキリスト舊教を以て國教とす。

當地は木材に富みて「マホガニー」其の他を産し鐵物にも鐵、金、銅、石炭等あるが主なる産物は「ココア」なり而して良質の煙草あり、甘蔗の栽培、砂糖の製造は南部及び西部に行はれ輸出は凡五百二十二萬金、ベソにして輸入は二百九十九萬、ベソに近きが交通の機關は發達せずして鐵道に百八十八呎、郵便局に六十九、電信線に六百九十呎あるのみ、首府サントドミンゴ(Santo Domingo)は南海岸のオザマ河口に位し、一四九六年の建設に係れる舊市たり。

◎ アメリカ領

ポルトリコ(Puerto Rico)即、プエルトリコ(Puerto Rico)九五三、二四万料は山岳に富みて平低の地に乏し、住民の中白人は五十九萬に近くムラットは三十萬餘にして黒人は六萬に達せず、此の地は一八九八年の條約に依りてエスパニアより合衆國の手に移りしが繁昌なる殖民地を組成す、主産物は珈琲なるが甘蔗、煙草、綿果物類も産出し、一九〇四—〇五年の輸入は約一千六百五十四萬ドルにして輸出は砂糖、煙草、珈琲等の一千八百二十五萬ドルなり、鐵道二七六杆、電信線一五〇〇、電話線等も多少あり、首府サンジュアン(San Juan)(三二一〇四八)は北岸にあり。

◎ イギリス領

イギリス領はバハマ諸島、大アンチル列島中のジマイカ島并に小アンチル列島に於けるトリニダッド、其の他の島嶼より成り、住民は黒人及、雜種其の主要部を爲し、白人は少なし、而して土人カリブは尙ドミニカ及、セントビンセントに多少ありと云ふ、行政上はジマイカ、バハマ、リーワード、キンドスト

ド、トリニダッド及、トバゴ、バルバドスの六群に分たる。

ジャマイカ(Jamaica)島七、九、五三、九八八人は、キツ島の南百四十四料にありて、イギリス領西印度の最大島なり、島内は山岳に富み、プリマクワンテン山脈に大カスケード山(二、三六二)、ゴールドリッチ山(二、四八八)あり、其の他にブリリッパ、プリッピル等あり、平低の地は或は沼地となりて濕潤に過ぐるあり、或は耕耘に適するあるも概して炎暑の地にして健康に適せず、然れども海拔の高き銘谷の地に温和の季候を有するものありて頗、人生に適せり、住民は甘蔗、珈琲、バナナ、ココヤシ、牧草等を栽培するが、ラム酒は殊に有名なり、首府キングストン(Kingston)(四、六五四二)は島の南東岸に在り、世界屈指の良港を有し、交通上の要區たるも震災の患少なり。

バハマ(Bahama)諸島五、一、四〇、五万料は一にリウカイネ(Lucayas)諸島と云ふ、西印度諸島の最北部を占めて、キツ島の北東、フロリダ半島とハイチ島との間にあり、一千三百料の長と平均三百料の幅とを有し、五百以上の珊瑚質島嶼より成れり、住民は果樹の栽培を以て主業とするが、海綿の採取も行はれ、纖維業も有るなり、プロビデンス島のナッサウ(Nassau)はバハマの首邑にして商業の中心なりとす、サンサルメドル(San Salvador)即、サントスピリット(Saint Spirit)は、始めて上陸せしゲマナニ(anahani)ナシ。

リーワード(Leward)諸島は小アンチル列島の北部にありて、ポルトリコとマルチニクとの間に在りしが、若干の島嶼を除きて其の他はイギリスに屬し、方料一三、

トキニダツ

トキニダツ

トキニダツ

グアダルプ

○ セントジョン (St. John) はアンチグア島の北部にありて知事の住する處なり。
 # セントビンセント (Windward) 諸島はフランス領マルチニク島よりトニダツ島までの島嶼を總稱するものなるがイギリス領一三、四三方料
セントビンセント (St. Vincent) 及北グレナダ (Grenadines) セントナタ (Grenada) 及びカ
 リブタ (Carriacou) を含むセントルシアに於けるカストリー (Castries) は西印度の最良港
 なり。
トリニダツ (Trinidad) 島二八、四二〇は小アンチル列島中の最南最大の島にして
 耕植に供せらるるものは二十分の一に過ぎず、此の他は森林、沼澤、山岳等の占むる
 所なり、氣候は甚しく健康を害せざるが如し、住民はヨーロッパ人とアフリカ人の
 雜種、其の主要部を爲し、甘蔗、咖啡、「ココヤシ」等の栽培に従事す、知事は本島の北西部に
 於けるススペイン港 (Port of Spain) に居住し、トメ (Tobago) 島一、八八八〇料をも支配す。

○ フランス領

フランス領三、八五八方料はグアダルプ、マルチニク其の他の小アンチル
 島より成りて行政上はグアダルプ、マルチニクの二部に分かる。
グアダルプ (Gudaloupe) 島一、五七八〇六はドミニカ島の北にあり、西部をマッセテ
 ール、東部をグランデターレと云ふが地峽に依りて相連絡す、住民は甘蔗、咖啡、「ガ
 カオ」等を栽培し砂糖、咖啡、「ココヤシ」「ラム」を輸出するが一九〇四年の輸出は一、千

マルチニク

七百九十三萬フランク餘にして輸入は一、千三百二十六萬フランクに近し、知事の
 政廳はポインター (Basse Terre) 島にありてポインター (Pointe-a-Pitre) (一、八四一) は
 良港を有す。
マルチニク (Martinique) 島二、〇七〇一はドミニカ、セントルシア兩島の間に位し一
 九〇二年の火山破裂に依りて島の大部は損害を蒙れり、住民は咖啡、「カカオ」、烟草、糖
 を栽培し一九〇四年の輸入は一、千五百五十五萬八千フランクにして輸出は一、千
 三百三十萬フランクに近し、政廳はポインター (Fort-de-France) (二、一六四) にあ
 るが商業地としてはポインター (St. Pierre) (一、六〇一) あり。

○ オランダ領

キュラソー (Curaçao) 殖民地五、三三〇方料はリイアード諸島に於けるセントエヴスタ
 チウス (St. Eustatius) サバ (Saba) ボネ (Bonaire) アルバ (Albani) (南部) とメネズエラの海岸に於けるキュラ
 ソー、ブエノアイレ (Buen Ayre) オランダ (Oruba) の諸島より成りて政廳はキュラソー島の #
ウィレムスタット (Willemstadt) にあり、キュラソー島は鉛酒製造用の税を産す。

○ タンマルク領

タンマルク領三、〇五二七はサンタクルス (Santa Cruz) 島并にメーラン群島中のセン
 トトマス (St. Thomas) セントジョン (St. John) より成り、サンタクルスのクリスチアンス
クリスチアンス (Christiansstadt) を以て首府とするがセントトーマスのセントトーマスは良港を

世界地理提要 西めりか洲 アンチル諸島 七百八十三

キュラソー

有し、船舶の出入少なからず。

南アメリカ

●グイヤナ

グイヤナ(Guyana)即ちグイヤナ(Guyan)は南アメリカの北部にありて大西洋に瀕しカリブ海、アマゾン等の河流に境せらるる島嶼様の土地なり而して北部の四端(端地積の四分一に當る)はベネズエラに屬し南部(同二分一)はブラジルに屬するが、殘部はイギリス、フランス、オランダの三國に分領せらる。此の三グイヤナの地積を合はせば四十四萬八千方料ありて海岸の延長は一千一百乃至一千五百料あるも平低にして良港に乏し、沿海の地は幅六十乃至一百料ありて濕地多きに過ぐるが内部に趣くに從ひて土地は隆起し、太陰山脈、ツムクフマツ(Tumuc-Humac)山脈はオリノコとアマゾンとの分水線に當れり、氣候は沿海の地に暑くして濕氣多く二十度乃至三十八度の間を昇降するも概二十五度乃至二十七度の間であり、然れども内部の高地は温暖にして健康に適すと稱せらる。植物は熱帶的にして盛に繁茂するも氣候惡しく、住人の繁殖を妨ぐるを以て貴重なる富源も徒に遺利たるに過ぎず。

イギリス領グイヤナ 二四、六四七〇方料 三グイヤナの西部にあり、コロンタイ 九、五八四八人

ン河は東境を流れて大西洋に入る。輸入は百五十四萬ポンドに近きが輸出は百九十九萬ポンドは砂糖、糖蜜、ラム等より成れり、鐵道(一五三料)郵便、電信、電話の便を有す、首府ジョージタウン(Georgetown) (五六〇〇〇)はデメララ河の口に位し佳良の港を有す。

オランダ領

オランダ領グイヤナ即ちスリナム(Suriname) 一二、九一〇〇〇方料 九、一〇〇〇〇人 はコロンタイン河とマロニ河との間にありて砂糖、ココア、珈琲を産し、一九〇四年の輸入は七百三十九萬九千、グルデンにして輸出は三百六十九萬二千、グルデンなりき、パラマリボ(Paramaribo) (三、二二一九)はスリナム河の下流にありて知事の住する處なるが、市街清潔にして風色に富み商業稍盛なり。

フランス領

フランス領グイヤナ 三、二九〇〇〇方料 はマロニ河とオワボク河との間にありて、一九〇四年の輸入は約一千百六十九萬、フランクにして輸出は「ココア」、磷礦、木材、金等の一千六十五萬、フランクなりき、カイイエンヌ(Cayenne) (一、二二六一)は流瀆地たるに過ぎざる當殖民地の首邑にして港を有せり。

●ベネズエラ

世界地理提要 あめりか洲 ベネズエラ

境域

海岸

山岳

河流

地

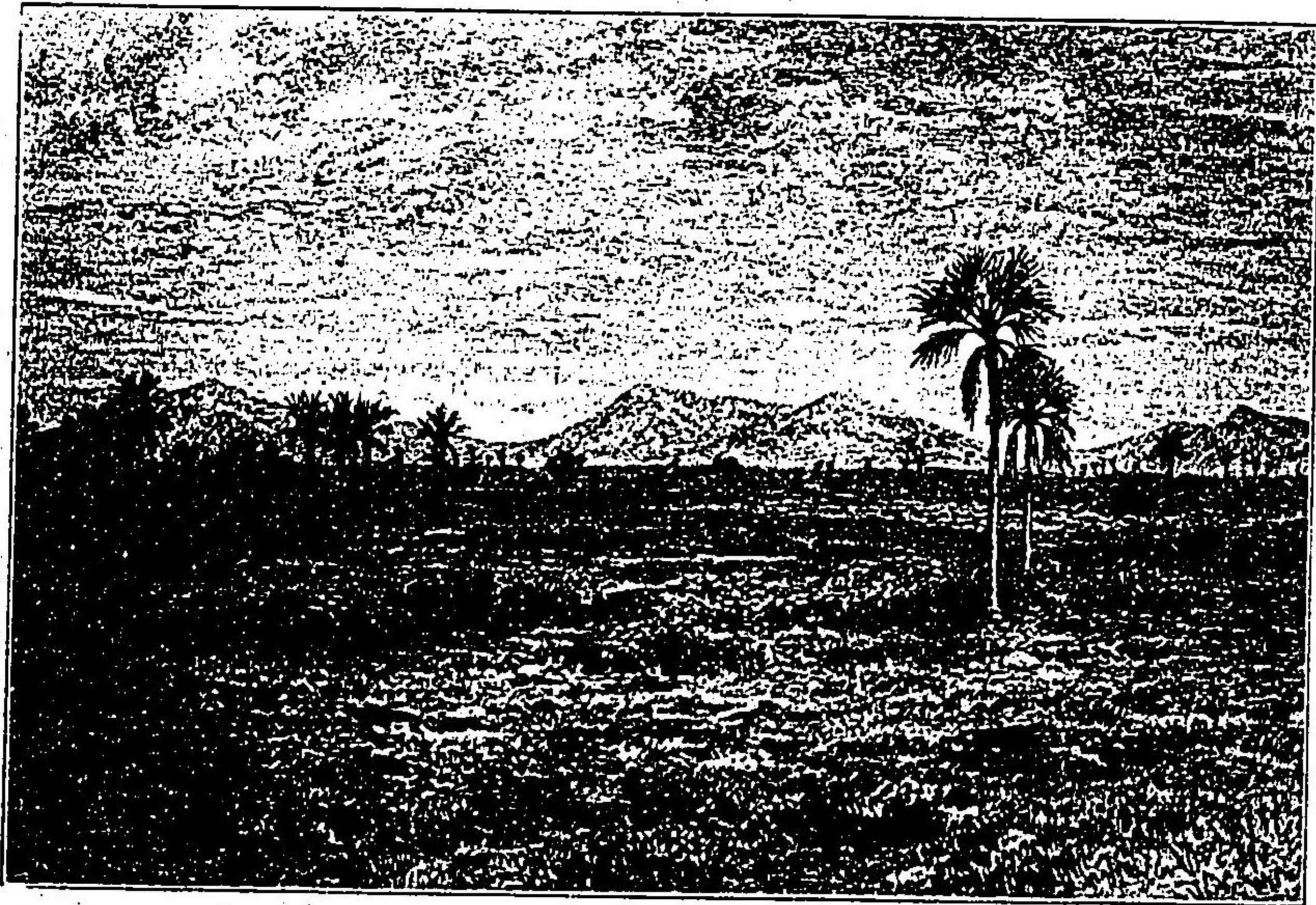
ベネズエラ合衆國(Estados Unidos de Venezuela)の發は南アメリカの北部にありて北は大西洋に沿ひ、東はイギリス領グイアナに境し、南はブラジルに接し、西はコロンビアに隣す。地積は九十四萬二千三百方呎あり。

海岸に就きてはベネズエラ灣、マラカイボ灣、パラグアナ半島、アラカ半島、マリブ半島、マリブ灣等ありて、稍、風曲多く島嶼にはトリントンガ、マルガリタ等あり。

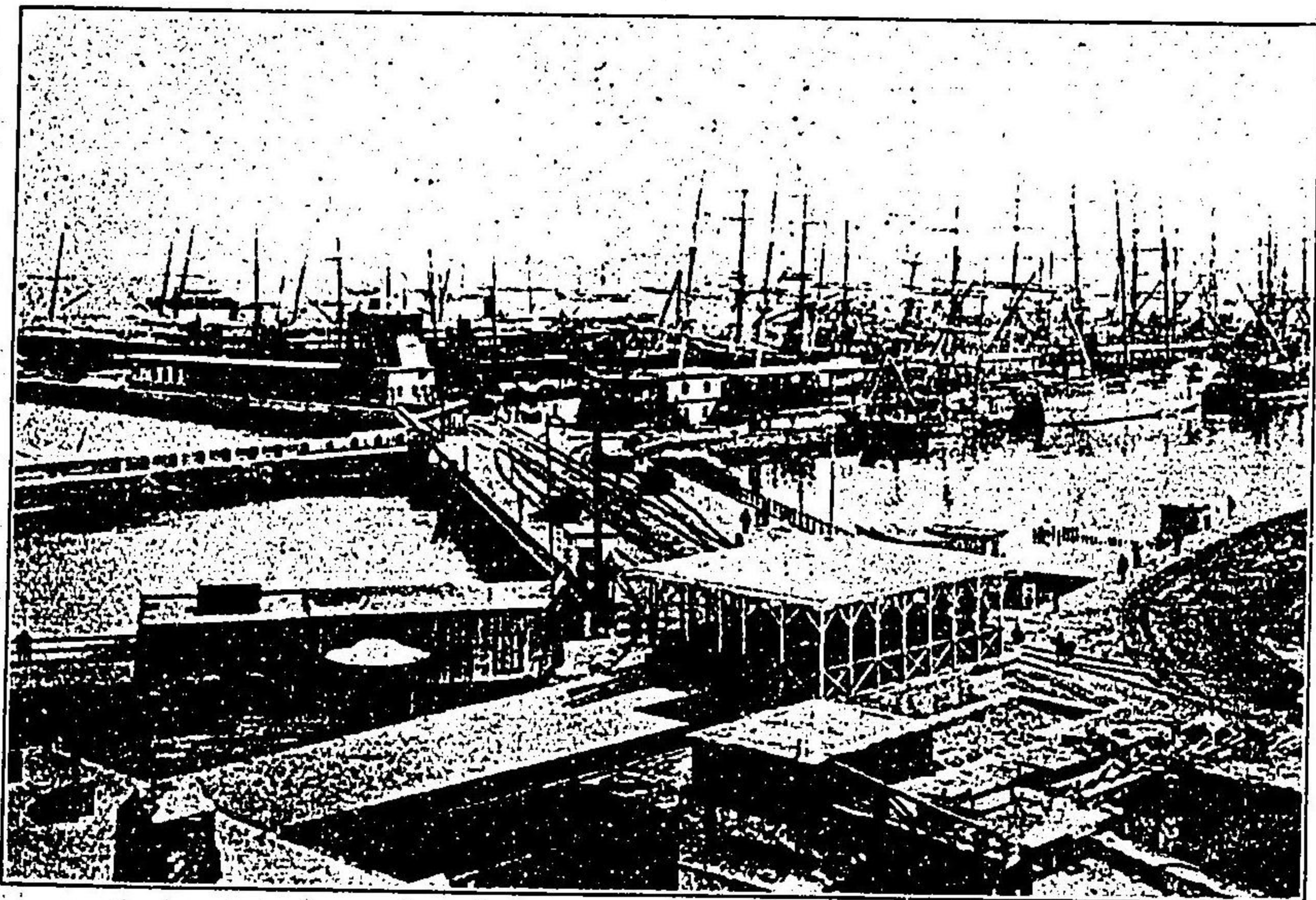
北部の沿海の地に於けるカライブ山脈は西より東に走れるが、セルコテアピリ(二七二三)マイケラマ(二八八〇)を包括し、北西に於けるシエラデメリシマ、メリダ山脈はアンタス山系の餘派なり、南部の高地にはシエラマリマあり、而してグイアナとの境にロライマ山(二六六五)の聳ゆるあり。

オリノコ(Orinoco)河は南アメリカ第三の巨流なり、水源をマリマ山脈のレヒッパ山に發し、高地を北流して平地に出で、派流カシキアレ(Casiquiare)に依りてアイマンの支流リオネグロに通じ、コロンビアより來れるグアビアレ(Guaviare)メタ(Meta)等の水を受け、メリダ山脈より發するアプレ(Apure)に達ひて東流し、三角洲を擁して海に入る。河の長さは二千六百呎にして流域の地積は一百万方呎に達し、平均水量は一萬四千立方呎突なり、湖沼は處々に存するがマラカイボ灣(二一七四〇)方呎以外にメカイケラ湖あり。

ベネズエラにはオリノコ河の流域の大部を占むる「リャノス」なる草地あり、處に依



アプレ (Apure) のリャノス [ベネズエラ]



カリャオ (Callao) 港の景

リノス (Linos) はカリノコの流域にありてマテ

ズエラ及びコロンビアに亘れる特殊の「サバンヌ」なり、木

本科に屬する雜草繁茂し此處彼處には蕨生又は着生の植

物み擔へる「マウリシヤシ」(棕櫚科)其他、僅少の瀟

木の散在するを觀る。

カリノコ (Calho) はハルの國都リマの附庸港なり十

六世期の創設に係るも地震又は海嘯の災害を受けしこと

ありしのみならず又兵燹を被りしことあり、港は其好な

らざるも船舶の出入は二千八百隻、百五十萬噸にして住民

は三萬五千足らずと注せらる。

氣候

りては稍、高隆なれども土地概々卑低にして毎年洪水の氾濫を蒙り、雨季の終るや草地と化す、而して北西部のマラカイボ湖の沿岸地は水陸上一小區域を形成するが沼地少なからざるもの如し。

ベネズエラを北より南に通過すれば先づ第一に沿海一帯に熱地を見るべし、太陽は光線を直射し山脈は之を反射し空氣は靜穩にして風なく寒候にありても二十四度を降らず、年平均は二十七度乃至三十度なり、然れども沿海山脈の地にありては空氣清涼にして暑氣に苦むことなし、リノスに出づれば再び炎熱を感ずれども南部の高地、高谷にありては溫和又は寒冷を覺ゆべし。

海岸并に沿岸山脈を農帶としリノスを牧帶とし高地を林帶とするが、山岳は金、銀、石炭、石油、岩鹽、等を藏め森林は各種の木材を有し、耕地は「カッチャック」、「ユム」、「キナ」、染料、珈琲、等を與ふる草木の培養に適し又驢、類、畜類を産す。

人口は一九〇四年に凡、三百五十九萬人ありてムラト、ザンボスの如き雜種多きを占め一八九四年には四萬四千餘の在留外人ありしと云ふ、宗教中にて最、流行するはローマ公教なりとす、大學は二校あり。

目下十三州、一區、五領土より成れる合衆國にして中央行政は任期二年の大統領之を司りて元老代議の二院より成る國會は立法權を握れり。

世界地理提要 あめりか洲

ベネズエラ 七百八十七

政治

住民

海岸

住民の五分の一は農業に従事して甘蔗、珈琲、ココア、穀類等を興ふるが、家畜には牛、羊、山羊、馬、驢、豚等あり、鑛物は豊富にして金は主にヤルアリ領土に産し、銀はベルムデス、ララロスマンデスの諸州に産す、此の他、銅、銀、鐵、石油、食鹽等も存す、而してマルガリタ島には眞珠の採集あり、一九〇四—〇五年の輸入は四千八百四十三萬ポリアル餘にして、主にアメリカ、イギリス、ドイツと取引す、而して鐵道(八四二軒)等なきに非ざるも交通は便ならず。

カラカス(Cancas)(七、二四二九)は當國の首都にしてアンチル海の岸を距ること十九軒、カライブ山脈の北面、海拔九百米突の地にあり、鐵路に依りてラグナイラ(La Guaira)港に通せり、バレンシア(Valencia)(二、八六五四)はタカリブア湖の西にありて佳良の錨處を有するプエルトカベロ(Puerto Cabello)を附屬港とす、バルキメト(Barguimetto)(三、一四七六)はツカカス(Tucacas)港の南西、海拔五五〇米突の地にあり、マラカイボ(Maracibo)(三、四二八四)は同名の灣に瀕す。

●コロンビア

コロンビア共和国(Republica de Colombia)は舊名を新グレナダ(Nuevo Gran-

と云ひて南アメリカの北西隅にあり、北には中央アメリカ、アンチル海を控え、北東はベネズエラ、東はブラジルと境し、南はエクアドルに隣し、西は太平洋に瀕せり、地積は百二十四萬八千餘方軒と云ひ、百二十萬六千二百方軒に過ぎずとも稱せらるるが、國境に不確定の處あり。

海岸線の延長は四千二百軒に過ぎざるべし、アンチル海にはマリアン海、ゴアシラ半島あり、然れども太平洋には著しき出入なし。

アンデス山脈は赤道附近に於て東中西の三脈に分かれ、北進するに従ひて互に相違かりて隆起せる谷地を狭めり、此等の山脈は何れも著しき直立を有するが、殊に中脈はブラヤ(四七〇〇)、ネバドデファイラ(五五〇〇)、ネバドデルクインサヤ(五一五〇)、トリヤ(五六一六)、サンタイザベラ(五一〇〇)等を包括す、又アンチル海に沿ひて一の山脈あり、名づけてシエラネバダデサンタマルタと云ひ、萬年雪を戴ける、海拔五三〇〇米突の高峯を有せり。

山脈の西には僅少の平地を見るに過ぎず、山脈の間に於ける谷は南北に走れるが、アンデスの東面には廣漠たるリノスありて、東に傾斜す。

河流は三斜面に屬す、大西洋斜面にアマソンの支流あり、カクタ、ワウベス、并にオリノコの支流なるグアピア、メタ等あり、マガダレナ(Magdalena)河(一七〇〇)は其の最大支流たる、カウカ(Cauca)(一三五〇)と共に源を中央アンデスに發し、タケンタマの

氣候 天産 住民 政治 生業

七百九十

瀑布 (Salto de Tequendama) を以て有名なる ボゴタ 河を容れ北流して アンデル海 に入り、西アングス の西に於ける アトラト河 (六六〇) は多量の水を輸送するを以て著名なり、太平洋に入るものは短し。
沿海の低地にありては暑氣強くして健康に適せざるも土地の隆起するに従ひて温地と成り冷地と成るを見るべし。
低地には「マホガニー」の如き木材、其の他、染料、藥材と成るべき樹木ありて熱帯植物に富むのみならず地下には金、銀、白金、鐵、銅、鉛、石炭、等を蔵む。
人口は四百五十萬一千人にして一方籽四人に過ぎず、種族上は土人、雜種の外に黒人、白人あり主としてローマ公教を奉ず。

立法權は元老、代議の二院より成る議會に屬し、大統領は六年毎に改撰せられ、六大官に依りて政務を行ふが、地方は十五縣、一首府區、若干の監督區に分たれ、兵備には約一萬人の陸兵と數隻の兵艦あり、一九〇五—〇六年の歲出入は各、二千百二萬、ペソに近くして外債は二百八十萬餘ポンドを越ゆ。交通の便少なきを以て沃土の多くは未だ利用せらるるに至らず、農産の首位は珈琲の占むる所なるが綿、コア、甘蔗、穀類 等も多少栽培せらるる、家畜は一八九九年に於て凡、七百九十五萬頭と算せられたり、礦物の種類は頗る多し。

れども詳細なる統計なく、金銀の年産額は未だ八百二十萬圓に過ぎず、首府 ボゴタ の北に於ける ジバキラ (Zibiquira) の鹽坑は政府歳入の一主源なりと云ふ、貿易は一八九八年には一千九百十六萬、ペソの輸出ありしが一九〇〇年には六十五萬、ペソに達せず、珈琲、皮革、煙草、等を輸出す、交通の機關としては六百六十一籽の鐵道、一萬四千籽足らずの電信線、等なきに非ず。

ボゴタ (Bogota) (一一〇〇〇) 即ち サンタヘデボゴタ は一五三八年の創建に係りて海拔二六三二米突の處、農牧の地にあり、濕氣稍多きも氣温は十四乃至十六度にして變化少く、頗る健康に適せり、河港 ホンダ (Honda) を附庸地とす、バランキラ (Baranquilla) (四、〇〇〇) は マグダレナ の河口に近くして共和國商業の中心なり、外港を サバニラ (Savanilla) と云ふ、カルタヒナ (Cartagena) (二、五〇〇) は アンデル海 に沿ひ鑛業地に位す、ブカラマンガ (Bucaramanga) (二、五〇〇) は 東アンデス 地方にありて珈琲の産地に位す、メデリン (Medelin) (五、三〇〇) は カウカ の支流に沿ひ海拔一四七〇米突に位し鑛業の中心なり。

● エクアドル

世界地理提要

あめりか洲

エクアドル

七百九十一

境域

海岸

山岳

地勢

河流

氣候

七百九十二

エクアドル共和国。(Republica del Ecuador)はコロンビアの南、ブラジルの西、ペルーの北にありて太平洋の東岸に位す。地積は二十九萬九千六千方糎あるが、ガラパゴス島を加へば三十萬七千餘方糎と成る。

海岸線は太平洋に限らるるが、稍大なる灣はグアヤキルにして其の中にプナ島あり、ガラパゴス諸島は凡そ九百七十料の沖合にありて最大島をアルベマルと云ふ。アンデス山脈は沿海の地を南北に通過し二脈を爲して海拔二千九百乃至三千米突の高峯地を抱擁せり、兩山脈は共に海拔四千米突の平均なるが、西山脈はチンボラソ(六二五四)、ピナチア(四七八七)等の高峯を有し、東山脈はサングアイ(五三二三)、カヤンベ(五八五〇)、コトパキシ(五七四六)等の秀嶺を有せるが活火山も少しとせず。アンデス山脈の東の斜面は鬱蒼たる森林を蔵き緩斜してアマソンの流域たる一大平野を形成し、西の斜面は断崖絶壁、峡谷峽地を爲して急斜し沿岸の地に至れば平低なる沼地を爲せり。

河流の長きものは山脈の東部にありてカケタ即ちヤアラ、プツマヨ、即ちイカ、ナボ、等は皆アマソンの支流たり。エスメラルダス、グアナス等は太平洋に注ぐ。國の名が赤道を意味する如くエクアドルは赤道の下に位し沿海の地は炎暑にして健康に適せず、グアヤキルに於ける年平均は二十七度八に近きが、陸地は爽快にしてキトーに至れば十三度二なりとす而して山脈の西斜面は十二月より五月

天産

住民

政治

生業

まで炎熱、濕潤なる氣候を見るが山脈の東にありては暑氣、濕氣共に強烈にして乾燥、濕候の境界極めて判然たり。山地は金、銀、白金、石炭等を産し、植物はアンデス地方に稀なるもアマソン斜面の森林は木材の無盡蔵なり。

人口は百二十七萬二千人ありて其の大部はインデアンに屬せり、而して蒙昧なるインデアンは二十萬人に達するも、ヨーロッパ人は甚だ少なし。國教はローマ公教なるが大學も一校設けらる。

エクアドルは統一的共和國にして行政權は四年毎に改撰せらるる大統領に屬し議會は二院より成り、地方は十六州、一領土に分たる。

當國の主産物たる「ココア」はロスリオス(Los Rios)及海岸に近き其の他の諸州に産す、此の外に珈琲綿等の農産あり、鑛物の包藏は多けれども採鑛の業は未だ盛ならず、工業にはバナマ帽、彈力ゴム、砂糖等の製造あり、貿易に就きては一九〇五年の輸入は一千百七十二萬、スクレに近く輸出一千二百三十四萬「スクレ」弱は「カカオ」、象牙質、「カウチック」、珈琲、バナマ帽等より成れり、鐵道は二百七十料、電信線は四千百三十料あるのみ。

世界地理提要 あめりか洲 エクアドル

七百九十三

キト
グアヤキル
首府キト(Quito)八、〇〇〇)は赤道直下にあるも海拔が二八五〇米突に達するを以て氣候は爽快、春季にあるが如し、然れども震災の多きを缺點とす、グアヤキル(Guayaquil) (五、一〇〇〇)は太平洋に瀕する南アメリカの良港なり、「カカオ」、珈琲、砂糖を輸出す、クエンカ(Quena) (三、〇〇〇)は土邑ツミバンバの舊地にありて農産を集散す。

◎ペルー

境界
山脈
海岸
ペルー共和国 (Republica del Peru) は南アメリカの西岸にありて北はエクアドル、東はブラジル、ポリビア、南はポリビア、チレと境し、西は太平洋に瀕す、地積は百十三萬七千方、乃至百七十六萬八千八百餘方、海岸線は二千三百五十軒あるのみにして著しき出入を呈せず、島嶼も亦大なるものなし。

アンデス山脈は海岸に並行して南北に走り、北部に於ては三條に分かるるも南部に於ては三條と成るものの如し、南部の西脈中にはミチ(五八〇〇)、ウピナス(四八七六)、ピチピチ(五六七〇)、ツツバカ(五七八〇)等の諸山あり。

河流

地勢

氣候

ペルーはアマゾン河の上流マランヨン(Maranon)を含みてフリヤガ、ユカヤリ等の流るるあり、然れども太平洋に入るものは著大ならず、湖にはチチカカありて南部に位し以て一小閉塞地を形成す。

ペルーの地は三帯に分かる、コスタ即、沿海地は海岸より起りてアンデス山脈の西斜面に於ける一千五百乃至二千米突の地に達せり、シエラ即、山岳地は二千乃至四千米突の地を包括し、モンタニア即、森林地は山脈の東に當り緩慢なる傾斜を以て二千米突より五百米突まで降下せり、而して此の三帯は各、風色、氣候、天産を異にす。

コスタは乾燥に失し、谿谷の地に非らざれば豊饒ならず、降雨は極めて稀なるも露は甚多し、氣温は變化少なく平常は十九度乃至二十度にして時に二十五度以上三十度に達することあり、シエラは氣候爽快なる谷地を有するも寒冷に失する、プナス(Punas)ありて高山秀嶺を戴けり、氣温は零度乃至二十二度にして降雨、降雪を有すること恰、温帯の地に於けるが如し、モンタニアは緑樹の大洋にして氣温高く強雨屢、至り空氣は濕潤にして殆ど飽和點

に達せるを見る。

コスタの植物は温帯的と熱帯的とを兼ね、シエラは穀類、馬鈴薯等を産し、牛馬の飼養に適し、モンタニアは森林の富を有するの外、熱帯的の野菜、果物、穀類をも産す、金、銀、水銀等の礦物は尙ほ盡きざるが如し。

人口は一八九六年に於て凡、四百六十一萬あり、一八七六年の調査に依れば二百六十六萬にして、之を種屬別にせば、五七、六はインデアン、二四、八はメスチゾス、一三、八は白人なりしが、黑人、アジア人は百分中の四に達せざりしといふ、宗教はローマ公教を以て國教とす、大學はリコ、アレクイ、バクス、コ、トリシロに設けらる。

政体は統一共和制にて立法権は元老、代議の二院に委ねられ、任期四年の大統領は外務、内務、陸軍、海軍、司法、宗務、商務、財務、土木の六大官より成る内閣に依りて行政権を行ひ、地方は十九縣に分たる、兵備は微弱にして陸兵に四千人、兵艦に四隻あるのみ、而して一九〇六年の豫算は歳出約二百十八萬、ポンド、歳入凡、三百五十三萬、ポンドを示せり。

漁業は寒流を受くる近海に行はれ、鯨、鯖、鱈、ラバリス、鮭に似て等を與ふ、農産物は綿、珈琲、砂糖なり、綿はピウラ縣に於けるチラ(Chira)河の南岸地方に産し、珈琲は中央ペルーのチンチャヨ(Chanchamayo)、ペレネ(Pérene)、ピウカルタンボ(Paucartambo)等の地方に産し、砂糖は沿海地方に産す、而して「ニコア」の栽培も擴がり、米、煙草、小麥、オリーブ、ラミー、玉蜀黍の栽培あり、ラリヘルタド縣のオソズコ(Onzco)は「ニコ」の主産地たり、此の外に「キナ」染料植物等あり、鑛業に就きて金はペルーの多くの縣に於て發見せられ、銀はセロデバヌコ(Cerro de Pasco)、カイロー(Caylloma)、カストロビンイナ(Castrovirreina)、レクナイ(Recunay)より出づるが、石炭は他の鑛物の如く探掘盛ならず、石油はピウラ縣のタララ(Tarala)に産す、而してフアニロス(Huanillos)、メンタロボス(Punta Lobos)、マンロンデビカ(Pabellon de Pica)には「グアノ」の堆積あり、工業は稍、進歩しつつありて草帽、織物、ビール、靴、煙草、葡萄酒、オリーブ油、家具等を産す、貿易に就きて一九〇四年の輸入は四百廿九萬八千餘「ポンド」にして、輸出は砂糖(一五七)鑛物(二三四)實綿、生毛、カツチ、ク、等の約四百七萬「ポンド」なりしが、主要なる取引先は

世界地理提要 あめりか洲 ペルー

イギリス、アメリカ、ドイツ、チレー、フランス等なり、又一九〇五年カリャオ港の入船は凡八十八萬噸なり、商船(一九〇二年)は二萬八千噸、鐵道(一九〇四)は一千九百七千、郵便局(一九〇二)は三百六十九、電信線(一九〇三)は約五千三百軒あるに過ぎず。

リマ(Lima)(一三三〇〇〇)は當國の首都なり、海拔一七五米突の地にありて太平洋を距ること二十餘軒なり、降雨は甚稀にして三十年に一回あるに過ぎずと云ふ、難工事にて知らるる鐵路に依てカリャオ並にセロデバスマ(Cerro de Pasco)地方に通せり、カリャオ(Callao)(四八一八)はリマの附屬港にて全國第一の貿易港たり、クヰッコ(Cuzco)(三〇〇〇〇)はリマの南東、海拔三四九六米突の地にあり、インカ(Inca)人の首都たりし處にして舊跡多し、アレキバ(Are-quipa)(三三〇〇〇)はミチ山の南西にありて附屬港をモレンド(Mollendo)と云ふ、アマンチ(Ayacucho)はアンデス高原の産金地にあり、獨立史上に名を知らる。

◎ボリビア

ボリビア共和國(Republica Boliviana)はブラジル、アルヘンチナ、パラグアイ、ペ

増城

リマ

カリャオ

アレキバ

山岳

ル、チレーに依りて包圍せられ約百二十三萬方軒の面積を有す。

山岳は少なからざるが何れもアンデス山脈に屬す、西山脈は平均直立四千米突にして最高峯はサンプア(六四一五)なり、東山脈はイリマニ(六四一〇)、ソラタ(六六一七)等の高峯を有す。

アンデスの兩脈間に於ける産地の海拔は三千五百乃至四千米突にして北と東とは平低なるリアノス、チャコあり。

河流の著しきものは産地に於けるデザグアテロ(Desaguadero)にしてチチカカ湖、ポオボ湖(アウリアガス湖)等を連絡せり、又ベニ、マモン、等はアマソンの流域に屬してピルコマヨはリオメラグアイの支流たり。

低地に於ては暑氣強く不健康なれども東の斜面は温和にして爽快なり、産地にありては嚴寒を感じ降雪を見ること稀ならず、又暴風の襲來することあり。

一九〇四年の概算に依れば人口は二百十八萬餘人なるが一九〇〇年の調査に依れば百七十三萬餘人にして其の五割はインディアン、二割六分は雜種、一割二分は白人なり、宗教はローマ公教最、行はれ、教育は不振なれども五ヶ處に大學あり。

ボリビアは共和國にして立法權は二院より成る議會に屬し任期四年の

世界地理提要 あめりか洲 ボリビア

政治

住民

氣候

河流

大統領及副統領二名は行政權を握り地方には八縣あり。

農業は幼稚なれども小麦、玉蜀黍、大麥、馬鈴薯、珈琲等の栽培なきに非ずして、カウチック、キナ、コカ、等も産出し、牛、羊、ラマ、等の家畜は多く飼養せらる。鑛業は豊富なるが銀の産出少なからず、錫はチチカカ湖南方の臺地にありて其の採鑛はフアメイ(Huamé)を以て中心とす、貿易は一九〇四年に一千九百八十二萬三千ポリビアノを輸入し二千百十六萬三千ポリビアノを輸出せるが、主要なる輸出品は錫、銀、カウチック、銅、コカなりとす、交通の機關に就きては鐵道に一千百二十九軒、電信線に五千十三軒等あるのみ。

首都スケレ(Sucre)(二、〇九〇七)は海拔二七九米突の地にあり、ラパス(La Paz)(五、四七一三)はイリマニ山を距ること四十二軒、チチカカ湖を距ること五十軒、海拔三七二〇米突の地にあり、空氣乾燥にして氣温の年平均は凡そ十度なり、玉蜀黍の産地にありてチチア(Chicha)酒を製す又議會は此の地にて開かる、コチンバ(Cochabamba)(二、一八八六)は農業地にありて小麦を集散す、ポトシ(Potosí)(二、〇九一〇)はスケレの南西にありて産銀地として名を知られ

し處なり、サンタクルス(Santa Cruz)(一、五八七四)はアンデスの東麓にあり。

●チレー

チレー共和國(Republica de Chile)は南緯十七度半より五十六度に亘れる狭長の地にして、北はペルー、北東はポリビア、東はアルヘンチナ、西及南は太平洋に瀕す、長きは四千九百軒にして幅は百五十乃至二百軒に過ぎざるが、地積は七十五萬九千方軒又は七十九萬七千方軒餘に計上せらる。

北部に於ては殆ど一直線を爲すも南部に於ては港灣多く夥多の島嶼に依りて擁護せらる、今島嶼の主なるものを北より記せばチロエ島、チオノス群島、エルリントン島、マドレデディオス群島、バンノーフェル島、レイナアデライデ群島、サンタイネス島并にマガリネス海峡、の南にありてチレー、アルヘンチナに分屬するフェゴ島あり、太平洋上の離島にジファンヘルナンテス諸島あり、半島はタイタオ、ボンソンビー、ブランスキック等あり。

山岳はアンデス山脈に屬しタコラ(六、〇一七)、バリナコタ(六、三七六)、アウカ、ンキルチ(六、二三〇)、パニリ(六、三二〇)、ミニクス(六、〇三〇)、リウライリカホ(Lulhai-

地勢

Ilaco) 火山(六六〇〇)等は南緯三十度以北に位し、ツプンガト(六七二〇)マニボ火山等は其の南部にあり而して全アメリカ洲の最高峯たるアコンカグア(七二〇〇)は國境にあり而して高峠にクンプン(Cumbre)三八〇〇)ピリリカ(Villarica)二八一〇)等あり。

土地はアンデス山脈より西に傾きて太平洋の岸に達し沿岸の平野は稍廣からざるに非ざるも丘陵、谿谷ありて單一なる平野を爲さず、而して北部に進めばアタカマ (Atacama) 沙漠あり。

河湖

河。流。は其の數多きも急流激端たるに過ぎずして航行の便を與ふるもの少なし、中に就きて最、長きをビオビオ(Biobio)云ふ、湖。沼。は少なからずしてアタカマ地方に稍、大なるものあるも特に記載するに足らざるなり。

氣候

北部は降雨稀にして暑氣烈しく乾燥に失す、中部は氣候佳良にして降雨適度なるのみならず、土地肥沃なれば最、農業に適せり、南部は濕潤に過ぐるが南下するに従て氣温は低下し、ブンタアレナスに至れば温度は十五度と零下四度との間を昇降すと云ふ。

天産

北部は到底耕作に適せざるべしと雖、地下には銅、硝石を始とし多量の鐵物の蓄藏あり、而して森林草原に富める南部は漁産の多きのみならず亦金、銅、石炭、等を包含す。

住民

人口は三百十七萬餘人にして一方糶に付き四人に過ぎず、大多數はエスパニア種族の白人にしてインディアンの數は凡、五萬あり、其の外、外國人(フランス、ドイツ、イギリス等を主とす)にして此の地に在留するもの二萬六千六百あり、宗教はローマ公教を以て最、盛なりとす、教育は普及せずして一九〇一年の調査に依れば壯丁の七割は讀むこと書くことを爲し能はずと云ふが公私立の大學以下諸種の學校なきに非ず。

政治

チレーは一八一〇年を以てエスパニアに對して獨立を宣言し、一八一八年に至りて全、其の羈絆を脱し得たるが爾來領土を擴張して今日に至れり、當共和國の立法權は二院より成る國會に屬し、司法權は一大審院、六控訴院、其の他の裁判所に屬し、行政權は任期五年の大統領に委ねられ、大統領は十一人の委員を以て組織する評議會并に七省に分かるる内閣に依りて幫助

世界地理提要 あめりか洲 チレー

せらるるが、地方は二十三州、一領土に區劃す、兵備に關して陸兵は平時に一萬八千人、戰時に十五萬人あるが、兵艦は三十二隻、四萬二千餘噸あり、歲出は一九〇五年に於て一億一千百十萬、ペソ(紙)と二千百七十一萬、ペソ(金)弱あり。住民の約百五十萬は農業に從事して穀物、果物、野菜等を得、牧業は馬、牛、羊、其の他を飼養すと雖、當國の富は主として鑛業にありて殊にアタカマ、タラバカ等の北部の諸州に盛なり、其の第一は銅にして一萬一千五百佛噸以上を産し、此の他に凡、二十三萬斤の金、約一萬六千斤の銀あり、又石炭、グアノあり、而して當國の硝石田は八萬九千二百ヘクタールに近き面積を有して二十三億一千六百萬メートルキンダルを含蓄すと概算せられ、一九〇四年には百五十一萬噸に達し、二萬四五千人の工夫を使役せり、又沃度には百三十佛噸の産あり、工業は砂糖、酒類、車輛、器械等を製するも未だ盛大ならざるが如し、貿易は漸次進歩しつつありて一九〇五年の輸入は約一億八千八百六十六萬、ペソ、輸出は二億六千五百二十一萬、ペソなるが、主要なる取引先はイギリス、ドイツ、合衆國、フランス等にして重要輸出品は硝石(一、六〇五〇)、銅(一九一

〇)小麦七〇三、沃度(五七六)の外に大麥、鑛物、熟皮等あり、船舶の出入は各、約一千七百萬噸を超え、商船は四萬噸に過ぎざるが、鐵道は四千七百三十軒、郵便局は一千十處、電信線は約一萬五千軒、電話線は二萬五千四百八十軒を有す。

當國は南北に長き土地にして天産の分布にも自、差異あるを以て四區の別を爲すを可とす、其の鑛業區は十八度より二十七度に達する乾燥不毛の土地より成るも硝石(アマカ)地方(ボラクス)、銅(コピア)銀(グアノ)等に富めり、其の鑛業區は二十七度乃至三十三度に亘る地にして氣候佳良、人口稠密なり、實に當國の中心たり、銅井に穀類、果實等を産するも乾魘と震災との患あるを缺點とす、其の農業區は三十三度乃至四十二度に至り氣候温暖、降雨多し、穀類、馬鈴薯、果實、葡萄酒等の産あり、其の林漁區は南端を占む、樹木饒多にして漁産も少なからざるが住民は甚だ稀薄なり。

首都サンチアゴ(Santiago)(二九、六六九五)南緯三三度二六分四二秒は太平洋を距ること百三十軒、海面を抜くこと五三五米突の地にありてマイポ河の支流たるマポチ(Mapucho)に跨れり、氣温の年平均は十三度弱なるが寒暑の産は稍、甚し、バルパライソ(Valparaiso)(四二、二二八二)は南アメリカの西岸に於ける最要の商港なり、コンセプション(Concepcion)(四、九三五二)はビオビオ河

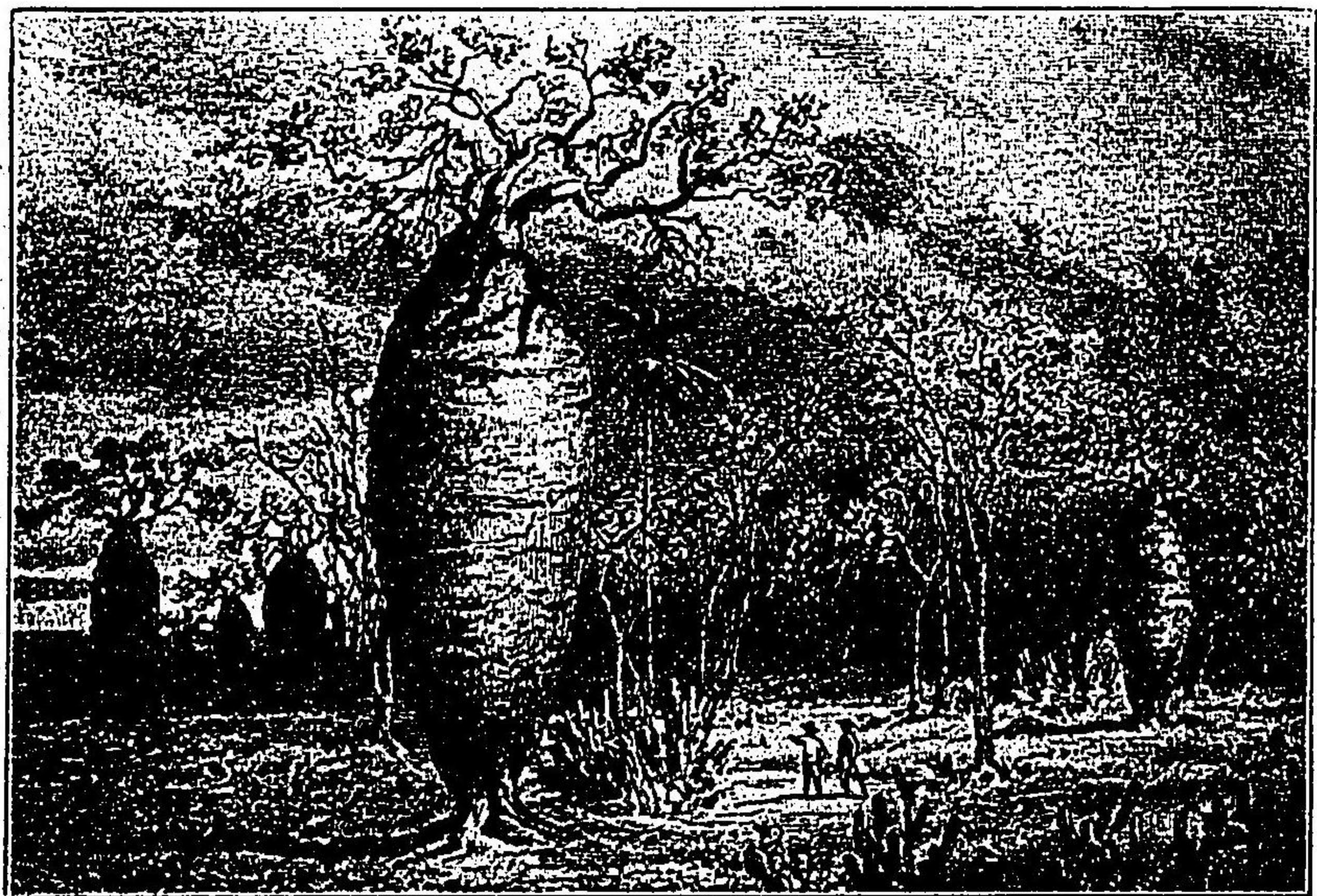
サンチアゴ
バルパライソ
コンセプション
オン

に臨む商業地なり、タルカ(Talca)四二七六六及、ナリオン(Chilim)三三五〇六は、チリシデスの麓に位する鑛業地にあり、イキケ(Iquique)四二七八八は北チリの商港にして硝石を輸出す、プンタアレナス(Punta Arenas)はマガリネス海峡に瀕し、其の東口より百八十八杆、其の西口より二百七十六杆の處にあり。

附記。オセアニア洲に屬するラバヌイ島を領有す。

●ブラジル

境域。ブラジル合衆國(Estados Unidos do Brazil)は南アメリカ第一、世界屈指の大國にして地球陸界の凡十七分の一、アメリカ全洲の五分一強、南アメリカの二分一弱に當りて約八百五十三萬方杆の地積を有す、長四千二十三杆、幅四千百八十杆ありて、北はベネズエラ、ガイアナに接し、北東及東は大西洋に面し、南及南西はウルグアイ、アルヘンチナ、パラグアイと境し、西はボリビア、ペルー、エクアドル、コロンビアに隣す、ペルーとの境界に就きて尙紛議なきに非ず。海岸。海岸は七千五百杆の長を有するも一般に單調にして著しき港灣



カアチンガ (Caatinga) に於ける楡の樹 [ブラジル]



チャコ (Chaco) の景 [パラグアイ]

チヌコ (Chico) 即チグランドチヌコ (Gran Chico) 是

南アメリカに於ける一地域にして南北一千二百料、東西六百料、北中南の三部に分れ、中部以南はアルヘンチナに屬し北部はボリビアとパラグアイとの間に分領せらる、

土地平坦にして粘土質なるを以て河水の氾濫又は雨水の停滞は幾多の滞池を生じ、氣温 夏季平均二十五度 冬季平均一六度 高く、草木は繁茂して草原 (Pampas) 又は森林 (Patagos) を呈するも種類に乏しく、雜草は禾本科に屬する數種より成り、樹木は「ラウヤミ」(Cyperium cerifera) (松綱科)「マルガロキ」(Argemone) (罌粟科)「ミストル」(Mistle)「クマツチヤ」(Quebracho)「チマナル」(Chunar) 等に過ぎずと云ふ。

カンチンガ (Catinga) 即チセルタン (Serico) 是

ブラジルのバイア (Bahia) 州に於ける特殊の森林なり、樹種には仙人掌科に屬するもの多く其の他松綱科等のものあれども就中最も著しきは木綿科 (Bombacaceae) の楡樹なりとす。

を有せず中に就きてアマゾン河灣、パラグアイ河灣、マラニオン河灣、バイア河灣、リオジニネイロ河灣、オレンジ岬、サンロウタ岬、フリオ岬等は主なるものなり。

地勢 ブラジルの大部は六百乃至一千五百米突の臺地に屬す而して此の臺地の西部は傾斜極めて緩慢なるが、東部の傾斜は稍著しくして沿岸の山脈を爲せり、又國の南東部は山岳に富めるも直立三千米突以上は達するものなし、北部にはパリアマ山脈、バカライマ山脈等あるが、南東部にはアイモナス (Aimoras)、エスピナス (Espinas)、マンテリクタイラ (Mantiquera)、マール (Mar) 等の山脈あり而してマンテリクタイラ山脈中のイタチアア (二九九四) はブラジルの最高峯とせらる。

ブラジルは廣大なるアマゾン流域の大部を含み、マデイラ、タバジョス (Tabajo) (Rio)、ロンドン (London) 等は右岸よりアマゾンに入り、左岸より來るリオネグロと共に大なる支流なり、而してトカンチンも亦アマゾンに通せり、此の外にパラナ、パラグアイの流域に屬する處あるが、サンフランシスコは全く國內にあり、湖は南部のパトスを以て最大とするが、アマゾンの流るる北部の地方に

は小湖少なからず。

氣候 土地の大部は熱帯に位し沿海并にアマゾンの平野にありては暑氣強く濕氣烈しく夏季の平均温度は二十八度にして殆ど四季の變更を感ずることなし、然れども内部にありては寒暑の差稍著しく乾候、濕候の二季あるを見る。

天産 ブラジルは各種の天産に豊富なるが、殊に植物には約一萬二千種ありて建築材細工用、指物用、染料、藥品、等を供す就中「ブラジルのカサリン」(Caesalpinia)、
「サント」(Dalbergia)、
「バシムル」(Bertholletia excelsa)、
「ロビサン」(Atalea funifera)、
「ボラカ」(Siphonia elastica)等を以て顯著なりとす、動物にも乏しからずして「シグナル」(Siphonia elastica)、
「ヘカリ」(Siphonia elastica)等あり、鐵物には金、鐵、金剛石、其他の寶石等あり。

當國は土地廣大にして氣候、天産等に大差あるが故に北より南に至るの順を以て「セルバ」(Cerrado)、
「カンボス」(Cangas)、
沿海、南方の四帯に區分するを適當とす、「セルバ」(Cerrado)は「ハイラス」(Hydrangea)の即ち森林帯は温度高く濕氣強き地にして總地種の三分一に達するが、其の「イガキ」(Igapo)はアマゾンナス并に其の支流の氾濫域に當り樹種劣等にして

用途少なし、其の「エチ」(Eucalyptus)即ち「グアシヤ」(Guayana)は壯大なる森林を形成して棕櫚科、桃金娘科等の樹木に當り、殊に奇觀を呈するは「オネグロ」沿岸の「カボエス」(Cangas)即ち丘狀林なりとす。

「カンボス」(Cangas)即ち草野帯は南東部を占めセラドマル(Serra do Mar)、セラタマンチク(Serra da Mantiqueira)、セラドスベルテントス(Serra dos Ventos)等の山脈を成せる産地より成れるが、金、鐵、石、金剛石等の礦産を與ふ。

沿海帯はアマゾナスの河口に起りリオデジャネイロ附近に達するが、北東岸は平低にして砂地多く樹木少なく僅に「マングロープ」の茂生するを觀るのみ、然れどもサンロカ岬以南には彎曲出入ありて港灣を呈するも亦岩礁の存するが爲に接觸に便ならず、平低の地には綿草、煙草等の栽培ありて丘上又は山腹には咖啡の産あり。

南方帯は曠地の南面に當りてサンパウロ、パラナ、サンタカタリナ、リオデジャネイロの四州に亘れるが、氣温高からざるに非ざるも涼風「バンネロス」の吹き來るが爲に炎熱に苦むに至らず、地味肥沃にして農牧に適するを以て「パウリス」(Paulistas)白人と土人は來住者たる「イタリアン」人、ドイツ人等と共に林中の「アラジール」(Araricaria brasiliensis)を利用し、草綿の栽培に従事し、又「フアンタ」(Fazenda)牧場(に於て牛馬を飼養せり。

住民 人口は一八九〇年の調査に依れば凡そ一千四百四十萬人ありて六

世界 理提要 あめりか洲 ブラジル

百三十萬は白人、四百六十四萬はメチス(Metis)、二百十萬人は黒人、殘餘はインヂアンなりしが、北部の諸州にはインヂアンの分子多く、ベルナンブゴ、バニア、リオデジネイロ、ミナスの地方には黒人多く、海港に於ける住民の主要部はヨーロッパ人の子孫たり、來往者の數は一八七一年より一八九二年までに凡八十六萬人、一八九三年より一八九八年に至る間に約六十五萬ありて一九〇四年には三萬二千餘人なり、而して一九〇三年の調査に依れば外人は百五十萬のイタリア人を第一とし、百萬のポルトガル人、二十五萬のドイツ人等之に次び、宗教上にはローマ公教徒最多くして一千四百十八萬人に近く、プロテスタント教徒は十四萬餘に過ぎず、言語はポルトガル語を用ふるもの多きもイタリア語、エスパンニア語、フランス語、ドイツ語を用ふるものも少なからず、而して内部に於てはグラニス語とポルトガル語との混成たるリンダゼラルが一般に行はるるもの如し。

沿革 アメリゴベスプッチ(一四九九—一五〇一—一五〇二)ビンソン(一五〇〇)カブラル(一五〇〇)等の探査を経たるもブラジルが始めて移住者を見

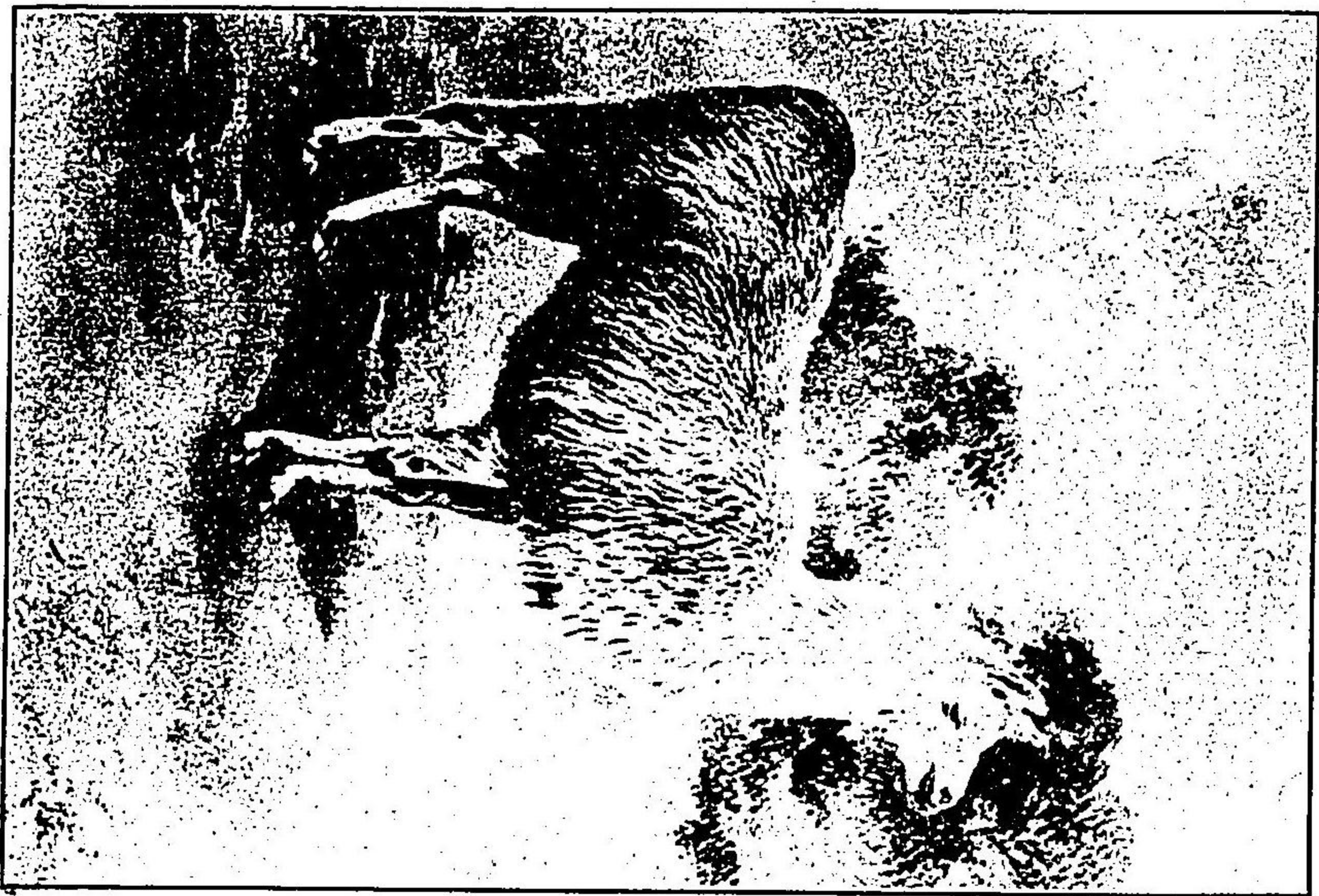
たるは一五二二年なりき、而してホルトガルが總督府を設置(一五四九)せし後フランス人の侵入、オランダ人の割據等ありしに拘らず、漸次に發達して廣大なる殖民地と成りしが、一八〇七年本國の王族此の地に逃れ來りて王國の建設を宣言したり(一八一五)而して一八二二年には帝國と成りしも一八八九年の革命の際合衆共和國と變じたり。

政治 ブラジル合衆國は二十州、一合衆區より成りて、立法權は元老、代議の二院より成れる國會に屬し、司法權は高等法院、控訴院以下の裁判所之を握り、行政權は四年毎に改撰せらるべき大統領之を司り、財務、司法、内務、教育、陸軍、海軍、外務、産業、土木の六省を設く、各州も共和政にして公撰知事之を管理し、合衆區は公撰に係る評議會之を支配す。

兵備 上は合衆國を七軍區に分つが、陸兵は二萬八千餘人ありて、兵艦は三十一隻、凡三萬八千噸あるのみ、財政に就きて一九〇六年の歳入は約六千九百七萬、ミルレイス(金)と二億二千三百八十二萬五千、ミルレイス(紙)にして歳出は四千八百三十一萬、ミルレイス(金)と二億八千六百三十四萬、ミルレイス

(紙餘とあるが、外債は六千九百九十六萬ポンドにして各州の外債は二千八百一十一萬ポンド)を超えたり。

生業 フラジルは農林國にして農産には珈琲を始めとし甘蔗、煙草、綿、マテ、
「ユニア」等あり、林産には「カウチック」木材等あり、一九〇四—〇五年の珈琲の産
額は九百七十四萬袋一袋は六十斤を超えたり、砂糖の製造所はペルナンブコに三
十、カンポス(リオデジネイロ)に四十、バイアに十二、其の他に十五あり、リオグ
ランドスル地方には家畜の飼養盛なり、鑛物の利用は盛なるに至らざる、
が石炭はリオグランデスル、サントカタリナの二州に産し、ミナスヒエラス
スには五ヶ處の金鑛の採掘せらるるあり、金剛石はミナスヒエラス、バイア等
の諸州より出づ、工業の進歩は著しからざるが綿工場は百八ヶ處(七二萬錠)あ
りて羅紗、「フランネル」等の毛織物も産出す、一九〇五年の貿易は輸入に
凡そ四億五千四百九十九萬、ミルレイスありて輸出には六億八千五百四十五
萬餘、ミルレイスあり、イギリス、ドイツ、フランス、合衆國、其の他と取引し一九
〇五年の主要輸出品は珈琲(三、二四〇五)、カウチック(二、二六一七)、皮革(二八六



アネチア (Anechia paca)



コーヒー樹 (Coffea arabica)

アルスカ (Auchenia paco) は「羊蹄」「無峰蹄」の一種にして南アメリカの高原地
 に於て盛に飼育せらる、高さは一米内外なるが、毛は長く光澤に富み佳良の繊維とし
 てアルスカを織製するに供せらる。

アラビヤ樹 (咖啡樹) (Coffea arabica) (茜草科) はアラビヤを始るとしシアバ、スマ
 トラ、セイロン、ハイチ等に於て栽培せらる、樹幹は自然生にありては十米に達する、い
 めたも栽培種に就きては五米以内なり、果實は小楕円を有し二つの子實を包含す、種
 類少なからざるが「モカ」種を以て最良とす。

リオ

二、パラグアイ茶(一八五八)實綿(二七一)カカオ(一五七六)煙草(二二九四)等な
 り、而して入船は各、一千二百九十二萬噸なりき、鐵道は一萬七千五十九軒、郵
 便局は二千八百七十一、處、電信線は四萬九千餘軒あり。

處誌 首府リオデジネイロ (Rio de Janeiro) (七〇〇〇〇〇) は一にリオと略

サンパウロ

稱す、南アメリカ第二の都會にして三方に山を纏ひ風色に富める世界屈指
 の良港に瀕せり、船舶の出入多く百貨輻湊して商業盛なり、住民は各種族の
 混合より成れり、ニクテロイ (Niteroi) (三五〇〇〇) はリオの東八軒にありて
 火薬を製す、カンポス (Campos) (三〇〇〇〇) は砂糖の産地にあり、サンパウロ (São

Paulo) (三三二〇〇) は當國第二の都會にして工業の中心たり、市街は清雅

ポルトアレ
 グレ
 バイフ

にしてイピランガの宮殿あり、サントス (Santos) (三五〇〇〇) は良港を有し盛
 に珈琲を輸出す、ポルトアレグレ (Porto Alegre) (八〇〇〇〇) はバスト海の北端
 に位し「マテ」、皮革、家畜を輸出す、バイア (Bahia) (二一三〇〇〇) は一にサンサル
 バドル (São Salvador) と云ひ當國第三の都會たり、交通上の要區にして砂糖綿
 煙草、珈琲等を輸出す、マセイオ (Maceio) (三二〇〇〇) は海港にして綿砂糖「ゴム」、

レンシフエ

八百十四

等を集散す、レンシフエ(Rio de Janeiro)はペルナンブコ(Pernambuco)とも稱す、當國の諸港中最、ヨーロッパに近く取引盛にして綿布、機械、硝子、熟皮等の製造行はる、パライヤ(Parahyba)は商業地にしてカバテロオを附屬港とす、フォルタレザ(Fortaleza)は鐵路に依りて内部に通じ、ゴム、砂糖、珈琲等を輸出す、マランニョ(Maranhao)はサンルイス(Sao Luiz)とも云ふ、往昔の盛況を觀ざるも商業地たるを失はず、パラ(Para)即、ベラム(Belem)は良港を有し風色に富めるが「カカオ」「カウチック」等を集散す、マニンス(Manos)はリオネグロに瀕し「カウチック」「カカオ」「ブラジルナツ」等を輸出し汽船に依りてアメリカ合衆國、ヨーロッパ等に通す。

● プラタ諸國

リオデラプラタ並に其の支流の灌域に屬する地は廣袤勢力共に均等ならざる三國の間に分割せらるるがアルヘンチナ共和國は他の二國に比すれば強大にして、パタゴニア地方を併有せり。

ラブラタ

リオデラプラタ(Rio de la Plata)は銀河の意にして大西洋に接する幅は百七十五料に達するも其の質はメラケアイ河の水を受くるメラナ河とサルゲアイ河とより成る河灣たるに過ぎざるなり、此等の三母流は何れも源をブラジルに發して南アメリカの五分一に當る地域の水を集め、大陸の中心たるマッドグロソと沿海のブエノスアイレス及モンテビデオとを連絡し汽船にて航行し得べき水路三千料以上を與ふるが、水量多く淡水界を海上通に百五十料に達せしむる勢力あるも、亦土砂を搬來して港形を變造し、潮汐に反抗して常律を失はしむ。

メラケアイ

メラケアイ(Paraguay)はマッドグロソに於けるアマソナスの支流の水源附近、海拔二百米突の地に發しクヤヌ(Uyaba)を提げ來るサンルーレンソ(San Lorenzo)を容れ平地に出でて沼地又は砂地を流れ森林を潤し、アラマンチヨを通り、ピレニョ(Pileonyo)を合はせたる後にメラナに入る。

メラナ

メラナ(Parna)はリオグランマ(Rio grande)及パラナヒバ(Paranahiba)の合流より成りて可航性を備へざるに非ざるも、サルトグアイラ(Salto Guaira)の如き瀑流の爲に避らるるあり、然れどもメラケアイに會するや其の流向に従ひて南南西に趣き純然たる可航河と成り、サラド(Salado)河の水を受け、平底濕潤の地を右にし、産地的の「バルランカ」を左にして、史上に名あるエントレリオス(Entre-Rios)を通過せり、ロザリオ港附近に至り、流向を南東に變じたる後は、數派に分かれ、ウルグアイを合はせて、リオデラプラタと成る。

ウルグアイ(Uruguay)(一四〇〇)はブラジルの南州に生れウルグアイ共和国の西境を爲すもサルトグラマ(Salto grande)の爲に遮らるるを以て交通上の便を與ふること極めて少なし。

◎パラグアイ

境域

土地

氣候

住民

パラグアイ共和国(Republica del Paraguay)はブラジル、ポリビア、アルヘンチナの三國の間に介在する一小國にして地積は二十五萬三千一百方軒あり。リオパラグアイは國を二分し、其の東部即ちパラグアイは平底にして著しき起伏なし。土壤豊饒にして各種の耕作に適するも到る處森林の陰鬱たるありて排水の道なく其の西部は即ちグランチャコなり。暑氣強きも乾燥にして健康を害すること少なし。夏季の平均温度は二十八度乃至三十度にして最高は三十五度即ち四十二度に達することあり、然れども夜中は清涼にして晝間の炎熱を忘るるに足る。冬季の平均は十五度乃至二十度にして最低と雖も零度に降ること稀なり、雨は夏季に多し。人口は一八九九年に六十三萬餘人ありてエスパニア人、グアラニ人、インディアンの雜種より成りインディアンは凡そ十萬人と稱せらる、一九〇〇年の在留外人は一萬八千餘にして其の過半はアルヘンチナ人なり、來住者は多

からず、ローマ公教を國教とす。

政治

政体は統一的共和制にして立法權は二院より成れる國會に屬し、行政權は任期四年の大統領に委ねられ地方は九十九郡、二十四政區に分たる。

生業

チャコ地方を主として當國には良牧地多く牛二七四萬、馬、羊等の飼養に適す、農産には煙草、果物、甘蔗等の栽培あり殊にパラグアイ茶即ち「イェルバマテ」(Yerba mate)は著名の産物なり、林産鐵産は未だ多からず、一九〇四年の輸入は凡そ三百五十六萬ドル(金)に過ぎずして輸出は皮、木材、マテ、煙草、乾肉等の五百二十三萬餘ドル(金)ありしのみ、交通の機關は二百四十七軒の鐵道、一千八百二十八軒の電信線等なきに非ざるも甚だ發達せずと云はざるを得ず。

首府アスンシオン(Asuncion)(六、〇二五九)はパラグアイ河に瀕し大西洋を距

る數百里の地にあるも海拔は僅に七七米突なり、ビリアリカ(Villa Rica)(二五〇〇〇)、「コンセプション」(Conception)(一、五〇〇〇)も多少名あり。

◎ウルグアイ

ウルグアイ共和国(Republica Oriental del Uruguay)はウルグアイ河の東にありて

世界地理提要 あめりか洲

ウルグアイ 八百十七

アスンシオン

土地

氣候

住民

政治

生業

アルヘンチナを西にし北東はブラジルに接し南東は大西洋に臨む、地積は十七萬八千七百方、料乃至十八萬六千九百二十六方、料とせらるる南アメリカの最小國なり。

大西洋の海岸は屈曲少なくラプラタ灣に沿ふ處も亦然り、國內は各處に五百米突以下の丘陵あり、谿谷は流水に乏しからざるがウルグアイ河に注ぐ主なるものをリオネグロと云ふ、南東の海岸地方は湖沼少なからず。

氣温の平均は冬季に十一度、春季に十七度を示し夏は二十二度にして秋は十六度なるが最高は三十七度に達し最低は零下三度なり。

人口は一九〇二年に凡九十八萬人ありて、一九〇〇年の約六十萬人中にはブラジル人、イタリア人、エスパンニア人等合はせて九萬餘の外人ありたり、而して一九〇一年の來住者は九千六百餘人、往住者に六千七百人足らずあり、ローマ公教を以て國教とす、教育は振はざるも大學あり。

政體は統一的共和制にして二院より成る國會は立法權を握り、行政權は任期四年の大統領に委託せられ、地方は十九縣に分たる。

農業は廣く行はれ小麥の二億七百萬石を始とし玉蜀黍、大麥、オート麥、ラ

モンテビデオ

イ麥、亞麻、煙草、オリーブ、葡萄等の栽培あり、牧業は牛(六三三萬)、馬(一七六二)等を飼養するが特に牛の飼養はサルト、バイサンツの地方に、羊はヅラスノソリアノに盛なり、北部の諸縣は金を産す、貿易に就きては輸出三千七十七萬四千「ペソ」、輸入三千七十七萬八千「ペソ」なるが、モンテビデオに於ける入船は六百八十一萬噸に近し又鐵道(一九〇六年)は一千九百四十四、電線は七千九百七十七、料あるなり。

首府モンテビデオ(Montevideo)(二四、四〇〇)はラプラタ河の下流に沿ひ鐵道に依りて生産地に通じ肉類、獸脂、生牛、小麥等を輸出す。

●アルヘンチナ

境域 アルヘンチナ共和國(Republic Argentina)は南アメリカの南部を占め、北はボリビア、北東はパラグアイ、東はブラジル、ウルグアイ、大西洋に限られ、西はチレーに境し、地積は約二百八十八萬方、料ありて帝國の七倍弱に當れり。海岸 ラプラタの河灣の外にブランカ、サンマチアス、サンジョージの諸灣

世界地理提要 あめりか洲 アルヘンチナ 八百十九

あり、バルデス半島、ブランコ岬、バージネス岬等を見ざるに非ざるも、海岸は屈折に富めりと稱し難し、而してチエラデルフェゴ島の東部と該島の東に位せるエスタドス島は當國に屬せり。

山岳 アンデス山脈は數條の並行山脈より成れるが河流は之を各處に横斷せり、該山脈の最高峯たるアコンカグア(七〇三五)は實に國境に接え、其の北にはポトロ(五五八五)、ルライアコ(六六〇〇)、アコンクイジ(五四〇〇)、カチ(六〇〇)等あり、アコンカグア以南にはマイボ火山(五三一九)、ネバド(四七七五)、パイェン(三五六〇)等あり。

地勢 土地は南及東に傾斜し、北部のグランチャコ(Gran Chaco)にありては河流は寂寥たる深藪厚叢を流れ、中部のパンパスは廣漠たる草原に際涯なきかを疑はしめ、南部のバタゴニア臺地に於ては砂礫と壤土と相半するが如し、而して多數の並行山脈はアンデスに隨從し中間に宏大なる平野、肥沃なる谷地を挟みて億萬の人口を養はんと待つものの如し。

グランチャコ(Gran Chaco)は北の方ポリビアとパラグアイとの間に起り南緯三十度

中央平野

パンパ

パタゴニア

に達するが西はアンデスの支脈又は高地に依りて限らる而してビルコマヨ河の北にある北チアコト云ひベルメホの南にある南チアコと云ひ、兩河の間にある中チアコと云ふ、降雨稀ならずして森林及「パンパ」の存するあり、中央平野は西より東に向ひて傾斜せるがシエラデコルドバ(Sierra de Cordoba)及シエラデサンルイス(Sierra de San Luis)の兩山脈以外には輕微なる起伏を見るに過ぎずして乾燥せる大「ザリナ」の凹處あり、當地方に不毛の土多きは水の缺乏に基づくものにして水あるの地は必肥沃にして山麓に於けるツクマン州は稍、股眼を覽ゆ、「パンパ」(Pampa)は殆ど平坦なる草地にして表層は「ヒュイス」(Humus)より成るも次層は三階に分かるる「ルッス」(Löss)より成りて水分を止むる能はず、加ふるに乾燥、蝗蟲「メンペロ」等の害ありて樹木の生育を許さざれども草本の繁茂は盛にして殊に東部を然りとす。

パタゴニア(Patagonia)は「パンパ」に比すれば起伏多し、海岸は高くして草木なきも内部には森林、沼湖、草原、砂丘ありて殊にナウエルウアピ(Nahuel-Huapi)湖、リオチアップツ(Rio Chubut)の沿岸には樹木蒼蔭として好牧地に富めり。

河湖 ビルコマヨ、ベルメホ、サラド等の諸流はパラグアイ河に合しコロラド、リオネグロ、リオチアップツ等は大西洋に注ぎ、湖沼は北部のサリナグランデス、サリナデアリザロ、南部のムステルス、ブエノスアイレス、ラゴビエドマ、等

を始とし其の數甚多し、而して河流の効用に就きては地圖が想起せしむるが如くならず、パラナ河が一大巨流にして多量の水を大西洋に注ぎ第一流の航河たるは勿論なれども、此の一河を除けば他に良河の存するあるを見ず、平野に於ける水脈は流勢極めて緩にして各處に沙洲を作り或は沼地に逢ふが故に交通の便を與ふるもの少なし、又パタゴニアの河流に於けるも殆ど同様なり、然れどもアンデス山脈の東麓に於ける一列の沼湖は太平洋と大西洋との兩斜面を連絡すべきを以て交通上後來に望を囑すべし。

氣候 氣候は最、殖民業に適して農業、牧業は容易に發達すべき見込あり、而して此の地は南北に互り、南緯二十二度より五十五度に達するを以て氣温は一樣ならず、北部は冬季の平均二十度にして夏季の平均は三十度なるが、南部は零度乃至十度の間を昇降せり。

住民 人口は一九〇五年に約五百七十萬人ありしが一方糶に付き二人の割合に過ぎず、此の中、外國人は百萬五千に近くしてインヂアンは三萬人あり、而して來住者は一九〇五年に二萬二千餘、往住者は八千三百人足らず

ありたり、宗教はローマ公教を以て國教とするも尙ほ他の信教も寛容せらる教育は普及せざるが大學は五處にあり。

政治 當地はリオデラプラタ聯合州と稱せしことあり、舊、エスパニアに屬せしが一八四二年に於て獨立を承認せられ、一八五三年にブエノスアイレスも聯合に加はりたり、政體は合衆的共和制にして行政權は六年毎に改撰せらるべき大統領に委ねられ、國會は元老、代議の二院より成り、地方は十四州、十領土、一部に分たる、兵備は陸兵に一萬七千餘人、兵船は四十八隻、八萬七千七百餘噸あり、財政に就きて一九〇六年の歳入は紙、ペソの六千九百五十萬二千と金、ペソの四千四百五十二萬餘とにして歳出は紙、ペソの一億一千六百十四萬餘と金、ペソの二千三百九十五萬、ペソ弱なるが、國債は金、ペソ三億八千八百九十五萬餘、紙、ペソ九千六百四十八萬足らずなり。

生業 山岳、湖沼、不毛地、等を除けば面積の三分の一は農牧に利用し得べし、牧業は此の國最要の富源にして羊七四三八萬頭、馬四四五半、二一七、驛、豚等を飼養し生毛の産夥し、而して羊の七割はブエノス、アイレス州に於て飼

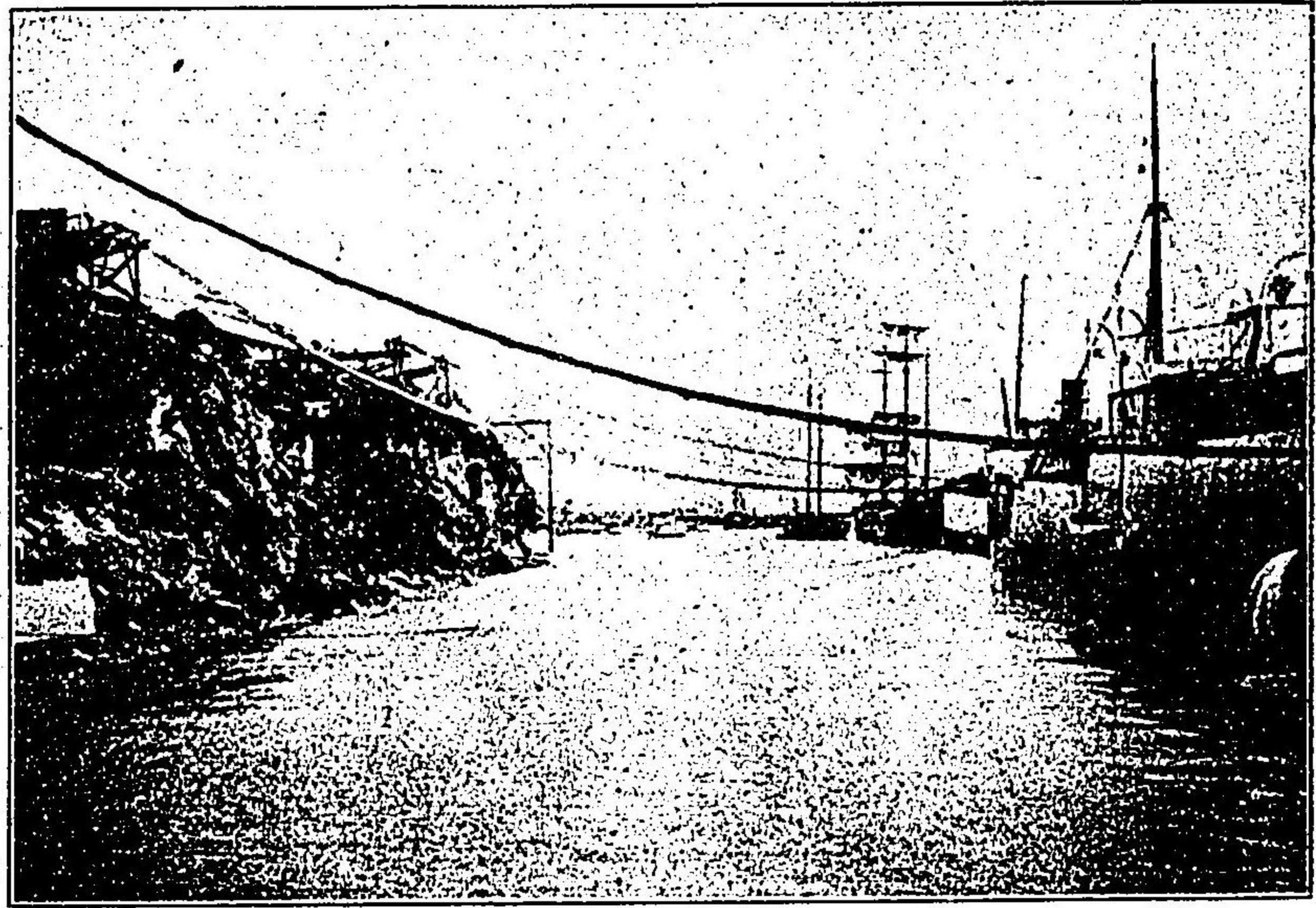
政體

兵備 財政

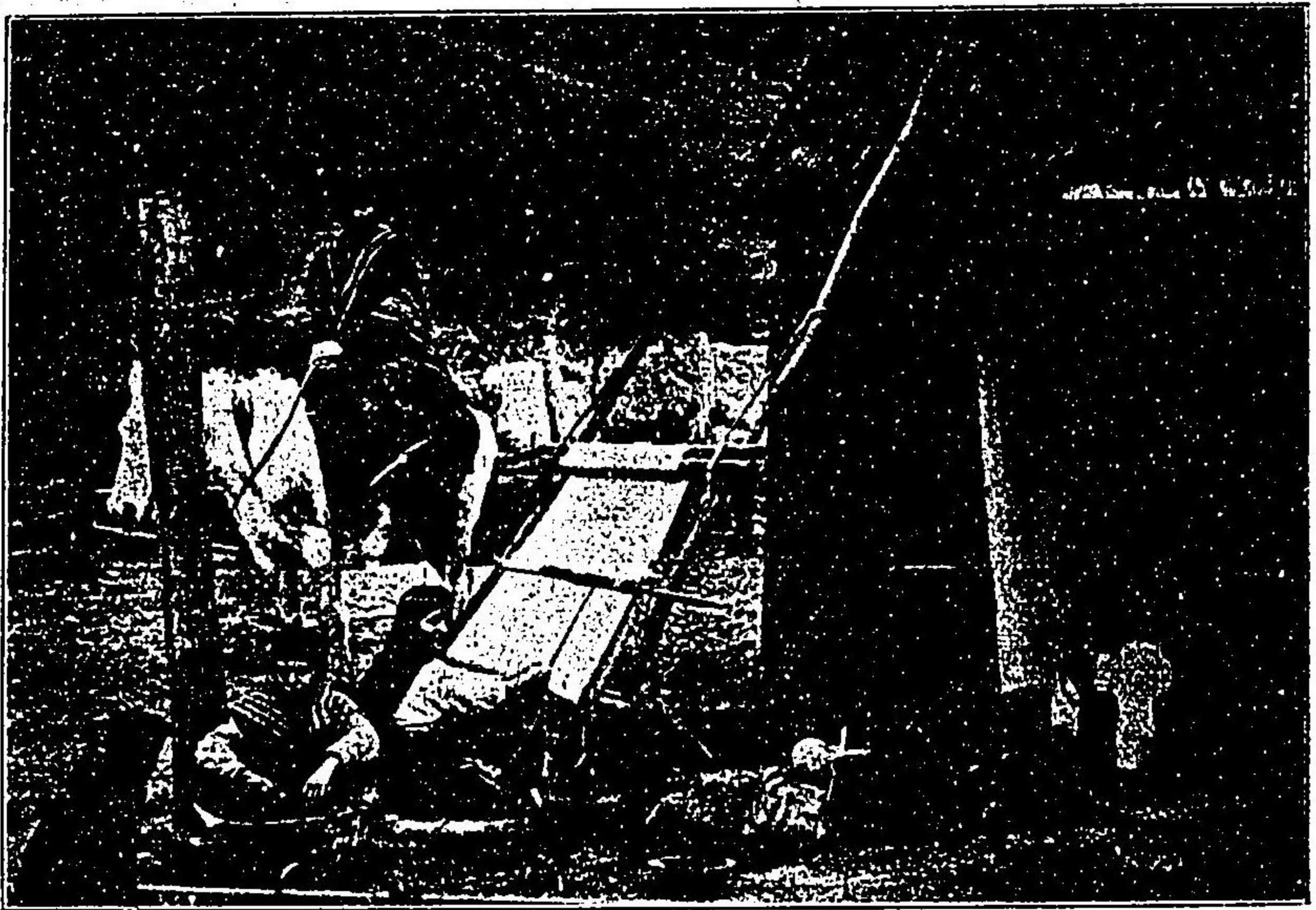
牧業

はる、農業に就きては九百十一萬ヘクタールの耕地あり、穀類は主としてブエノスアイレス、サンタフェ、コルドバ、エントレオリスの諸州に産し、小麦は三百三十八萬佛噸、玉蜀黍四百四十五萬佛噸を産す、此の他に亞麻、煙草、甘蔗等の栽培あり、鑛業は金、銀、銅等を與ふるも未だ盛大ならず、工業は砂糖、葡萄酒等の製造に従事して漸く進歩す、貿易は一九〇五年に貨物の輸入二億五百十五萬餘、輸出に三億二千二百八十四萬餘、ありてイギリス、ドイツ、フランス、アメリカ等と取引し、重要輸出品は小麦八五八八、生毛六四三二、玉蜀黍四六五三、皮三一六三、肉類二七五二、亞麻仁二六二三等ありたり、而して入船は一萬一千四百八十八隻、凡九百七萬噸なるが、商船は十萬噸に達せず、鐵道は一萬九千六百八十三軒、郵便局一九〇四は三千二百八十二、電信線一九〇三は十萬九千五百八十三軒の延長を有す。

處誌
ブエノスアイレス(Buenos Aires) 一〇四六五一七 南緯三四度三六分 西經五八度二二分
鐵路に依りて内部の各地に通せり、商業繁昌し、工業も稍盛にして南アメリカ



ロザリオ (Rosario) [アルヘンチナ]



アラウカノス (Araucanos) [南チレー]

ロザリオ (Rosario) はアルヘンチナ合衆國第二の都會にして、殷富なる農産地を控ゆる倉庫地たり、住人は各國の來住者より成りて總數は十三萬、二〇〇年にはを越ゆべし、ラプラタ河海を距ること二五〇戸にしてリオパラナに瀕す、市街は同河の中水面を抜くこと二十米突の岸地にあるが港は優良にして三四千噸の船舶は自由に出入し四隣の地並にヨーロッパの諸國に通じ鐵路はマタエニアチレホリビア、等に趣けり、輸出品の主要なるものは麥粉、小麥、玉蜀黍、砂糖、生毛、皮革、等なり。

アラウカニア族種はエスパニア人のアラウカノス (Araucanos) にしてモルチウ (Moluches) (死人) 又はアウカ (Aucos) (自主者) と自稱す、南アメリカに於ける土人の一派に屬しチレの南部に居住して獵農を營め性武を尙びエスパニア人の侵入に對し強力ある反抗を爲したるも現時にありては平穩に生活して總數は五萬内外と概算せらる。

ラプラタ

ロザリオ
コルドバ
ツクマン

カ第一の大都會と成れり、港は水底淺きを以て大船巨舶は十軒以上の沖合に碇泊せざるを得ざるも百貨輻湊して世界有數の貿易港たるの望あり、ラプラタ (La Plata) (四、五四一〇) は同名の州の首府にして河海に瀕し、ブエノスアイレスの南東六十四軒に位す、パラナ (Parana) (二、四二六一) はエントレリオス州の首府なるがラプラタ河海を距ること四百軒、パラナ河畔に位す、合衆國政廳の所在地たりしことあり、サンタフェ (Santa Fe) (二、四七五五) はパラナ河と支流サラドとの間にあり、ロザリオ (Rosario) (一、二四六一) はサンタフェ州にありて共和國第二の都會なり、良好の河港を有し工業に従事す、コルドバ (Cordoba) (四、七六〇九) は農産に富める地にあり、ツクマン (Tucuman) (三、四三〇五) は甘蔗、葡萄、等の産地にあり、メンドザ (Mendoza) (三、五三一四) はアンデス地方にありてチレのバルバライソの東に當れり、交通の要地たるに至らん。

○ フォークランド

マガリアネス海峡の東四百八十軒に當りイギリス領の群島あり、名づけてフォークランド (Falkland) と云ふ、百九十個の島嶼より成り、地積は一萬二千餘

世界地理提要 あめりか洲

フォークランド 八百二十五

方籽あるも人口は二千餘に過ぎず、數多の峽灣を有する二大島は東西に相對して一の海峡を挟めり、降雨多く強風屢起るも氣温は甚だ低からずして濕氣は全島に充てり、内部は山岳に乏しく樹木は稀なるも牧草は到る處に濕茂すと云ふ、牧業は漸次に發達して六十八萬頭以上の羊を飼養するに至れり、首邑スタンレーは東フォークランド島にありて九百餘の住民を有す。

あめりか洲終

兩極地域

兩極地域とは北緯六十六度半以北并に南緯六十六度半以南即ち南北の二寒帯に屬する地域を併稱する名にして熱帯が地球表面百分中の三九七を占め、温帯が五二〇に當るに反して寒帯は八三四二四七九五七三方籽を有するに過ぎず、而して寒氣の凜烈なるを始とし氷結永夜等の如き種々なる困難の存するが爲め未だ探検を経ざるの處多し。

●北極地方

北極地方を以て北極圏内の海陸を總括するものとせんか、新舊兩大陸の北岸に於ける一帯の陸地即ち北緯六十八度線を中位に置く所の圓狀的の土地が北極洋并にグリーンランド、バールンツ、カラ、ノルデンシールド、バツフィン等の諸海を圍繞するを觀るべし、然れども當地方の陸地を以て北寒帯中に於

ける島嶼のみに限らばヨーロッパの北にヤンマイイェン (Jan Mayen) ビーレン
 ンアイランド (Beeren Eiland) 島、スピッツベルゲン (Spitzbergen) 諸島、フランツヨーゼ
 フ (Franz Joseph) 諸島、ノワヤゼムリア (Nowaja Semlja) 島等あり、アジアの北に新シベ
 リア群島、ドロング (De Long) 諸島、ウランゲル島等あり、アメリカの北にグリーン
 ンランド、バフィンランド并に數多の島嶼あり。

當地方には一大氷海あり、名づけて北極洋と云ふも大西洋の一支海と見
 るべきものにしてヨーロッパとグリーンランドとの間に大なる開口を有し
 グリーンランドの西にもデービス海峡を有し、アジアとアメリカとの間に
 於けるベーリング海峡に依りて太平洋と連絡す、而してグリーンランド海、
 バレンツ (Barents) 海、カラ海、ノルデンシルド海等を呈供する本極洋の水深は
 勿論一ならざるも平均は一五四五米突と概算せらる、又海流に就きて暖流
 はスピッツベルゲンの西を経て北東東に向ふものあり、ベーリング海峡より
 入り来るものありて、寒流はグリーンランドの東西兩岸を経て南下す、され
 ば北極洋に於ける氷結は其の情態同一ならずして氷山はグリーンランド、

ラブラドルの海面に多きを見る。

地軸と軌道面との傾斜の角度は不變なるに非ざるを以て極地の氣候も
 古來一ならざるべきが、今日の觀察に依れば寒極は三處にありて東シベリ
 アには零下四十度乃至五十度、アメリカの北部には零下二十五度、グリーン
 ランドの内部には零下四十度の同温線あり、風力は案外に強からずして冬
 季は天氣殊に清明なるが霧の生ずるは晩夏の際に多しと云ふ、但、フランツ
 ヨゼフランド、ノワヤゼムリア、スピッツベルゲン、グリーンランド等に於ては氣
 候不定にして強風屢起り、グリーンランドの沿岸にはフーンに類せる暖風
 の生ずることあり。

北極地方に於ける植物の分布は主として夏季に於ける氣温の影響を受
 け、森林は略七月の十度同温線に従へり、而して森林の北に於ては矮少なる
 樺楊、其の他の低き灌木、蘚苔等を見るが、フランツヨゼフランドに進めば叢
 藪なくして僅に「サクシフラガ」(Saxifraga oppositifolia)、「ドラビ」(Draba alpina)等を
 見るのみ、魚類は極北に於て甚多からず、鳥類も亦種に富まず、哺乳類の中、最

住民

廣く見るは極熊 (*Ursus maritimus*)、極狐 (*Vulpes lagopus*) にして馴鹿も亦圍極動物なれどもフランチヨゼランドには存せず、鯨には種々あれども今は捕獲し盡されしものあり、一角魚 (*Monodon monoceros*) の如きは北緯八十五度或は其の以北に達するに似たり、而して海豹 (*Phoca hispida*) にも少なくとも八十五度に到るものあり。

當地方は概して定住者を見ざれどもノフヤゼムリアには少數のサモイエードありてグリーンランド、其の他にはエスキモーの居住するあり。

探検 北極地方の探検は有利なる海獸の捕獲若しくは太平洋と大西洋とを連絡すべき北西通路并に北東通路の探究に原由せしも、近時にありては磁氣極の測定、極光、氷山等の研究若しくは極地に到達せんとするが如き專、學術上の目的に據るもの多きが如し。

北西道路に就きてはカボット (Cabot) (一四九七) デービス (Davis) (一五八五) 八七、ハドソン (Hudson) の後にバッフィン (Baffin) (一六一六) ありてデービス海峡の北方に海路の存在を疑ひしも氷の爲に永久に閉塞せらるると宣言せし結果、十

北西通路

七及十八の兩世期にありてはグリーンランドの近海は僅に捕鯨者の往來するを觀るに過ぎざりき、然るにスコレスビー (Scoresby) (一八〇六) がグリーンランドの東岸に沿ひて北緯八十一度三十分^ニに達せし以來、好奇心は漸、復興してジョン・ロス (John Ross) はランカスター灣海峽を誤むりに趣き (一八一八) パーリー (Parry) はバンクス海峽に達し (一八一九) ジョームス・ロス (James Ross) はグリーンシアフェリックス半島中に於て磁氣の北極を測定せしが (一八二九) ジョアンフランクリン (John Franklin) (一八四五) の運命に就きて不安の念起るや、海陸を撰ばず、搜索を試みし旅行者少なからず、就中アイルランド人のマッククリューア (Mac Clure) はベーリング海峽より北極洋に入りしに (一八五〇) バロウ (Barrow) 海峽に於て船は擱岸して用を爲さざりしかば氷塊上を徒歩して東行し二回の冬籠ヒメを爲したりしが、ランカスター海峽より來りし搜索隊に救助せられたり、斯の如くして北西通路の存在を認めしも、該通路は實際の用を爲さずと斷定せざるを得ざりき。

北東通路に關しては探検を企圖せし者少なからずしてベーリング海峽

北東通路

の發見シベリア北岸の探検ありしが、ウランゲル(Wangel)は一新島(ウランゲル)を發見し、就中スエリゲ人のノルデンシールド(Nordenskiöld)は全線を通過したり、抑シベリアの北極洋斜面の河流が夏季に於て溫度の稍高き水を輸送する爲に氷海の南界は解融せられ、年に依りて幅の一定せざる、斷續の明ならざる自由水の通路を興ふ、是所謂北東通路なり、本通路は原來不可用と認められたるも、ノルデンシールドは一八七八年六月、エガ號に坐乗してノルゲのトロムゼ港を發し、セルズエカメン岬附近に於て越年したる後、一八七九年七月、ベーリング海峡を通過せり、同人は途上各處に於て測量、探検等の業に従事せしを以て多くの日子を要し、遂に越年せざるべからざるに至りしも、單に本通路を通航せんには四月以内にて足るべしといふ、然れども學術上大の裨益を興へたる本通路は實業上に便利を呈供すべしと信する能はず、蓋此が存否は氣候的にして變態多ければなり。

北極は氷山、氷塊に圍繞せらるる境界不定の新世界にありて奇趣の感を起すこと頗大なれば探検者が此の地點に達せんと力むるは高尚無比の

北極

行動と云はざるべからず、而して極北の到達を試みるに三途あり、グリーンランド、ノゲル間よりするもの、グリーンランドの西よりするもの、ベーリング海峡よりするもの之なり。

グリーンランドの東方よりの旅行は少なからざりき、パーリー(Purty)は纔にてスピッツベルゲンの北方八十二度四十五分(一八二七)、バイエル(Payer)及ライブレヒト(Weybrecht)はフランツョセフランドを發見したる後、八十二度五分(一八七二)、七四に達せしが、フリヂョフナンセン(Fridtjof Nansen)は「フラム」(Fram)に乗りてクリスチアニアを出發し、一八九三年八月、アジアの北西岸に沿ひて航行し、秋季に至りリアホフ諸島の北(北緯七八度四五分)に於て、バツク(Beck)氷塊原に入り、冬季に於ては西方に誘致せられ、北緯八十四度に於て船を去り、徒歩して北緯八十六度十三分六秒即ち北極を距ること四百十五度の地に到り、一八九五年四月七日、「フラム」號はスフェルドルン(Sverdrup)の指揮の下に八十五度五十五分に達したり、一八九五年十一月、此の後イタリア人のカグニ(Cagni)は橋に依りて北緯八十六度三十四分即ち北極を距ること三

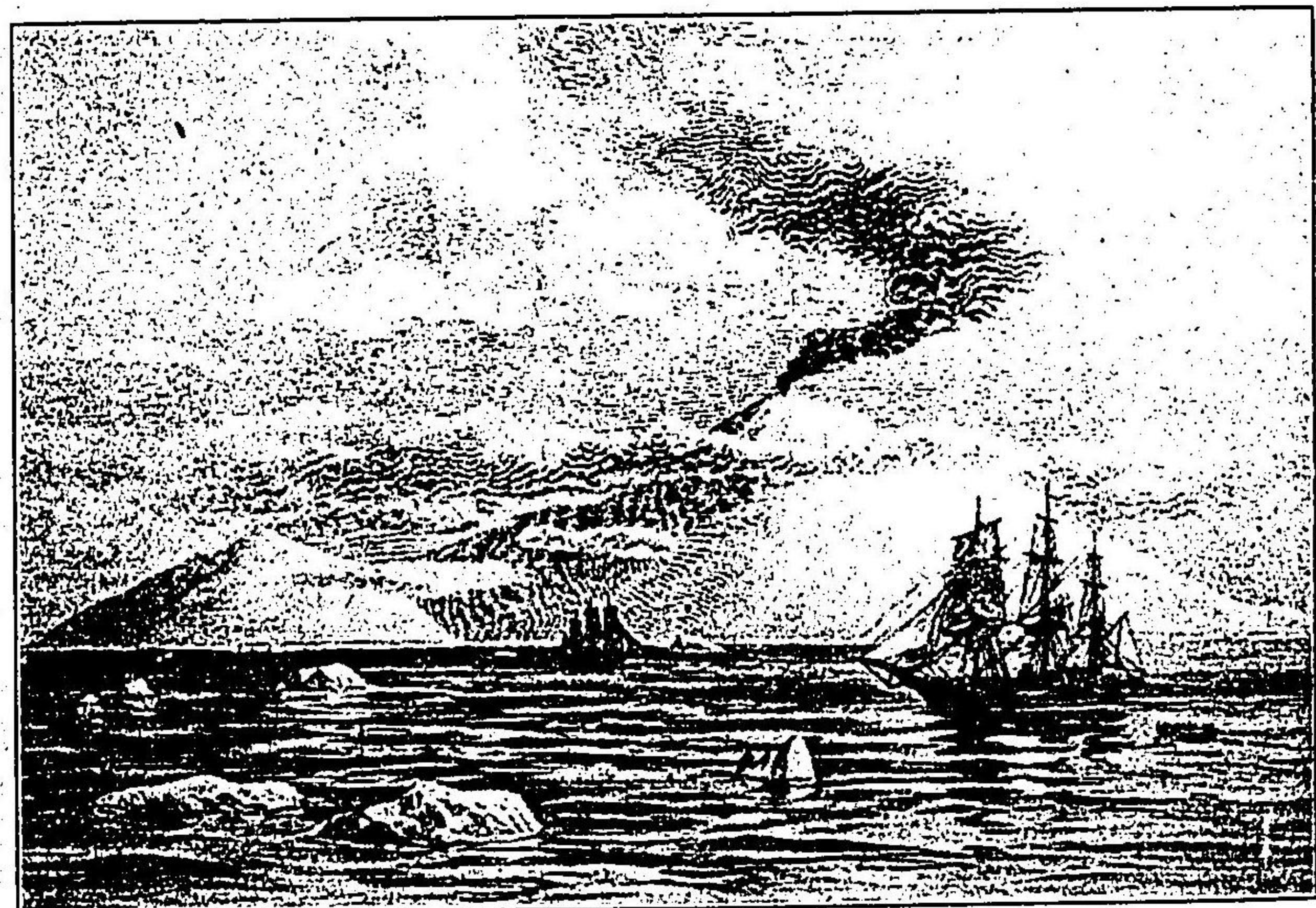
百八十五杆の地に達し(一九〇〇)殊にアメリカ人ビーリー(Peary)は北緯八十七度六分に到り(一九〇六)極北に到着し得るの日の遠からざるを示せり。グリーンランドの西方より北極に達せんと試みし者も甚だ多く、一八五二

|| 六〇年に於てアメリカ人のイングルフィールド(Inglfield)ケーン(Kane)ハイ
 エス(Hayes)はヌミス海峡に向ひて數回の旅行を試みしが殊にハイエスは極
 地の附近に自由海の存在せるを唱へたり而してホール(Hall)はロフソン海
 峡に赴きて北緯八十二度十一分に達し、イギリス人ナールズ(Nares)は同海峡
 に於て同八十二度十五分(一八七五)マークハム(Markham)は同八十三度二十
 分に至り、アメリカ人のロックウッド(Lockwood)はグリーンランドの北方に於て
 八十三度十三分に達したり。

ペーリング海峡に依りての試航に就きてはアメリカ人のドロン(DuLong)は「ジャンネット」(Jannette)號(一八七九-八二)に坐乗して旅行せしが不幸にして海流の爲に北西に誘致せられ氷塊の壓迫を受けて北緯約七十八度の地點に於て沈没したり。



インランドシス (Inlandsis)



エレンブス火山

グリーンランド

| 緯度 | 經度 | 探検者 | 西紀 |
|---------|---------|---------|------|
| 北八七度六分 | 西四〇度 | ビーリー | 一九〇六 |
| 北八六度三四分 | 東八〇度 | カグニ | 一九〇〇 |
| 北八六度一四分 | 東六六度 | ナンセン | 一八九五 |
| 北八五度五七分 | 東六七度 | スフェルドルツ | 一八九五 |
| 北八四度一七分 | 西六五度 | ビーリー | 一九〇二 |
| 北八三度二四分 | 西四〇度 | ロクウード | 一八八二 |
| 北八三度二〇分 | 西六一度二三分 | マークハム | 一八七六 |

グリーンランド(二百萬方呎以上の大島)の發見は西紀一千年の頃イスラ
 ンド人の漁業者が近海を往來せし際にして多少の移住者ありしならんも
 爾來航通の中絶したるが爲、一七二三年に於てダンマルク人が此の地に渡
 往せし頃には僅に痕跡の存するあるを認めたるのみなりき近年に至りて
 リンク(Linné)一八四八―五二(始めてインランドシス、ノルデンシールド一八七

世界地理提要 兩極地域 北極地方

八百三十五

八八三年の二回にインケーム、ホール、ナール、ス、グリーンリー(Greely)、ナンセン(二八八八)に南部を東西グリーンリー一八九三、九五、九七の探検あり、其の後アムドールン(Andrup)一九〇〇、クルッセ(Krusse)一九〇一、〇二、エンゲル(Engel)、ブルウ(Brunn)一九〇三、エリヒゼン(Erichsen)一九〇四、〇六等の旅行あり、殊にグリーンリーは本島北方の極地(八三度三九分)を測定したる後、北航して此の方面に於ける最北點(八四度一七分)に達したり(一九〇二)。

スピッツベルゲン(Spitzbergen)の尖山は東グリーンランドとも云ひ、ノワヤゼムリアとグリーンランドとの中間にありて西スピッツベルゲン、北東、エドゲ(Egge)の三大島と若干の小島とより成れるが、地積は三萬五千九百方籽乃至六萬四千二百九十方籽と計上せられ、住民なし、本諸島は一五九六年オランダ人、バレンツ(Barente)リップ(Rijp)、ヘムスケルク(Hemskerck)に発見せられ、爾來海獸捕獲者の來航少なからずして近時に於てはノルデンシェルド、其の他の北極探検者の基點と成りしが、コンウェイ(Conway)は第一の縦斷旅行者たるの名譽を得たり(一八九六―九七)。

スピッツベルゲン

フランツヨゼフランド

フランツヨゼフランド(Franz Josephs Land)はノワヤゼムリアの北方にある群島にしてキルツクランド(Wilzek Land)、ツィーランド(Zichy Land)其の他の島嶼を含み、海拔一千五百米突の玄武岩質の山嶽を有す、近海は夏季解氷を見、動物も比較的に多きを以て極北に出發するに便宜ある地と認めらる、本諸島の発見者たるバイエル及ワイブレヒトは一部を探検せしが(一八七三―七四)其の南岸はレーズミス(Leigh Smith)之を探查せり(一八八〇―八二)ジャクソン(Jackson)は三、年間滞留(一八九四―九七)して探究する所ありしが一九〇五年の「フィアラ」(Fiala)號の航海は學術上に益せし所多からざるが如し、ノワヤゼムリア(Novaja Semlja)の新地は十一世期に於てノブゴロドの獵夫に知られしが、一五五三年に至りてキルロービー(Willoughby)再之を発見したり、狭長なる本諸島はカラ海とバレンツ海との間に位して九百六十籽に亘り、南(四、一七〇〇)方籽、北(五、〇一〇〇)の二主島より成り、マトチキン海峡に依りて相隔れり、山岳は一千二百米突に達し、氷雪を以て蔽はる、定住民はなし、と雖、ロシア、ノルゲの海員、獵夫の到來することあり。

ノワヤゼムリア

●南極地方

南極地方とは南極の周圍に於ける一帯の地域にして浮流水塊の平均界線に限らるるものにして氷壁線は三大線と若干の小線とより成りて第二の境界を劃せるがオーストラリアより大なるべしと唱へらるる陸地に就きては探検を経たるもの少なくしてキルクスランド(Wilksland)ビクトリアランド(Victoria Land)グレアムランド(Graham Land)アレクサンダーランド(Alexandra Land)并にエnderby)ケンプ(Kemp)等の島嶼を合はするも地積は約六十六萬方呎あるのみ、而して氷山が搬し來れる岩片に依れば當地方に花崗岩片麻岩雲母片岩等の存在すること明なるが火山質の山岳は所謂噴火圈の一部を聯成しエレンズ(Erebus)火山(三七八〇)の如きはロスの往訪せし時には活動しつつありしと云ふ。

廣大なる南極海流は經度六十に亘れる幅を以て南大洋中に北流し南緯五十度線附近に於て北西流を分派したる後北東々に越きフンボルト流を

海洋

爲す、而して南極洋表面の水温は夏季に於て空氣より高くして南緯六十三度の南に於て毎日の平均二度〇七なりしと云ふ、而して深海に於ては溫度は零度乃至一度六七にして熱帶地方に於て見る所と大差なし、又水深の一樣ならざるは勿論にして平均三千三百米突と概算せらるるが大陸を圍繞する海底の物質は綠泥なりと云ふ。

氣温は夏季に於ても甚低くしてロスの觀測に従へば南緯六十三度の南に於て二度五三なるが最高は六度三九なり、又ベルジカの報告に従へば南緯七十一度半に於ける冬季の最低は零下四十度なり而して氷を以て蔽はれたる地方は比較的乾燥なるが該地の北方に於ては屢飽和點に近きことあり、極南地方は北西的の逆旋風の占むる所なるに似たり。

當地方の海中には「ミナミンテラ」(Eubalaena australis)を始とし數種の鯨ありて中には北方の海に於けるものと等しきもあり、鰐脚類は十三種を數ふるが海獅(Otaria jubata)海象(Cystophora prolesidea)は廣く分布せるも以前に比すれば頗る減少せり、「マンショー」(Manchof) (Aptenodytes)は當地方の鳥類中最、固有な

氣候

天産

るものなりとす魚類も亦豊富なるが如し。

探検 南極地方に關せる旅行者はオランダ人のデルクゲルリツ(Dirk Gerritz)(一五九九)の南極圏を超えたるを始とし、同圏を三回通過せしクック(一七七一-七五)南シットランドに於けるスミス(一八一九)ピエトロ及アレクサンドラの兩地を發見したるハリングハウゼン(Ballinghausen)(一八一九-二二)南オークネーに於けるポエル(Powell)(一八二二)自由通路の存在を主張せしマゼラン(Magellan)(一八二三)エムターダー(Enderby)ランドを探查せるビスノー(Biscoe)(一八三一)ケンブ(Kemp)ランドに於けるケンブ(一八三三)バレーニー(Baleny)及フリーマン(Freeman)(一八三八)ルイイフィラン(Louis-Philippe)ランド、ブリー(Adelie)ランド、クラリー(Charlie)ランド等を發見せるデモンテールビエ(Dumont d'Urville)(一八三八-四〇)廣大なる陸地を望見せしと稱するキルクス(Wilkes)(一八三九-四二)ビクトリア地方を發見せしジェームスロス(James Ross)(一三四〇-四二)等あり、殊にホルヒグレフィンク(Borchgrevink)(一八九四-九五)は學術的探検者として有名なり、而して此の後に於ける探検者にはヘルジ

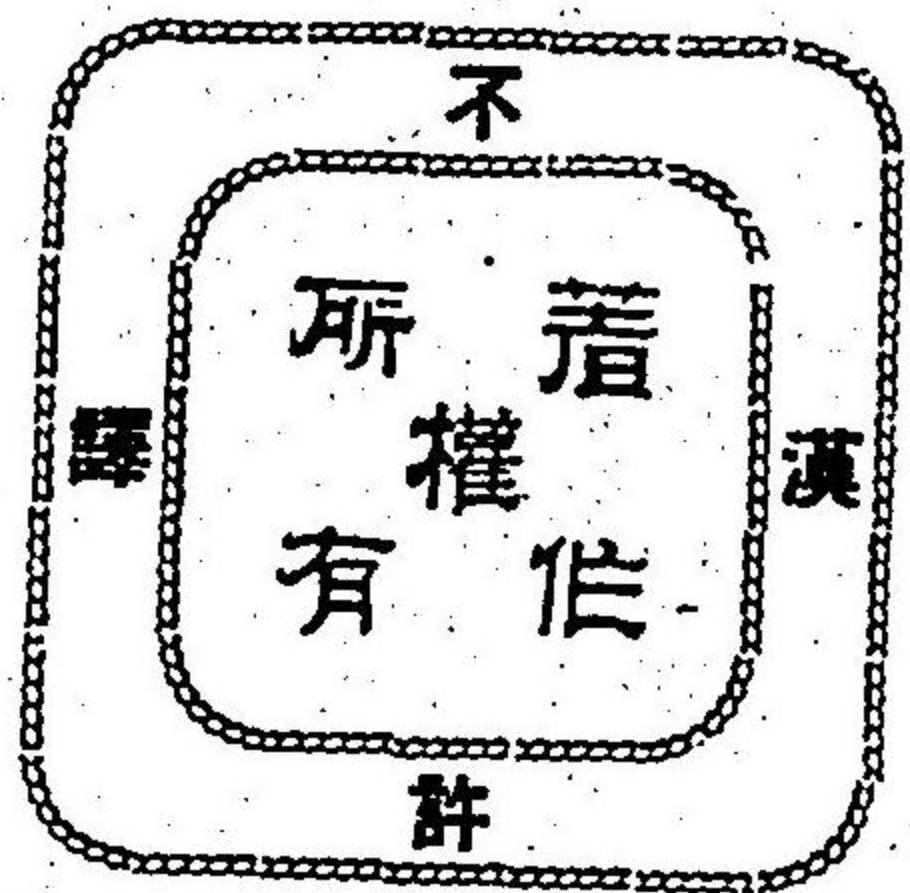
カ號のジェルラシー(Gerlach)(一八九八-九九)サザルンククロス(Southern Cross)號のホルヒグレフィンク(一八九八-一九〇〇)「デスカバリ」(Discovery)號のスコット(Scott)(一九〇二)等あり、スコットが楫に依りて到着せし南緯八十二度十七分以南には未だ人跡なし。

| 緯度 | 經度 | 探検者 | 西紀 |
|------|--------|-----------|------|
| 南八二度 | 東一七七分 | スコット | 一九〇三 |
| 南七八度 | 東一六五度 | ホルヒグレフィンク | 一九〇〇 |
| 南七八度 | 東一六一二分 | ジェームスロス | 一八四二 |
| 南七四度 | 西三四一分 | マゼラン | 一八二三 |

世界地理提要終

世界地理提要 兩極地域 南極地方

明治四十年十月廿五日印刷
明治四十年十一月一日發行



世界地理提要

著者

發行者

發行者

印刷者

發行所

發行所

定價金貳圓五拾錢

東京市本郷區駒込西片町十番地

野口保興

東京市日本橋區通三丁目十番地

河出靜一郎

東京市京橋區南傳馬町二丁目五番地

目黒甚七

東京市神田區三崎町三丁目一番地

山本邦彦

東京市京橋區南傳馬町二丁目

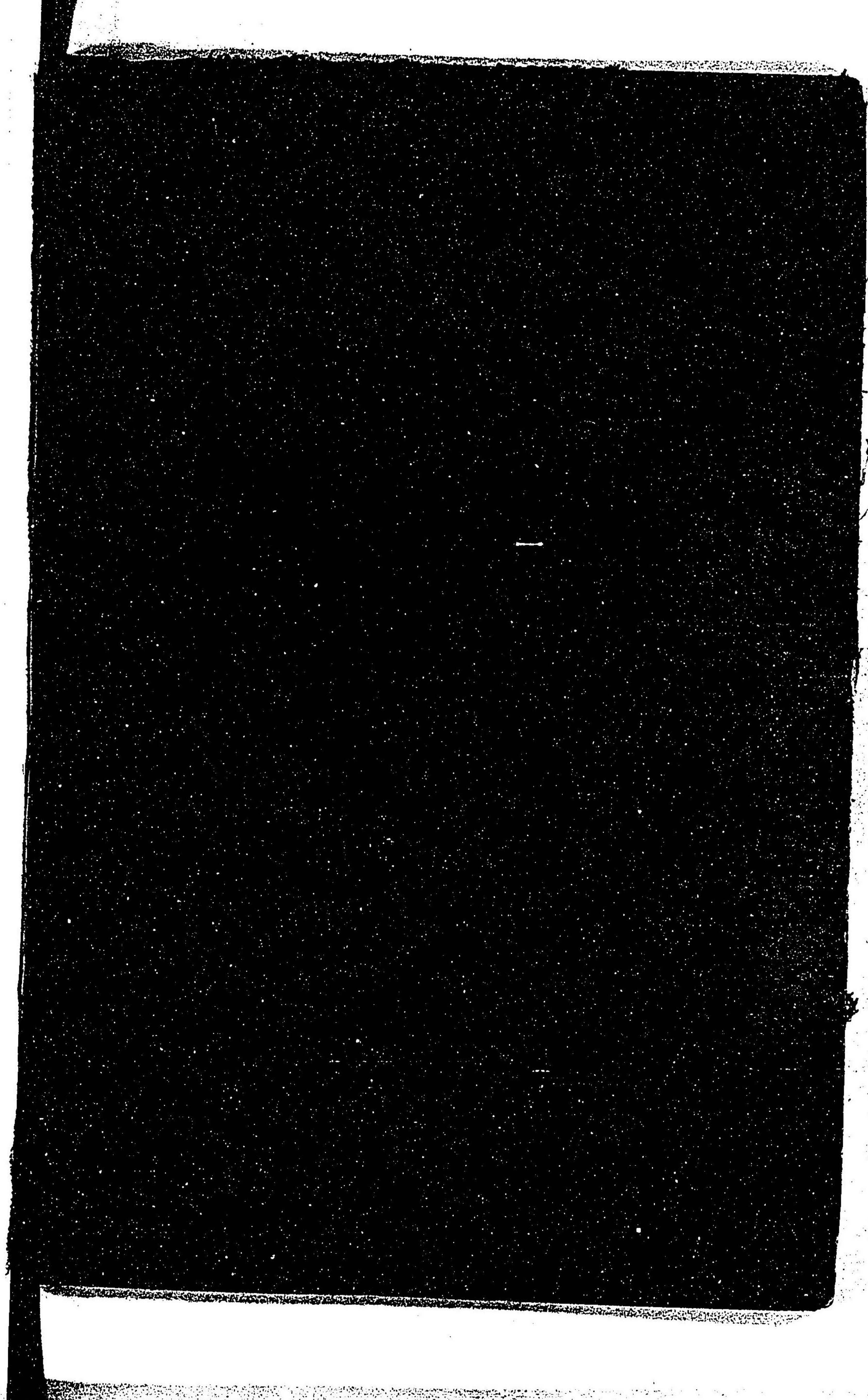
目黒書店

振替貯金口座二八〇九番

成美堂書店

東京市日本橋區通三丁目
振替貯金口座一七一九番

23
275



23
275

M

022070-000-9

23-275

世界地理提要

野口 保興/著

M40

ADA-0415



